

291

午前問題…………… 解答・解説

本書で使用しているアイコンについて

 要点集 291:P〇〇

例) 291 号掲載

「巻末資料 要点集」に関連事項が掲載されております。
アイコンに記載された掲載号の該当ページを参照してください。

 DH 20:P〇〇

例) 2020 年版掲載

弊社刊行「Complete+DH 歯科衛生士 国家試験完全攻略 2020 年版」に掲載された問題です。
アイコンに記載された掲載号の該当ページを参照してください。

[問題 1] 下顎骨の写真(別冊午前 No. 1)を別に示す。

開口筋の付着部はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶解剖学

選択肢考察

- × a ①は筋突起で、側頭筋の停止部である。
- × b ②は関節突起(翼突筋窩)で、外側翼突筋の停止部である。
- × c ③は翼突筋粗面で、内側翼突筋の停止部である。
- d ④は顎舌骨筋線で、顎舌骨筋の付着部である。開口筋とは下顎を下制する(下げる)筋が、舌骨上筋群が相当する。開口筋には顎二腹筋や顎舌骨筋、茎突舌骨筋などがある。

正解 d

📖 要点集 291:P6

No. 1



[問題 2] 歯の組織標本の一部(別冊午前 No. 2)を別に示す。

矢印が示す構造はどれか。

- a レチウス条
- b エナメル叢
- c エナメル葉
- d エナメル紡錘

▶解剖学

選択肢考察

- × a レチウス条は、エナメル小柱の横紋がとくに発達したものとされる構造物である。
- × b エナメル叢はエナメル象牙境から表面方向へ、1/3 辺りまで伸びる、叢状にみられる石灰化不良なエナメル小柱群をいう。
- c エナメル葉はエナメル象牙境から表面にまで達する、石灰化不良な亀裂様構造物である。矢印が示すものは、エナメル象牙境から表面まで達する亀裂様構造物である。
- × d エナメル紡錘は象牙芽細胞の突起(トームス線維)がエナメル象牙境からエナメル質内に侵入したもので、短い棍棒状の形態をとる。

正解 c

📖 要点集 291:P13

No. 2



[問題 3] 外胚葉に由来するのはどれか。

- a 骨
- b 筋
- c 軟骨
- d 神経

▶解剖学

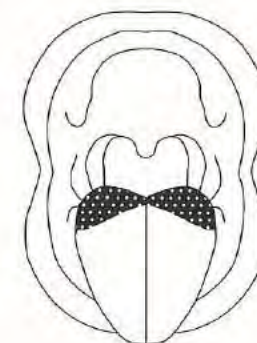
選択肢考察

- × a、× b、× c 骨、筋、軟骨は中胚葉由来である。
- d 神経は外胚葉由来である。

正解 d

📖 要点集 291:P11

[問題 4] 口腔の模式図を示す。



■部の一般感覚を伝達する脳神経はどれか。

- a 下顎神経
- b 顔面神経
- c 舌咽神経
- d 舌下神経

▶解剖学

選択肢考察

- × a 下顎神経は下顎領域の顔面皮膚や口腔粘膜、舌前方 2/3 (舌体部) の一般感覚を伝達する。また、咀嚼筋などを支配する運動線維が含まれる。
- × b 顔面神経は副交感、運動、知覚の各線維を含む混合神経である。舌前方 2/3 の味覚を伝達する。また、表情筋の運動や顎下腺、舌下腺唾液分泌を支配する。
- c 舌咽神経は運動線維、副交感線維、知覚線維で構成され、舌後方 1/3 (舌根部) の味覚や一般感覚を伝達する。図示された部位は舌の後方 1/3 (舌根部) である。この部の一般感覚や味覚を伝達するのは舌咽神経である。
- × d 舌下神経は運動線維のみで構成され、舌筋の運動を支配する。

正解 c

📖 要点集 291:P3

〔問題 5〕 視床下部に存在するのはどれか。

- a 呼吸中枢
- b 嚔下中枢
- c 摂食中枢
- d 嘔吐中枢

▶生理学

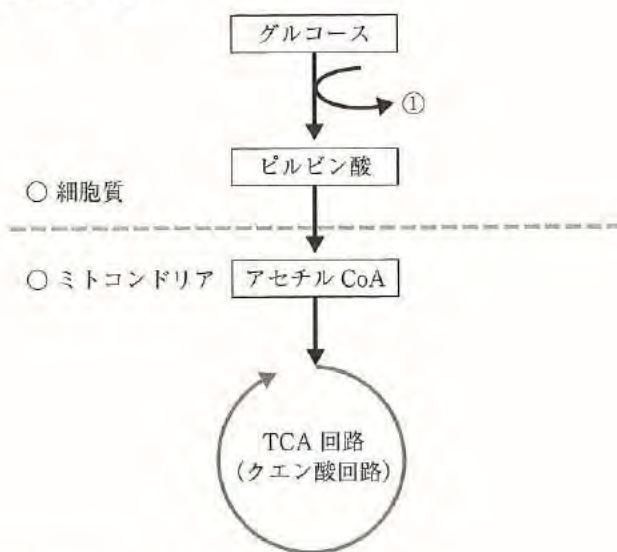
選択肢考察

- × a、× b、× d 呼吸中枢、嚔下中枢、嘔吐中枢は延髄に存在する。
- c 視床下部は間脳に位置し、自律機能の調節を行う総合中枢である。視床下部には、体温調節中枢、摂食中枢、満腹中枢、飲水中枢、下垂体ホルモンの調節中枢などが存在する。

正解 c

要点集 291:P2

〔問題 6〕 糖質代謝の図を示す。



① で産生されるのはどれか。

- a ATP
- b グルカン
- c スクロース
- d グリコーゲン

▶生理学

選択肢考察

- a グルコースからピルビン酸ができる過程を解糖系という。解糖系は細胞質中に存在し、その過程において ATP が生成される。
- × b グルカンは、細菌が産生するグルコシルトランスフェラーゼによってスクロースから合成される。
- × c スクロースは、グルコースとフルクトースからなる二糖類で、グルカン合成の基質となる。
- × d グリコーゲンはグルコースから構成される多糖類で、肝臓や筋の細胞に蓄えられている。グリコーゲンは食間時などエネルギーが必要となったときに分解され、解糖系に入り代謝される。

正解 a

要点集 291:P50

〔問題 7〕 心筋の特徴はどれか。

- a 強縮を起こす。
- b 骨格筋である。
- c 横紋構造を有する。
- d 運動神経支配である。

▶生理学

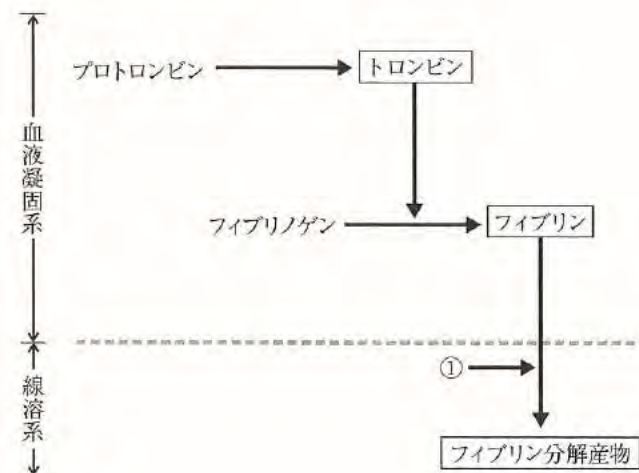
選択肢考察

- × a 心筋は不応期が長く、1回の収縮の終わる頃にならないと次の刺激に応じて収縮できないため、強縮を起こさない。
- × b 骨格筋は運動神経に支配される随意筋であり、心筋とは異なる。
- c 心筋は横紋筋の一種ではあるが骨格筋と異なり、筋線維が枝分かれして隣接線維と吻合している。
- × d 心臓は交感神経、副交感神経両方から支配を受けているが、心臓の活動自体は自律的に行われている。

正解 c

要点集 291:P17、P19

〔問題 8〕 血液凝固機序の一部を図に示す。



① はどれか。

- a ヒスタミン
- b プラスミン
- c アラキドン酸
- d プロスタグランジン

▶生理学

選択肢考察

- × a ヒスタミンは肥満細胞から放出される炎症性ケミカルメディエーターで、1型アレルギーに関与する。
- b 止血のために形成されたフィブリンは血栓となり、傷が治ると不要になる。この不要となった血栓は分解・除去される。これを線維素溶解系といい、タンパク分解酵素であるプラスミンによって分解される。
- × c、× d アラキドン酸は細胞膜を構成する不飽和脂肪酸の1つで、炎症の際に遊離され、プロスタグランジンやトロンボキサンが合成される。

正解 b

要点集 291:P21

〔問題 9〕 肉腫はどれか。

- a 乳頭腫
- b 線維腫
- c 歯肉癌
- d 悪性黒色腫

▶病理学

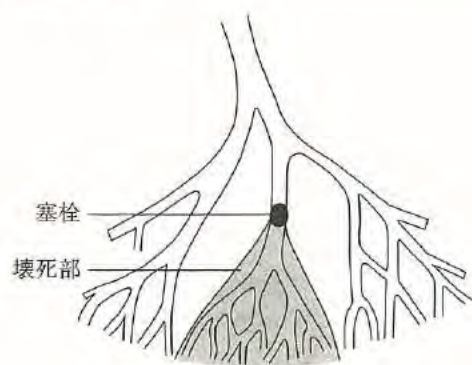
選択肢考察

- × a 乳頭腫や腺腫など上皮組織に由来し、転移しない腫瘍を**良性上皮性腫瘍**という。
- × b 骨腫や脂肪腫、線維腫などは**非上皮性組織**から発生した**良性非上皮性腫瘍**である。
- × c 舌癌や歯肉癌などの扁平上皮癌や腺癌は、上皮組織に由来する悪性上皮性腫瘍(癌腫)である。
- d 腫瘍組織は、転移の有無により良性腫瘍と悪性腫瘍とに大別され、さらに発生由来により上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍に分類される。悪性上皮性腫瘍を**癌腫**、悪性非上皮性腫瘍を**肉腫**という。悪性黒色腫や骨肉腫などは上皮組織に由来しない肉腫である。

正解 d

要点集 291:P47

〔問題 10〕 局所の血液循環を図に示す。



壊死の原因はどれか。

- a 充血
- b 虚血
- c 化膿
- d 化生

▶病理学

選択肢考察

- × a 充血は局所への**動脈血**の供給が増加することをいう。
- b 虚血とは、末梢組織への血液供給が急激に不足する状態をいい、動脈の狭窄や血栓(塞栓)などで血液の流入が**減少**する。虚血により、末梢組織の**梗塞**を引き起こす場合がある。
- × c 化膿とは、組織の損傷部が炎症を起こし、**好中球**を主とした白血球の浸潤と炎症組織の溶解により、粘稠な浸出液を形成することをいう。
- × d 化生は**進行性病変**の1つで、いったん分化した組織が、他の性状を示す組織に変わすることをいう。

正解 b

要点集 291:P45

〔問題 11〕 DNAを核酸として有するのはどれか。

- a A型肝炎ウイルス
- b B型肝炎ウイルス
- c C型肝炎ウイルス
- d D型肝炎ウイルス

▶微生物学

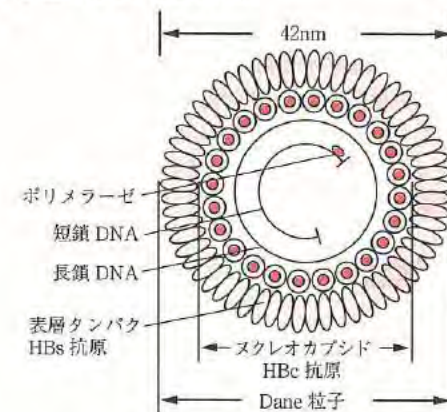
選択肢考察

- × a、× c、× d A型、C型、D型、肝炎ウイルスは**RNA**ウイルスである。
- b DNAを核酸として有するのは、肝炎ウイルスの中で**B型肝炎ウイルス**のみである。肝炎ウイルスのうち、DNAウイルスに分類されるのはB型肝炎ウイルスのみである。ほかはRNAウイルスに分類される。

正解 b

要点集 291:P37

● B型肝炎ウイルスの形態



〔問題 12〕 自然免疫に関係するのはどれか。

- a 赤血球
- b 肥満細胞
- c 形質細胞
- d マクロファージ

▶微生物学

選択肢考察

- × a 赤血球は酸素や二酸化炭素の運搬に関与する。免疫機構には関与しない。
- × b 肥満細胞は**I型アレルギー**に関与する。
- × c 形質細胞はB細胞由来の**抗体**を産生する細胞である。獲得免疫系(液性免疫)で働く。
- d 自然免疫(非特異的免疫)には、さまざまな白血球が関与する。自然免疫系の白血球には貪食細胞(**マクロファージ**、**好中球**)、**NK細胞**などがある。自然免疫(非特異的免疫)には、さまざまな白血球が関与する。

正解 d

要点集 291:P28

〔問題 13〕 内毒素の特徴はどれか。

- a 耐熱性がある。
- b 免疫原性が強い。
- c タンパク質である。
- d トキシイド化される。

▶微生物学

選択肢考察

- a 内毒素はリポ多糖 (LPS) で耐熱性がある。内毒素 (エンテロトキシン) は、グラム陰性菌の細胞壁にあるリポ多糖で、菌体の破壊によって遊離される細菌の病原因子の1つである。
- × b 免疫原性とは、体内に入ってきた時に生じる免疫反応性のことをいう。外毒素は免疫原性を有しているが、内毒素では弱い。
- × c 内毒素は脂質と多糖から構成されるリポ多糖である。外毒素はタンパク質である。
- × d 内毒素はタンパク質でないため、ホルマリンで無毒化 (トキシイド化) できない。

正解 a

📖 要点集 291:P34

〔問題 14〕 局所性止血薬はどれか。

- a トラネキサム酸
- b アスコルビン酸
- c εアミノカプロン酸
- d アルギン酸ナトリウム

▶薬理学

選択肢考察

- × a、× c トラネキサム酸、εアミノカプロン酸には抗プラスミン作用があり、全身性止血薬として用いられる。
- × b アスコルビン酸 (ビタミン C) はコラーゲン合成に関与し、血管壁を強化する目的で用いられる全身性止血薬である。
- d 止血薬は全身性 (内服、注射) 止血薬と局所性 (外用) 止血薬とに分類される。局所性止血薬は出血部位に直接適用されるもので、酸化セルロース、ゼラチンスポンジ、アルギン酸ナトリウム、アドレナリンなどがある。

正解 d

📖 要点集 291:P65

〔問題 15〕 エステル型局所麻酔薬はどれか。

- a リドカイン
- b プロカイン
- c ジブカイン
- d プロピトカイン

▶薬理学

選択肢考察

- × a、× c、× d リドカイン、ジブカイン、プロピトカインはアミド型局所麻酔薬である。
- b プロカインはエステル型局所麻酔薬である。局所麻酔薬の構造は、「芳香族部分-中間連鎖-アミノ基」となっており、中間連鎖がエステル結合しているものをエステル型局所麻酔薬、アミド結合しているものをアミド型局所麻酔薬という。

正解 b

📖 要点集 291:P63

〔問題 16〕 唾液成分でエナメル質の再石灰化作用をもつのはどれか。

- a ムチン
- b 重炭酸塩
- c リゾチーム
- d スタテリン

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a ムチンは、唾液腺から分泌される糖タンパクで、口腔粘膜保護作用を担う。
- × b 重炭酸塩 (HCO_3^-) は唾液に含まれる緩衝物質であり、緩衝作用をもつ。
- × c リゾチームは加水分解酵素として、細菌細胞壁を溶解する。
- d スタテリンは、ヒドロキシアパタイトに対して強い吸着能を示し、ペリクルの形成や、エナメル質表層の再石灰化に関与する。

正解 d

📖 要点集 291:P24

〔問題 17〕 象牙質知覚過敏の改善のため歯磨剤に添加されるのはどれか。2つ選べ。

- a 硝酸カリウム
- b 乳酸アルミニウム
- c タンニンフッ化物
- d フッ化ジアンミン銀

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a 硝酸カリウムは知覚過敏を改善するために歯磨剤に添加される。象牙質知覚過敏症の治療・改善には、歯磨剤に硝酸カリウム、乳酸アルミニウム、フッ化物などの薬物を添加する方法、さらにシエウ酸カリウム、フッ化物含有パーニッシュなどの薬物を塗布する方法などがある。
- b 乳酸アルミニウムは知覚過敏を改善するために歯磨剤に添加される。
- × c タンニンフッ化物はセメントに添加され、間接覆髄法に用いられる。
- × d フッ化ジアンミン銀はう蝕進行抑制薬として用いられる。

正解 a、b

📖 DH20:P132

〔問題 18〕 歯科疾患実態調査（平成 28 年）で年次推移の増加傾向を示したのはどれか。

- a 乳歯の一人平均う歯数
- b 永久歯の喪失歯所有者率
- c 乳歯にう歯を持つ者の割合
- d 高齢者で現在歯にう歯を持つ者の割合

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 乳歯（1 歳～14 歳）の 1 人平均う歯数（DMFT 指数）の年次推移は減少傾向を示している。
- × b 5 歳以上の多くの年齢階級で、喪失歯を有する者の割合（喪失歯所有者率）は、過去の調査より減少する傾向を示し、1 人平均喪失歯数も減少する傾向を示した。
- × c 14 歳以下の各年齢において年次推移をみると、う歯を持つ者の割合、1 人平均う歯数（dft 指数）、1 人平均未処置歯数は概ね減少傾向を示していた。
- d 5 歳以上 35 歳未満では減少傾向を示していたが、65 歳以上では増加傾向を示した。

正解 d

要点

歯科疾患実態調査は、わが国の歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的に、昭和 32 年より 6 年ごとに実施していたが、平成 24 年に策定した「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の中間評価にあわせ、今回の調査から調査周期が 5 年に変更された。

〔問題 19〕 歯周病由来の口臭症の主な原因物質はどれか。2 つ選べ。

- a 硫化水素
- b アセトン
- c インドール
- d メチルメルカプタン

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a、○ d 歯周病に起因する口臭症の原因物質は、主に揮発性硫黄化合物（VSC）である。VSC には硫化水素、メチルメルカプタン、ジメチルサルファイドがあり、含硫アミノ酸であるメチオニンやシスチン、システインから合成される。
- × b アセトンは糖尿病由来の口臭原因物質である。
- × c インドールは腐敗臭の原因物質で、歯髄壊疽による口臭原因物質である。

正解 a、d

DH20:P125

〔問題 20〕 健康日本 21（第二次）の「歯・口腔の健康」の目標項目はどれか。

- a 過去 1 年間に歯科検診を受診した者の割合の増加
- b 20 歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少
- c 40 歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少
- d 60 歳で喪失歯のない者の割合の増加

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a 健康日本 21（第二次）では、歯・口腔の健康は、口から食べる喜び、話す楽しみを保つ上で重要であり、身体的な健康のみならず、精神的、社会的な健康にも大きく寄与するとしている。そして、歯の喪失による咀嚼機能や構音機能の低下は多面的な影響を与え、最終的に健康寿命の延伸、健康格差の縮小、生活の質の向上に大きく関連することから「要点」にある目標を設定している。
- × b 20 歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少である。
- × c 40 歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少である。
- × d 40 歳で喪失歯のない者の割合の増加である。

正解 a

DH20:P157

要点

◎「歯・口腔の健康」の目標

歯・口腔の健康	① 口腔機能の維持・向上 (60 歳代における咀嚼良好者の割合の増加)
	② 歯の喪失防止 ア 80 歳で 20 歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加 イ 60 歳で 24 歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加 ウ 40 歳で喪失歯のない者の割合の増加
	③ 歯周病を有する者の割合の減少 ア 20 歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少 イ 40 歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少 ウ 60 歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少
	④ 乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増加 3 歳児でう蝕がない者の割合が 80 % 以上である都道府県の増加 12 歳児の一人平均う歯数が 1.0 歯未満である都道府県の増加
	⑤ 過去 1 年間に歯科検診を受診した者の割合の増加

〔問題 21〕 検査に菌垢染色剤を用いるのはどれか。2つ選べ。

- a CPI
- b OHI
- c PCR
- d PHP

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a CPIでは菌垢の評価は行わない。
- × b、○ c、○ d 口腔清掃状態の指数では、菌垢の検出に菌垢染色剤を用いるものが多い。菌垢染色剤を用いる指標は、PCR、PHPで、OHIは探針を用いて菌垢および菌石の検出を行う。

正解 c、d

〔問題 22〕 フッ化物洗口を実施している小学校Aと実施していない小学校Bのう蝕の追跡調査を行った。それぞれの1年次と6年次のDMFT指数を示す。

小学校	人数	DMFT指数	
		1年次	6年次
A	50	1.0	2.2
B	100	1.0	3.0

フッ化物洗口によるう蝕抑制率はどれか。

- a 30%
- b 40%
- c 50%
- d 60%

▶口腔衛生学

選択肢考察

- b う蝕抑制率 = $\frac{\text{対照群の増加したDMFT指数} - \text{介入群の増加したDMFT指数}}{\text{対照群の増加したDMFT指数}}$

A(フッ化物洗口群)の増加したDMFT指数 = $2.2 - 1.0 = 1.2$

B(対照群)の増加したDMFT指数 = $3.0 - 1.0 = 2$

従って、う蝕抑制率は $\frac{2 - 1.2}{2} \times 100 = 40\%$

う蝕抑制率はう蝕予防処置を行った群(介入群)と行わなかった群(対照群)とで、う蝕増加を比較して算出する。

正解 b

〔問題 23〕 ある地域の年齢群別人口を表に示す。

年齢(歳)	人数(人)	年齢(歳)	人数(人)
0~4	100	45~49	200
5~9	100	50~54	200
10~14	100	55~59	200
15~19	100	60~64	200
20~24	150	65~69	200
25~29	200	70~74	150
30~34	200	75~79	100
35~39	200	80~	50
40~44	200		

この地域の従属人口はどれか。

- a 300人
- b 500人
- c 800人
- d 1,850人

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 300人は年少人口である。
- × b 500人は老年人口である。
- c 800人は従属人口である。従属人口は、年少人口(0~14歳)と老年人口(65歳以上)の合計である。
- × d 1,850人は生産年齢人口である。

正解 c

〔問題 24〕 感染症の感染源対策はどれか。2つ選べ。

- a 害虫の駆除
- b 患者の届出
- c 栄養の摂取
- d 病原体の滅菌

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 感染経路対策には、接触機会の制限(マスク・グローブの使用、患者の隔離)や清潔の保持(うがい、手洗い)、媒介動物対策(害虫・媒介動物の駆除)、衛生環境対策(上水道消毒、食品衛生管理、換気など)がある。
- b、○ d 感染症の成立には、感染源、感染経路および宿主の感受性の3つの要因がある。感染源対策には、検疫、法律の整備、届出義務、消毒と滅菌がある。
- × c 宿主の感受性対策には個体抵抗力の保持(栄養の摂取、睡眠、運動)や予防接種がある。

正解 b、d

DH20:P169

〔問題 25〕 医療廃棄物保管容器に貼付する標識(別冊午前 No. 3)を別に示す。

この容器で保管するのはどれか。

- a 抜去歯
- b 使用済注射針
- c 血液付着ガーゼ
- d ラバーダムシート

選択肢考察

- × a 抜去歯は固形状なので**橙色**である。
- b 使用済注射針は鋭利なので**黄色**である。
- × c 血液付着ガーゼは固形状なので**橙色**である。
- × d ラバーダムシートは固形状なので**橙色**である。

正解 b

DH20:P175

要点

医療廃棄物保管容器の表示は、関係者が感染性廃棄物であることを識別できるよう、容器にはマーク等を付けるものとしている。

赤色：液状又は泥状のもの(血液や体液など)

橙色：固形状のもの(血液や汚染物が付着したガーゼやグローブ、抜去歯、ラバーダムシート)

黄色：鋭利なもの(メス、注射針)

▶ 衛生学・公衆衛生学

No. 3



〔問題 26〕 地域包括ケアシステムにおける歯科保健医療の役割でないのはどれか。

- a 先進歯科医療の推進
- b 定期的な訪問歯科診療等の実施
- c 口腔・栄養管理に係る取組の充実
- d 認知症の早期診断・早期対応のための体制整備

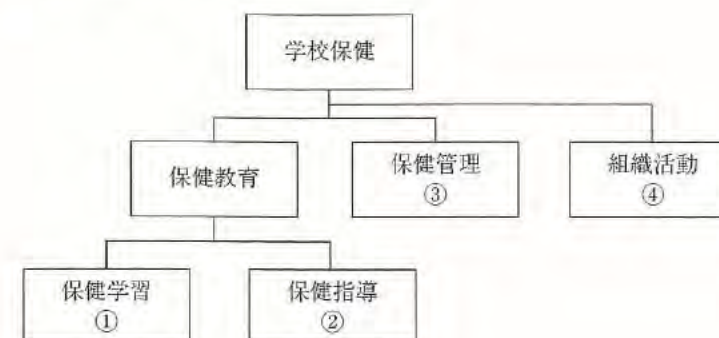
選択肢考察

- × a 地域包括ケアシステムにおける歯科保健医療の役割との直接の関連性はない。重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築が必要となる。今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要である。
- b 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが重要である。
- c 介護施設等入所者が認知機能や摂食・嚥下機能の低下等により食事の経口摂取が困難となっても、自分の口から食べる楽しみを得られるよう、多職種協働による支援を充実させることが重要である。
- d 歯科医師等による口腔機能の管理や薬剤師による服薬指導等を通じてこれらの専門家が高齢者等と接する中で、認知症の疑いがある人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携して早期に対応するとともに、その後も認知症の人の状況に応じた口腔機能の管理や服薬指導等を適切に行うことを推進する。

正解 a

DH20:P200

〔問題 27〕 学校保健の領域構造の一部を図に示す。



定期健康診断が該当するのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 保健学習は学習指導要領に基づき、学級担任や養護教諭などにより各教科において実施される。
- × b 保健指導は教科以外の学級活動やホームルーム活動などにおいて実施される。学校医や学校歯科医、歯科衛生士が担当する保健指導はこれに該当する。
- c 学校保健は**保健教育**、**保健管理**、**組織活動**の3領域からなる。保健管理は**対人管理**と**対物管理**に分けられ、対人管理には心身の管理(健康診断、健康相談、疾病予防、救急措置など)、生活の管理(学校生活の管理、家庭や地域での生活状況の把握と指導)がある。対物管理は学校環境の管理で、学校環境の衛生管理や、学校環境の美化・整備などが該当する。定期健康診断は保健管理に含まれ、養護教諭による保健相談や保健指導が行われる。
- × d 組織活動は保健教育と保健管理を協調的・効果的に運用するための教職員、家庭、地域の連携による活動であるPTA活動や校内研修、学校医などとの連携、学校保健委員会、地域学校保健委員会などが該当する。

正解 c

DH20:P196

【問題 28】 高齢者虐待で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 養護者による虐待の増加が目立つ。
- b 被虐待者では75歳以上の男性が多い。
- c ネグレクトとは介護・世話の放棄・放任である。
- d 高齢者虐待の特徴的なものに経済的虐待がある。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 養護者からの虐待、養介護施設従事者からの虐待の両者ともに増加しているが、養介護施設従事者からの虐待の増加が目立つ。
- × b 虐待を受けた高齢者では、75歳以上の女性が多い。
- c ネグレクトとは、高齢者を衰弱させるような著しい減食、長時間の放置、養護者以外の同居人による虐待行為の放置など、養護を著しく怠る介護・世話の放棄・放任のことである。高齢者虐待防止法では、「高齢者」を65歳以上の者と定義し、高齢者虐待を①養護者による高齢者虐待、及び②養介護施設従事者等による高齢者虐待に分けて **要点** のように定義している。養護者とは、「高齢者を現に養護する者であって養介護施設従事者等以外のもの」とされており、高齢者の世話をしている家族、親族、同居人等が該当すると考えられる。
- d 経済的虐待は、児童虐待には存在しない高齢者虐待独自の特徴的虐待である。

正解 c、d

要点

● 高齢者虐待の内容

- ① **身体的虐待**：高齢者の身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴力を加えること。
- ② **介護・世話の放棄・放任(ネグレクト)**：高齢者を衰弱させるような著しい減食、長時間の放置、養護者以外の同居人による虐待行為の放置など、養護を著しく怠ること。
- ③ **心理的虐待**：高齢者に対する著しい暴言又は著しく拒絶的な対応その他の高齢者に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。
- ④ **性的虐待**：高齢者にわいせつな行為をすること又は高齢者をしてわいせつな行為をさせること。
- ⑤ **経済的虐待**：養護者又は高齢者の親族が当該高齢者の財産を不当に処分することその他当該高齢者から不当に財産上の利益を得ること。

【問題 29】 感覚温度に直接影響するのはどれか。

- a 気圧
- b 体温
- c 湿度
- d 輻射熱

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a、× b 気圧、体温は感覚温度には考慮されない。
- c 感覚温度とは、湿度100%で無風の状態に換算した温度のことで、**気温、気湿、気流**の3つの要素のみで決定され、それ以外の要因は考慮されない。湿度が高いと汗が蒸発しにくくなるため、感覚温度は高くなる。
- × d 輻射熱は感覚温度には考慮されない。

正解 c

【問題 30】 二次医療圏を単位として整備されるのはどれか。2つ選べ。

- a 保健所
- b 特定機能病院
- c 地域医療支援病院
- d 地域包括支援センター

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 保健所は二次医療圏単位で整備される。二次医療圏は、高度な医療を除く入院までの一般的な医療を提供する区域、病院病床数を整備する際の地理的単位となる。
- × b 特定機能病院とは、高度先端医療に対応できる病院として厚生労働大臣が承認した病院で、三次医療圏である。
- c 地域医療支援病院は、地域の病院や診療所などを後方支援するという形で医療機関の機能の役割分担と連携を目的に創設され、特定機能病院とは性質が異なっている。二次医療圏あたり1つ以上存在することが望ましいとされている。
- × d 地域包括支援センターは、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、一次医療圏(各区市町村)に設置される。

正解 a、c

DH20:P187

【問題 31】 歯科衛生士法における相対的欠格事由はどれか。2つ選べ。

- a 未成年
- b 成年被後見人
- c 罰金以上の刑に処せられた者
- d 麻薬、あへん又は大麻の中毒者

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a 未成年は**歯科医師**の絶対的欠格事由である。
- × b 成年被後見人とは、精神上の障害により事理を弁識する能力を欠く常況にある者で、家庭裁判所より後見開始の審判を受けたものをいい、**歯科医師**の絶対的欠格事由である。
- c 罰金以上の刑に処せられた者は**相対的**欠格事由となる。
- d 麻薬、あへん又は大麻の中毒者は**相対的**欠格事由となる。

要点

欠格事由とは、国家試験に合格した者であっても免許が与えられない場合のことである。相対的欠格事由とは、場合によっては免許が与えられない理由であり、以下の場合である(一部抜粋)。

1. 罰金以上の刑に処せられた者
2. 前号に該当する者を除くほか、歯科衛生士の業務(歯科診療の補助の業務及び歯科衛生士の名称を用いてなす歯科保健指導の業務を含む。次号、第6条第3項及び第8条第1項において「業務」という。)に関し犯罪又は不正の行為があつた者
3. 心身の障害により業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
4. 麻薬、あへん又は大麻の中毒者

正解 c、d

[問題 32] ユニバーサルデザインの7原則でないのはどれか。

- a 公平性
- b 柔軟性
- c 安全性
- d 巧緻性

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × d 巧緻性とは「器用さ」を意味するもので、高い巧緻性を獲得するには意識的なトレーニングが必要となる。従って、ユニバーサルデザインの原則ではない。ユニバーサルデザインとは、「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障害の有無、体格、性別、国籍などにかかわらず、できるだけ多くの者にわかりやすく利用可能であるように最初からデザインすることをいう。この考え方をもっと解りやすくするために7つの原則がある。

- 公平性：誰にでも公平に利用できること
- 柔軟性：使う上で自由度が高いこと
- 単純、直感性：使い方が簡単ですぐわかること
- 認知性：必要な情報がすぐに理解できること
- 安全性：うっかりミスや危険につながらないデザインであること
- 効率性：無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に使用できること
- 接近や利用のためのサイズと空間：アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること

正解 d

[問題 33] 人を対象とする医学研究の倫理を謳っているのはどれか。

- a リスボン宣言
- b ヘルシンキ宣言
- c ジュネーブ宣言
- d アルマ・アタ宣言

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a リスボン宣言は患者の権利に関する宣言で、良質な医療を受ける、選択の自由、自己決定、情報コントロール、尊厳を保つなど11の権利原則が盛り込まれている。
- b ヘルシンキ宣言は、ニュルンベルグ綱領の基本精神を受け継いでおり、人を対象とする医学研究に関わる医師、その他の関係者が守るべき倫理原則である。
- × c ジュネーブ宣言は、ヒポクラテスの誓いをもとにした医師の倫理についての宣誓である。
- × d アルマ・アタ宣言は、第一回プライマリ・ヘルス・ケアに関する国際会議で採択された宣言文で、プライマリ・ヘルス・ケア (PHC) の大切さを明確に示した最初の国際宣言でもある。

正解 b

DH20:P243

[問題 34] 篩分法で評価するのはどれか。

- a 肺活量
- b 咬合力
- c 味覚閾値
- d 咀嚼能率

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a 肺活量は肺機能検査 (スパイロメトリー) で評価する。
- × b 咬合力は、咬合力測定器を用いて機械的に評価する。
- × c 味覚閾値の測定は、実際に味物質を用いた順位法による刺激テスト、調整法などで評価する。
- d 篩分法とは、咀嚼能率の検査に用いられる方法で、咀嚼した試料 (ピーナツなど) を口腔内から回収し、篩 (ふるい) を用いて篩い分ける方法である。

正解 d

[問題 35] 48歳の女性。下顎左側臼歯部の食片圧入を主訴として来院した。下顎左側第一小臼歯に自発痛はなく、冷刺激により一過性の疼痛を生じるという。初診時の口腔内写真 (別冊午前 No. 4 A) とエックス線写真 (別冊午前 No. 4 B) を別に示す。

露髄の有無の確認に必要な検査はどれか。

- a 透照診
- b 麻酔診
- c 歯髄電気診
- d う窩の電気抵抗値

▶ 歯科臨床の基礎

No. 4 A



B



選択肢考察

- × a 透照診は主に隣接面う蝕の検査に用いる。
- × b 麻酔診は自発痛のある患歯の特定に用いる。
- × c 歯髄電気診は歯髄の生死の判定に用いる。
- d 露髄の有無を診断する最も客観的な診査方法が電気抵抗値である。う窩が歯髄に近接している本症例では必須の診査項目である。初診時のエックス線画像により、患歯には歯髄腔に近接する深いう窩が観察される。問診ならびに冷温度診から患歯は生活歯である。従って、治療方針の決定には露髄の有無の鑑別が必要で、露髄が認められない場合は覆髄処置による歯髄保存療法、露髄が認められれば歯髄は感染しており抜髄処置が妥当である。

正解 d

DH20:P291

〔問題 36〕 緩徐歯間分離法に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 結紮線
- b ウェッジ
- c ストッピング
- d アイボリー型セパレーター

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- a、c 隣接面を成形材料によって修復する際には、接触点を回復するためにマトリックスの厚みの分だけ歯間を分離しておく必要がある。これには修復直前に即時に分離する方法と、あらかじめ分離しておく方法がある。即時歯間分離には楔（ウェッジ）とセパレーターが用いられる。セパレーターにはくさび型（エリオット、アイボリー）と牽引型（フェリアー）がある。また、緩徐分離法には、弾性ゴム、ストッピング、結紮線、木片などを用いる方法がある。

正解 a、c

DH20:P292

〔問題 37〕 プロービングで得られる情報はどれか。2つ選べ。

- a 根面形態
- b 歯根膜腔の拡大
- c 歯肉溝滲出液量
- d 根分岐部病変の有無

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- a、d プロービングではポケット深さの測定のほか、根面の形態や凹凸、上皮付着部位の確認が可能である。さらにプロービング時の出血（BOP）や排膿、歯肉縁下プラークの有無、根分岐部病変も確認できる。

正解 a、d

DH20:P504

〔問題 38〕 ブラックの分類で上顎前歯舌側面小窩に位置する窩洞はどれか。

- a 1級
- b 3級
- c 4級
- d 5級

▶ 保存修復学

選択肢考察

- a G. V. Black は、う蝕の部位による発生頻度、窩洞形成や修復の共通性を考慮して窩洞を分類している。
要 点 参照。

正解 a

DH20:P292

要 点

●ブラックの窩洞外形の分類（Ⅰ級～Ⅴ級）

Ⅰ級窩洞	小窩裂溝に位置する窩洞であって、臼歯の咬合面・頬面・舌面や、前歯の舌面に存在する。
Ⅱ級窩洞	臼歯隣接面の窩洞をいう。
Ⅲ級窩洞	前歯隣接面にあって、切縁隅角を含まない窩洞をいう。
Ⅳ級窩洞	前歯隣接面にあって、切縁隅角を含む窩洞をいう。
Ⅴ級窩洞	歯冠の唇側側面及び舌面の歯頸側1/3にある窩洞をいう。

〔問題 39〕 36歳の女性。上顎右側第一小臼歯のブラッシング時の疼痛を主訴として来院した。半年前に気づき、最近では一過性の冷水痛があるという。自発痛はなく、歯髄電気診に正常に反応する。初診時の口腔内写真（別冊午前 No. 5）を別に示す。

修復処置に用いられるのはどれか。2つ選べ。

- a ラミネートベニア
- b コンポジットレジンインレー
- c フロアブルコンポジットレジン
- d レジン添加型グラスアイオノマーセメント

▶ 保存修復学

No. 5

選択肢考察

- × a ラミネートベニアは審美障害に対する修復法であり、前歯部に適応される。設問のくさび状欠損に対して行う修復法ではない。
- × b 歯頸部の修復にインレー修復は行わない。
- c フロアブルコンポジットレジン（流動性）のコンポジットレジンであり、流れが良好である。歯質接着性修復であり、設問のくさび状欠損に対して行う適切な修復法である。
- d レジン添加型グラスアイオノマーセメントは歯質接着性を示し、フッ素徐放性を有する。くさび状欠損に対して行う修復法として適切である。

正解 c、d



【問題 40】 感染根管治療後における根尖歯周組織の治癒で望ましいのはどれか。

- a 骨性癒着
- b 第3象牙質の形成
- c セメント質の添加
- d アベキソゲネーシス

▶ 歯内療法

選択肢考察

- × a 骨性癒着（アンキローシス）とは、**歯根膜**が欠如あるいは断裂し、歯根と歯槽骨が直接結合することで、歯の外傷や代謝異常などでみられる。
- × b 第3象牙質は、生活歯髄が残存する時に**象牙質**直下に形成される。間接覆髄法や IPC 法（暫間的間接覆髄法）の治癒である。
- c 感染根管治療は、歯髄壊死、歯髄壊疽、根尖性歯周炎など**歯髄が失活した**場合に行う。緊密な根管充填による根管の封鎖により、根尖歯周組織では炎症の消退、血液循環の改善が生じ、新生骨やセメント質の添加が生じる。
- × d アベキソゲネーシスは根未完成の生活歯に適用される術式で、**歯根の完成**を目的としている。

正解 c

【問題 41】 35歳の女性。他院で上顎右側第二小臼歯の根管治療中であつたが、転居に伴い転院してきた。打診痛がある。初診時のエックス線写真（別冊午前 No. 6）を別に示す。
エックス線不透過像を示す根管内残留物の除去に有用なのはどれか。2つ選べ。

- a レンツロ
- b 実体顕微鏡
- c 超音波振動装置
- d Er:YAG レーザー

▶ 歯内療法

No. 6



選択肢考察

- × a レンツロ（スパイラルルートフィラー）は**シーラー**を根管内に送り込むための器具である。
- b 彎曲した根管の根尖部に小器具の破折片と思われるエックス線不透過像がある。根管内の破折器具を除去するためには、根管上部のフレアー形成を行い、破折器具を観察しながらアプローチできるようにする。根尖部での器具破折片は鉗子などで把持できない位置なため、実体顕微鏡（マイクロスコープ）下で破折片側方から超音波振動装置に取り付けた小器具で振動を加えて除去する。
- c 超音波振動装置に取り付けた小器具を介して、破折片側方から振動を加えて除去する。
- × d Er:YAG レーザーは**歯の切削**に用いられる。

正解 b, c

DH20:P363

【問題 42】 歯髄疾患と治療方針との組合せで適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 歯髄充血 ——— 歯髄鎮痛消炎療法
- b 急性一部性単純性歯髄炎 ——— 抜髄
- c 急性化膿性歯髄炎 ——— 抜髄
- d 慢性潰瘍性歯髄炎 ——— IPC 法

▶ 歯内療法

選択肢考察

- a 歯髄充血の場合、**歯髄鎮痛消炎療法**（歯髄保存療法）が適応される。歯髄疾患の治療法には大別して歯髄保存療法と歯髄除去療法がある。治療にあたっては歯髄の保存が可能か否かの正確な診断が必須である。
- × b 急性一部性単純性歯髄炎は**可逆性歯髄炎**と考えられており、歯髄鎮痛消炎療法を試みる。
- c 急性化膿性歯髄炎の場合は一部性であっても歯髄内に化膿性病変が存在しており、保存は不可能であるため**抜髄処置**（歯髄除去療法）が適応となる。
- × d 慢性潰瘍性歯髄炎は原則的に潰瘍直下に化膿性病変が存在するため、**抜髄処置**が適応となる。

正解 a, c

DH20:P346

【問題 43】 29歳の女性。上顎前歯部の歯肉切除術を行うことになった。口腔内写真（別冊午前 No. 7 A）とエックス線写真（別冊午前 No. 7 B）を別に示す。

歯肉切除術が選択された理由はどれか。

- a 歯肉の発赤
- b 仮性ポケット
- c 歯槽骨の吸収
- d アタッチメントロス

▶ 歯周治療

No. 7 A



B



選択肢考察

- × a 歯肉の発赤・腫脹が認められる。炎症がある症例は歯肉切除術の適応ではない。
- b エックス線写真から歯槽骨吸収がなく、歯頸部が歯肉に覆われている。すなわち**仮性ポケット**の存在が疑われ、歯肉切除術が適応される。
- × c 歯槽骨吸収は認められない。また歯槽骨吸収がある場合は真性ポケットであり、**フラップ手術**等の適応となる。
- × d 歯槽骨吸収がないため、アタッチメントロスを起こしているとは考えにくく、アタッチメントロスを起こしている症例は歯肉切除術の適応ではない。

正解 b

[問題 44] 56歳の女性。下顎右側大臼歯の歯肉腫脹を主訴として来院した。慢性歯周炎と診断し、歯周治療を開始した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 8 A)とエックス線写真(別冊午前 No. 8 B)を別に示す。歯周基本治療後の再評価検査結果の一部を表に示す。

舌側*	3	5	4
歯種	6		
頬側*	4	⑤	4
動揺度	1		

* :プロービングデプス(mm)
○印:プロービング時の出血

6のGlickmanの分類はどれか。

- a 1級
- b 2級
- c 3級
- d 4級

▶歯周治療学

No. 8 A



B



選択肢考察

- c Glickman 3級は根分岐部病変が進行し、プローブを挿入すると貫通はするが、周囲が歯肉で覆われている状態である。口腔内写真では根分岐部は露出していないが、エックス線写真より6根分岐部の歯槽骨吸収が認められ、貫通していることがわかる。

正解 c

DH20:P502

[問題 45] 49歳の女性。全顎にわたる歯肉の腫脹を主訴として来院した。高血圧症で通院服薬中であるという。歯周ポケットの深さは平均3.5mmで、エックス線検査で骨吸収を認めない。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 9)を別に示す。

服用中の薬物とまず行うべき対応との組合せで正しいのはどれか。

- a ニフェジピン —— 口腔清掃指導
- b ニフェジピン —— ルートプレーニング
- c フェニトイン —— 口腔清掃指導
- d フェニトイン —— ルートプレーニング

▶歯周治療学

No. 9



選択肢考察

- a、×b ニフェジピンの副作用に歯肉増殖症がある。ニフェジピンは高血圧治療薬で、この薬物による薬物性歯肉増殖症が考えられる。まず行うべき対応としては、歯肉炎の増悪を防止するため、口腔清掃指導、プラークコントロールを徹底する。併せて医科担当医に対して、薬物の変更が可能かどうか相談する必要がある。
- ×c、×d 抗てんかん薬(抗けいれん薬)のフェニトインには歯肉増殖症の副作用があるが、てんかんの既往がないため考えにくい。

正解 a

[問題 46] 全部被覆冠の写真(別冊午前 No. 10)を別に示す。

合着に用いるのはどれか。

- a リン酸亜鉛セメント
- b 接着性レジンセメント
- c カルボキシレートセメント
- d グラスイオノマーセメント

▶歯科補綴学

No. 10



選択肢考察

- b 写真はオールセラミッククラウンである。接着性レジンセメントは接着力が強く、コンポジットレジンインレー、セラミックインレー、セラミッククラウンの合着のほか、ブラケットの装着にも用いられる。コンポジットレジンやセラミックの合着では、シランカップリング剤による内面処理が必要となる。

正解 b

DH20:P748

【問題 47】 70歳の男性。上顎義歯の動揺と前歯部顎堤の疼痛を主訴として来院した。検査の結果、義歯を新製することになった。ミラーの柄を用いた顎堤粘膜の診査時の口腔内写真(別冊午前 No.11)を別に示す。

上顎前歯部にみられるのはどれか。

- a クレフト
- b エプーリス
- c フラビーガム
- d フェストゥーン

▶ 歯科補綴学

選択肢考察

- × a クレフトは不適切なブラッシングによりみられる唇側歯肉の裂開(クレフト)である。
- × b エプーリスは、歯肉部に発生した良性の限局性腫瘍である。
- c 口腔内写真から上顎前歯部にフラビーガムが認められる。不適切な義歯の長期使用による慢性的な機械的刺激により、可動性の大きい粘膜組織がみられる場合がある。これをフラビーガムといい、上顎前歯部に好発する。
- × d フェストゥーンは不適切なブラッシングによりみられる唇側遊離歯肉のロール状肥厚である。

正解 c

DH 20:P 379、P 490

No.11



【問題 48】 69歳の男性。下顎前歯部の空隙を主訴として来院した。5年前に下顎片側義歯を装着したが、徐々に空隙が生じてきたという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.12 A)、義歯装着時の写真(別冊午前 No.12 B)及び義歯粘膜面の写真(別冊午前 No.12 C)を別に示す。

使用している装置はどれか。

- a 根面アタッチメント
- b 歯冠内アタッチメント
- c 歯冠外アタッチメント
- d コースステレスコープクラウン

▶ 歯科補綴学

No.12 A



B



C

フィメール



選択肢考察

- × a 根面アタッチメントは、固定部が孤立歯などの根面や根管に設置される。
- × b 歯冠内アタッチメントは、アタッチメントの維持部がクラウン内に埋め込まれた形態のもので、固定部と可撤部は摩擦によって維持が図られる。
- c 写真 A から歯冠を有する鉤歯が存在し、その歯冠よりもアタッチメントが外側に存在するため、歯冠外アタッチメントである。歯冠外アタッチメントは、固定部が維持歯のクラウンの外側に設定される。
- × d コースステレスコープクラウンは、維持装置としてクラスプを用いず、二重構造でできた冠を使った、はめこみ式機構の義歯である。残存歯を形成し、その上に金属の内冠を被せる。次いで、内冠に適合する外冠を作り、この内冠外冠を維持装置として義歯を固定するものである。

正解 c

次の文を読み、[問題 49]、[問題 50] に答えよ。

68歳の女性。左側下顔面の疼痛を主訴として来院した。3日前から左側下顔面に発赤を伴う水疱が出現し、聴覚過敏とめまいを自覚するという。初診時の顔貌写真(別冊午前 No.13)を別に示す。

[問題 49] 疑われるのはどれか。

- a 扁平苔癬
- b 带状疱疹
- c 掌蹠膿疱症
- d ヘルパンギーナ

[問題 50] 原因療法に用いられるのはどれか。

- a ペニシリン
- b アシクロビル
- c ミコナゾール
- d カルバマゼピン

▶口腔外科学

No.13



選択肢考察

[問題 49]

- × a 扁平苔癬は、口腔粘膜のほか、外陰部粘膜や皮膚に生じる慢性炎症性角化病変である。
- b 3日前から発赤を伴う水疱が左側の三叉神経第三枝領域に局限して出現し、聴覚過敏とめまいを自覚すること、写真から水疱が癒合、自壊し、潰瘍を形成していることから**带状疱疹**が疑われる。
- × c 掌蹠膿疱症は、手のひらや足の裏に、感染によらない無菌性膿疱が繰り返しできる慢性炎症性の難治性皮膚疾患である。
- × d ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎であり、乳幼児を中心に夏季に流行する。

[問題 50]

- × a ペニシリンは**抗菌薬**であり带状疱疹ウイルスには無効である。
- b 带状疱疹の原因療法として、抗ウイルス薬の**アシクロビル**を投与する。アシクロビルは単純ヘルペスウイルス、带状疱疹ウイルスに有効である。
- × c ミコナゾールは**抗真菌薬**であり带状疱疹ウイルスには無効である。
- × d カルバマゼピンは、**三叉神経痛**の治療薬である。

正解 [問題 49] b

[問題 50] b

DH20:P405

[問題 51] 61歳の男性。下顎左側第一大臼歯部舌側の腫脹と自発痛を主訴として来院した。腫脹部分を触診すると波動を触れ、強い疼痛を訴える。口底蜂窩織炎と診断された。

当日行われるのはどれか。2つ選べ。

- a 摘出術
- b 切開排膿
- c 抗菌薬の投与
- d 原因歯の抜去

▶口腔外科学

選択肢考察

- × a 摘出術は**囊胞**や**腫瘍**に対する治療法である。
- b 口底蜂窩織炎は下顎歯を原因とする炎症が舌側の2か所以上の隙に波及したもので、設問では膿瘍が形成されているため早期に切開排膿させ、膿瘍を排除する必要がある。
- c 病原体は細菌であるため抗菌薬の投与を行う。
- × d 急性炎症が強い場合、切開排膿、抗菌薬・抗炎症薬の投与後に、原因歯の抜去を行うことがある。当日の抜歯は行わない。

正解 b, c

[問題 52] 67歳の女性。口腔乾燥感と舌の痛みを主訴として来院した。1年前から自覚するようになったという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.14)を別に示す。

考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 脳梗塞
- b 悪性貧血
- c 骨粗鬆症
- d シェーグレン症候群

▶口腔外科学

No.14



選択肢考察

- × a 脳梗塞は、脳の栄養動脈の閉塞または狭窄のため脳虚血をきたし、脳組織が壊死する状態である。平滑舌と口腔乾燥には直接関連しない。
- b 口腔内写真から、舌背部の舌乳頭の萎縮による**平滑舌**と舌粘膜表面の乾燥感を認める。悪性貧血は、**ビタミンB₁₂**の吸収不全により生じる。舌乳頭が顕著に萎縮し舌表面が平滑になる**ハンター舌炎**や、四肢のしびれなどの神経障害が特徴である。
- × c 骨粗鬆症は、骨密度の低下または骨質の劣化により骨強度が低下し、骨折しやすくなる状態をいう。平滑舌と口腔乾燥には直接関連しない。
- d シェーグレン症候群は、唾液腺や涙腺などの外分泌腺が特異的に侵される**自己免疫疾患**の1つである。口腔、眼の乾燥を主徴とする。舌乳頭の萎縮により平滑舌となることも多い。

正解 b, d

【問題 53】 5歳の男児。歯科治療を希望して来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.15)を別に示す。

Hellman の歯齢はどれか。

- a II A 期
- b II C 期
- c III A 期
- d III B 期

▶ 矯正歯科学

選択肢考察

- a 口腔内写真から、E+E の萌出が確認され II A 期(乳歯列完成期)である。また、患児の年齢からも乳歯列期である。
- × b II C 期は第一大臼歯および切歯萌出開始期である。乳前歯の脱落はみられないため、この期ではない。
- × c III A 期は第一大臼歯萌出完了、切歯萌出完了または萌出中である。
- × d III B 期は側方歯群交換期である。

正解 a

DH 20:P 425

No. 15



【問題 54】 4歳の女児。3歳時の口腔内写真(別冊午前 No.16 A)と現在の口腔内写真(別冊午前 No.16 B)を別に示す。

この1年間で消失したと考えられる習癖はどれか。2つ選べ。

- a 咬唇癖
- b 吸指癖
- c 咬爪癖
- d 舌突出癖

▶ 矯正歯科学

選択肢考察

- × a 咬唇癖では上顎前歯の唇側傾斜がみられる。
- b、○ d 3歳時の口腔内写真では前歯部に開咬がみられる。開咬の原因としては吸指癖、舌突出癖が考えられる。しかし、1年後には消失しそれに伴って、オーバーバイトは浅いものの、開咬が消失した。吸指癖では吸う指の種類や本数によって歯列への影響が変わってくる。拇指吸指癖では拇指が入る部分の歯列にスペースが生じ、開咬と上顎前歯の唇側傾斜が生じることが多い。
- × c 咬爪癖では正中離開や上顎前歯部の叢生がみられる。

正解 b、d

DH 20:P 463

No. 16 A



B



【問題 55】 下顎前突を呈するのはどれか。

- a ターナー症候群
- b ピエール・ロバン症候群
- c トリーチャー・コリンズ症候群
- d ベックヴィズ・ヴィードマン症候群

▶ 矯正歯科学

選択肢考察

- × a ターナー症候群は、X 染色体のモノソミーで、女児に発生する。エナメル質が薄く、歯は小さめであり、軽度の上顎前突を呈する。
- × b ピエール・ロバン症候群は、小下顎症、U 字型の口蓋裂、舌根沈下と上気道閉塞を主徴とする。
- × c トリーチャー・コリンズ症候群は第1・第2鰓弓由来の発育不全が両側に生じる疾患である。頬部、眼、下顎骨、外耳、中耳などの低形成を特徴とする。
- d ベックヴィズ・ヴィードマン症候群は、巨舌、巨体、臍帯ヘルニアを主徴とする。巨舌に関連した前歯部開咬、反対咬合が高頻度で認める。

正解 d

【問題 56】 オペラント条件付け法の負の強化因子を用いた行動変容法はどれか。2つ選べ。

- a タイムアウト法
- b レスponsコスト法
- c トークンエコノミー法
- d ハンドオーバーマウス法

▶ 小児歯科学

選択肢考察

- a タイムアウト法は、望ましくない行動をした時に一定の時間、隔離したり、無視したりしてその行動を変えさせようとする方法であり、負の強化因子である。オペラント条件付け法では、ご褒美のシールやおもちゃをあげる、良くできたことを褒めてあげるなど本人に次も頑張ろうという気持ちを起こさせようとする正の強化因子を用いる方法と、逆に叱る、叩くなど嫌な経験(負の強化因子)をさせることによって、次はやらないようにしようという気持ちにさせて、行動変容を図る方法とがある。通常、正の強化因子を用いた行動変容の方が効果的であるとされている。
- b レスponsコスト法は、シールやおもちゃなど一度与えたものを、望ましくない行動をしたことで取り上げてしまうという、負の強化因子による行動変容法である。
- × c トークンとはコインのようなもので、これを機械に入れるとおもちゃや自分の好きな物を入手できるご褒美であり、正の強化因子による行動変容法である。
- × d ハンドオーバーマウス法は、泣き叫んで術者の話を聞こうとしない患児に対して口を手で覆って発言を遮断し、術者の話を聞かせようとする方法である。

正解 a、b

DH 20:P 806

〔問題 57〕 出生時を1としたときの3歳0か月の定型発達の子の体重で正しいのはどれか。

- a 2倍
- b 4倍
- c 6倍
- d 8倍

▶小児歯科学

選択肢考察

○b 出生時の男児の体重は3kgであり、3歳時には体重が4倍となる。

◎小児における体重の増加

月齢・年齢	出生時	4か月	1年	3年	5年	7年	14年
出生時体重 に対する比	1	2	3	4	5~6	6~7	14~16

正解 b

〔問題 58〕 装置の写真(別冊午前 No.17)を別に示す。

この装置の目的はどれか。2つ選べ。

- a 抜歯窩の創傷治癒を促進する。
- b 第二小臼歯の萌出余地を維持する。
- c 第一大臼歯の近心移動を防止する。
- d 第二大臼歯の萌出を誘導する。

▶小児歯科学

選択肢考察

○b、c 写真の装置は下顎第一乳臼歯に装着されたクラウンディスタルシユである。この装置は第二乳臼歯の早期喪失を補うために使用するもので、Hellman の歯齡ⅡA期において、第二乳臼歯がう蝕などの原因で崩壊し、抜去せざるをえない状態になった場合の第一大臼歯の近心移動を防止し、後継永久歯である第二小臼歯の萌出余地を維持するための保隙装置である。

正解 b、c



No. 17

〔問題 59〕 60歳の男性。舌癌と診断され、6か月前に舌の亜全摘が行われた。術後の口腔機能回復のために製作された装置の写真(別冊午前 No.18)を別に示す。

この装置で改善されるのはどれか。

- a 呼吸障害
- b 睡眠障害
- c 鼻咽腔閉鎖機能
- d 食塊の送り込み

▶障害者・高齢者歯科学

No. 18



選択肢考察

- × a、× b 舌根沈下等の呼吸障害や睡眠障害の改善にはスリープスプリントを用いる。
- × c 鼻咽腔閉鎖機能の改善には、スピーチエイド、軟口蓋挙上装置を用いる。
- d 写真は舌接触補助床(PAP)である。舌の広範囲切除が行われると、舌運動障害をきたし、嚥下や発音時に舌が口蓋に接することができず、食塊の保持や送り込み、発音に障害が生じる。舌接触補助床は、口蓋を盛り上げ、機能を改善することを目的に装着される。舌癌広範囲切除後の摂食嚥下リハビリテーションにあたり、舌接触補助床を製作し、機能回復を図る治療を行う。舌接触補助床は、切除や運動障害を原因とした著しい舌の機能障害により、舌と硬・軟口蓋の接触が得られない患者に対して用いる。

正解 d

〔問題 60〕 改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)の質問項目はどれか。2つ選べ。

- a 年齢
- b 文章理解
- c 図形模写
- d 野菜の名前

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- a、○ d 改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)は一般の高齢者から認知症の高齢者をスクリーニングすることを目的に作成されたものであり、認知症の中核症状である記憶障害の評価が中心となっている。認知機能を評価する質問項目は、「年齢」「日時の見当識」「場所の見当識」「3つの言葉の記憶」「計算」「数字の逆唱」「3つの言葉の遅延再生」「5つの物品記銘」「野菜の名前：言葉の流暢性」の9項目で構成されている。
- × b、× c 文章理解、図形模写は精神状態短時間検査(MMSE)の質問項目である。

正解 a、d

DH20:P683

【問題 61】 認知症患者への接し方で適切なのはどれか。

- a 同じ話は指摘する。
- b 作話でも受け入れる。
- c 幼児語で優しく説明する。
- d 言語的コミュニケーションを大切にすること。

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- × a 何度も同じ話を聞かされるとうんざりするが、初めて聞くような顔で相槌を打ってあげる。本人には繰り返し同じ話をしている意識はないので、「何度も同じことを言わないで!」などに対応すると、戸惑いや反感を抱いてしまう。
- b 嘘や作り話だとわかっていても、否定したり無視したりするのではなく、「そうですね」と作話の内容は訂正せず、ひとまず話を聞くことが大切である。作話では、本人には嘘をついているつもりではなく必要なことを忘れてしまったり、その反対に不要な情報が記憶に残っていたりするために、作話することで本人なりに矛盾を正して納得しようとしているとも考えられる。認知症患者は自分が誰かわからなくなること、記憶が失われていくことにとっても「不安」を感じている。認知症は脳の障害によって、表現の仕方や行動にズレが生じているので、否定せずに、「受け入れる」ことが大切である。自尊心を尊重する、話をよく聞く、同じ話しでも真剣に聞く、本人の意志を尊重する、認知症患者のペースに合わせる、間違いであっても受け入れ怒らない、納得できるように話す、声掛けを多くする、不安にさせないなどである。
- × c 認知症患者に対しては大人同士として話すことが重要である。認知症患者に幼児語を使用するなど子ども扱いをすると、患者は見下されているような気分になるので、コミュニケーションを阻害することがある。また、成人に対して幼児語を使うこと自体、個人の尊厳を無視することになる。
- × d 認知症患者では、言葉でのコミュニケーションが難しくなってしまう場合が多くある。このような場合でも非言語的コミュニケーションを用いて笑顔で接することが重要である。

正解 b

【問題 62】 高齢者の咀嚼障害を呈する疾患はどれか。2つ選べ。

- a クッシング病
- b リガフェーデ病
- c パーキンソン病
- d アルツハイマー病

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- × a クッシング病は副腎皮質ホルモンの過剰分泌による代謝性疾患であり、咀嚼障害を認めることはない。
- × b リガフェーデ病は、**先天歯**が原因で生じる**舌下部潰瘍**であり、高齢者の疾患ではない。
- c 高齢者は咀嚼機能にも加齢変化がみられる。その結果、口腔、咽頭などの諸機能が低下する。しかし、その程度には個人差が大きく、生理的な機能変化と、高齢者に多い病的機能低下を区別する必要がある。パーキンソン病は、脳内の神経伝達物質である**ドーパミン**が減少し、運動性の活動と精神性の活動のどちらも低下する疾患である。嚥下障害が高頻度に認められ、誤嚥性肺炎を起こす確率が高く、咀嚼障害となる。
- d アルツハイマー病は、65歳以上で最も多い**認知症**である。記憶力低下、場所や時間の見当識障害、計算力低下などを発症し、進行すると失語、失認、失行、遂行機能障害が加わる。口腔や咽頭の反射が低下し、咀嚼障害、嚥下障害を呈する。

正解 c、d

【問題 63】 キュレットスケーラーの先端部のシャープニングで適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 砥石を45°傾ける。
- b 2cm程度上下運動させる。
- c 先端を6時の方向に向ける。
- d 刃部内面を床面と垂直にする。

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a 先端に適合するように、砥石を45°傾ける。
- b 砥石はスケーラー先端の半円形の丸みに合わせて、2cm程度上下運動させる。
- × c スケーラーの先端を3時の方向に向けて、刃部内面を床面と平行にする。
- × d 刃物内面と砥石とのなす角度が90°になるように、砥石を合わせる。

正解 a、b

【問題 64】 歯周疾患の疫学的特徴はどれか。2つ選べ。

- a 発病は部位により異なる。
- b 有病率は加齢とは関係ない。
- c 歯肉縁下歯石の好発部位は歯種により差がある。
- d 歯周ポケットからの出血は疾病の活動度を表す。

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a 歯周疾患は歯種により発病に差があり、**下顎前歯部**と**上顎大臼歯部**が最も罹患しやすく、上下顎犬歯部や下顎小臼歯部は罹患しにくい。
- × b 加齢とともに免疫機能が低下し、有病率は**増加**する。
- × c 歯肉縁下歯石の沈着は特に好発部位はない。
- d 歯周ポケットからの出血の度合いにより、**歯周疾患の活動度**がわかる。

正解 a、d

【問題 65】 義歯性口内炎の好発部位はどれか。

- a 頬粘膜
- b 口蓋粘膜
- c 歯肉唇移行部
- d 歯肉頬移行部

▶歯科予防処置

選択肢考察

- × a 頬粘膜は床下粘膜ではなく、義歯性口内炎がみられることはない。
- b 義歯性口内炎は義歯の不適合や不潔な状態が原因であり、**カンジダ**による感染がみられることもある。**床下粘膜**に起こりやすく、口蓋粘膜に好発する。特に全部床義歯においては、口蓋粘膜部はリリーフしてある場合が多く、ほかの部位に比べて適合度が低いいため不潔になりやすい部位であり、カンジダ感染の温床となることがある。
- × c、× d 歯肉唇移行部、歯肉頬移行部は**義歯性線維腫**の好発部位である。

正解 b

【問題 66】 器具の写真(別冊午前 No.19)を別に示す。

この器具の使用法で正しいのはどれか。

- a 掌握状把持で用いる。
- b フリーハンドで用いる。
- c 出血したら挿入をやめる。
- d 20～25 g の荷重で用いる。

選択肢考察

- × a 繊細な動作が要求されるため**執筆状把持**で用いる。
- × b 付着を破壊してしまう恐れがあるので、必ずレストを確保する。
- × c 適度に加圧し止まった位置で挿入を止める。出血は炎症存在の指標である。
- d ポケット探針(プローブ)は歯周組織検査に用いる基本的な器具である。ポケット深さの測定やアタッチメントロスの状態、根面の性状を調べるために用いる。一般的に、ポケット探針に加える適正な荷重は **20～25 g** 程度といわれている。加圧が弱すぎると実際より浅くなり、逆に強すぎると付着を破壊してしまう恐れがある。

正解 d

▶ 歯科予防処置

No. 19



DH 20:P 475

【問題 67】 歯周疾患の評価法でプロービングを必要としないのはどれか。

- a GI
- b CPI
- c PMA Index
- d Russell の PI

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a GI はプロービング後の**出血**を評価するため、プローブを用いる。
- b CPI は歯肉出血の有無、歯周ポケットの診査を行うため、プローブを必要とする。
- × c PMA Index は**歯間乳頭部**、**辺縁歯肉部**、**付着歯肉部**への歯肉炎の広がりを評価するものであり、プローブは必要ない。歯周疾患の評価には、GI、PMA index、Russell's の PI、CPI などがあり、それぞれ対象歯や評価法が異なる。
- d Russell's の PI は歯周ポケットの形成を評価するため、プローブを用いる。

正解 c

DH 20:P 473

次の文を読み、【問題 68】、【問題 69】に答えよ。

ある集団に対して行った Dean の分類による歯のフッ素症の調査結果を表に示す。

症度分類	人数
Normal	65
Questionable	20
very mild	10
mild	5
moderate	0
Severe	0
合計	100

【問題 68】 この集団の CFI はどれか。

- a 0.2
- b 0.3
- c 0.55
- d 0.87

【問題 69】 この集団における正しい判断はどれか。

- a フッ化物局所応用を中止する。
- b フッ化物を過剰に摂取している。
- c 歯のフッ素症の出現は境界域である。
- d 歯のフッ素症について公衆衛生上の問題はない。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

【問題 68】

- b Dean の分類によって、地域における**歯のフッ素症**の流行性を示す指標として CFI が用いられる。Normal を 0 点、Questionable を 0.5 点、very mild を 1 点、mild を 2 点、moderate を 3 点、Severe を 4 点として対象者に点数を与える。評価点数に観察された人数を乗じた総和を全被検者数で除して得た値を CFI 値として地域診断に用いる。0.4 以下では歯のフッ素症の流行性はなしと判断し、公衆衛生上問題としない。0.4～0.6 は境界域とし、0.6 以上では歯のフッ素症の流行地と判断する。設問では CFI = 0.3 となるため、歯のフッ素症の非流行地といえる。

【問題 69】

- d 問 68 参照

正解 【問題 68】 b

【問題 69】 d

【問題 70】 咬合性外傷の診断に有効なのはどれか。

- a 深い歯周ポケットがある。
- b プロービング時の出血がある。
- c アタッチメントロスが進行している。
- d 触診法による咬合診査でフレミタスを認める。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 歯周ポケットの有無は咬合性外傷の診断にはならない。
- × b プロービング時の出血は歯周炎の程度と関係があるが、咬合性外傷の診断にはならない。
- × c アタッチメントロスは歯周炎と歯肉炎の鑑別点である。
- d 咬合性外傷の原因としては早期接触、ブラキシズム、側方圧、過大な矯正力、舌や口唇の悪習癖などによる外傷性咬合があげられ、所見として歯の動揺が認められる。歯の動揺の検査はピンセットで診査するほか、手指による検査も行う。咬合時や下顎の偏心運動時のわずかな歯の動揺（フレミタス）を、口腔内で当該歯の両隣在歯を含めた頬・唇側面同時に手指を当てて、微妙な動きとして触知する。

正解 d

DH20:P314

【問題 71】 49歳の男性。歯周病の治療を希望して来院した。初診時における下顎左側第一小白歯のポケット深さは4 mm、アタッチメントロスは5 mmであった。歯周基本治療後の再評価では、ポケット深さは2 mm、アタッチメントロスは4 mmであった。

治療によって獲得された付着レベルはどれか。

- a 1 mm
- b 2 mm
- c 3 mm
- d 4 mm

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a セメントエナメル境(CEJ)からポケット底部までの深さをアタッチメントレベル(付着レベル)という。アタッチメントロスはアタッチメントレベルが増加した場合で、付着の喪失のことである。一方、アタッチメントゲインとはアタッチメントレベルが減少した場合で、付着の獲得である。歯周基本治療前のアタッチメントロスが5 mm、治療後のアタッチメントロスが4 mmであったことから、1 mmの付着が獲得できたことになる。

正解 a

DH20:P478

【問題 72】 歯周治療に用いる器具の写真(別冊午前 No.20)を別に示す。

この器具の特徴はどれか。2つ選べ。

- a アを歯軸と平行にする。
- b イの先端を鋭利に研磨する。
- c 臼歯部隣接面に適している。
- d ルートプレーニングに適している。

▶ 歯科予防処置
No.20



選択肢考察

- a 写真はグレイシー型キュレットタイプのスケーラーである。グレイシータイプは7対の左右対称のキュレットスケーラーが1組となっており、部位特異的である。キュレットごとに頸部の角度を変え、特定の歯面に適合するように設計されている。ア(第1シャンク)を歯軸に平行にしてスケーリングする。
- × b イの先端は丸くなるようにし、尖らせてはいけない。
- × c 臼歯部近心(#11,12)、遠心(#13,14)は第3シャンクまでであるが、この写真のグレイシーは第2シャンクまでであるため臼歯部隣接面用ではない。
- d シックルタイプより刃部が薄く、ポケット底部への到達性がよいのと歯面を傷つけることが少ないので、スケーリングとルートプレーニングの両方に使用される。

正解 a、d

DH20:P513

【問題 73】 う蝕活動性試験中の写真(別冊午前 No.21 A)とその結果の写真(別冊午前 No.21 B)を別に示す。

この検査の評価法と結果の評価で正しいのはどれか。

- a 検体は歯垢である。
- b 細菌の種類が同定できる。
- c 判定までに15秒を要する。
- d 結果はハイリスクと判定される。

▶ 歯科予防処置

No.21 A

B



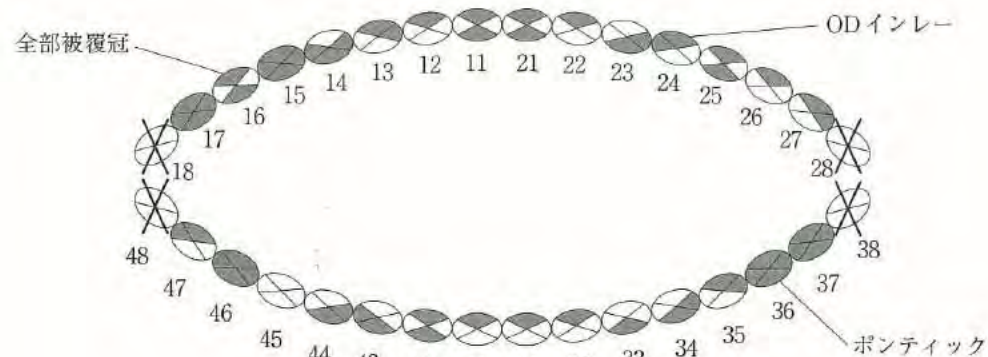
選択肢考察

- × a RDテスト®の検体は唾液である。
- × b 酸産生量により細菌数を推測する方法であるが、細菌の種類はわからない。
- × c 唾液を浸透後、腕に15分間貼付したのち判定する。
- d 写真はRDテスト®を示している。もともとのディスクは青色であるが、酸産生量が多くpHが低下した場合に赤く変わる。写真では赤く変色しており、ハイリスクと判定される。

正解 d

DH20:P547

【問題 74】 14歳の男児。定期健診のため来院した。歯垢染色液による診査結果を示す。欠損部を×で示し、染色部位を灰色で示す。



この患者の O'Leary の PCR のスコアはどれか。

- a 39.1%
- b 46.9%
- c 50.0%
- d 53.7%

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- c PCRでは、ブリッジのボンティックは対象外とするが、全部被覆冠やインレー修復されている歯は検査対象となる。

検査対象歯：27 歯

検査対象歯面：27 × 4 = 108

染色部位：54 歯面

従って、PCR = $\frac{54}{108} \times 100 = 50\%$

正解 c

【問題 75】 水歯磨きに含まれているのはどれか。2つ選べ。

- a 研磨剤
- b 湿潤剤
- c 結合剤
- d 殺菌剤

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

× a、× c 研磨剤や結合剤は洗口液には含まれていない。

○ b、○ d 洗口液はマウスウォッシュ、水歯磨きとも呼ばれ、歯磨剤との大きな違いは、口に含んでうがいをするだけで、使用後は水で洗口しないことである。基本的には歯磨剤の組成と変わらないが、**研磨剤**と**結合剤**を含んでおらず、発泡剤も含まないものが多い。水歯磨きには、基本成分として湿潤剤や香味剤、着色剤が含まれており、薬効成分として殺菌剤や出血抑制剤などが含まれている。

正解 b、d

【問題 76】 歯ブラシの毛先を使うブラッシング法はどれか。2つ選べ。

- a バス法
- b フォーンズ法
- c チャーターズ法
- d スティルマン改良法

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

○ a、b ● ブラッシング法と特徴

ブラッシング法	使用部位	方法	特徴
スクラッピング法	毛先	毛先を歯面に垂直に当て、微振動させる。	歯面清掃効果が最も高い。
バス法		毛先を歯面に45度の角度で歯肉溝に入るように当て、微振動させる。	歯肉溝、歯頭部の清掃に適している。操作が難しい。
フォーンズ法		毛先を歯面に垂直に当て、円を描くように動かす。	小児のブラッシングに適している。
スティルマン改良法	脇腹	毛先を歯根方向45度に向け脇腹を歯肉に当て圧迫振動し、その後、歯ブラシを回転させて歯面を清掃する。	歯周病患者的の歯肉マッサージに適している。
チャーターズ法		毛先を歯冠方向45度に向けて歯間部に入れ、脇腹を歯肉に当て圧迫振動する。	
ローリング法		毛先を根尖方向に向け、脇腹を歯肉に当てた後、歯ブラシを回転させながら咬合面方向に移動させる。	歯頭部の歯垢を取りづらい。

正解 a、b

DH 20:P 131

〔問題 77〕 フッ化物歯面塗布溶液のフッ化物濃度はどれか。

- a 250 ppm
- b 900 ppm
- c 1,450 ppm
- d 9,000 ppm

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 250 ppm は毎日洗口法に用いられる。
- × b 900 ppm は週1回洗口法に用いられる。
- × c 1,450 ppm は歯磨剤に用いられる。
- d 9,000 ppm はフッ化物歯面塗布に用いられる。フッ化物はう蝕予防の目的で、上水道フッ化物調整(0.8 ppm)、フッ化物洗口(250～900 ppm)、フッ化物配合歯磨剤(1,500 ppm 以下)、フッ化物歯面塗布(9,000 ppm)、フッ化物バーニッシュ(22,500 ppm)などの方法で応用される。

正解 d

DH 20:P555

〔問題 78〕 栄養ケア・マネジメントの過程とその内容の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a アセスメント —— 栄養状態の判定
- b モニタリング —— 事業改善の提言
- c スクリーニング —— リスクによるふり分け
- d フィードバック —— 中間の評価

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 栄養スクリーニングとは、栄養アセスメントの前段階として行われ、栄養リスクのレベルを判定し、リスク者を選定するために行うものである。アセスメントでは栄養状態の判定を行う。
- × b モニタリングで中間の評価を行う。
- c スクリーニングではリスクによるふり分けを行う。
- × d フィードバックにて事業改善の提言を行う。

正解 a, c

〔問題 79〕 軽度の老人性難聴の特徴はどれか。2つ選べ。

- a ゆっくり話すと聞き取りにくい。
- b 母音よりも子音が聞き分けにくい。
- c 低音よりも高音が聞き取りにくい。
- d イントネーションが理解しにくい。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a ゆっくり話すと聞き取りやすい。
- b 母音に比べ子音は聞き分けにくい。
- c 低音よりも高音が聞き取りにくい。
- × d 言葉の抑揚やイントネーションは理解できる。

正解 b, c

〔問題 80〕 地域における生活習慣病に対するハイリスクアプローチはどれか。

- a 市民公開講座の開催
- b 広報紙による情報提供
- c 特定保健指導における積極的支援
- d 公共施設におけるポスターの掲示

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 市民公開講座の開催は、市民全員を対象としており、ポピュレーションアプローチに該当する。
- × b 広報紙による情報提供は、広報紙を配布する住民全員を対象としており、ポピュレーションアプローチに該当する。
- c 疾病予防のための公衆栄養活動の実践方法には、疾病の危険因子をもつ集団のうち、より高い危険度を有する者に対して働きかけを行うハイリスクアプローチと、集団全体に働きかけを行うポピュレーションアプローチがある。公衆栄養活動は、両者を適切に組み合わせて対策を進めることが重要である。特定保健指導における積極的支援は、生活習慣病のハイリスク層のみ対象としており、ハイリスクアプローチに該当する。
- × d 公共施設におけるポスターの掲示は、公共施設を利用する住民全員を対象としており、ポピュレーションアプローチに該当する。

正解 c

DH 20:P659

〔問題 81〕 62歳の男性。片側遊離端義歯を使用中の患者で、最後方支台歯遠心の歯根面が露出し、プラークが多量に蓄積している。

口腔管理として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 義歯の使用を中止させる。
- b フッ化物歯面塗布を行う。
- c タフトブラシの使用を勧める。
- d 毛束の硬い歯ブラシの使用を勧める。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a プラークが多量に溜まることを防止するために義歯の使用を禁止することはない。
- b 歯質強化を目的としてフッ化物を応用するのは適切である。
- c タフトブラシは最後臼歯遠心部や萌出途中永久歯等の清掃に効果的な補助清掃用具で、狭い場所に毛先を当てることが可能である。歯ブラシと併用することにより口腔内の効果的な清掃を行うことができる。タフトブラシを用いて根面を清掃するのは適切な対応である。
- × d 露出した歯根面に毛束の硬い歯ブラシを用いると根面が摩耗し、楔状欠損が生じるため行わない。

正解 b, c

【問題 82】 83歳の女性。1年前に脳梗塞を発症し、現在は右半身の麻痺が残っているが、認知機能に異常はない。利き手に麻痺があるため、うまく歯ブラシを使うことができず、家族から音波式電動歯ブラシの使用法について質問を受けた。

適切な指導内容はどれか。

- a 歯磨き粉は必ず使用してください。
- b 歯面に強く押し当てると効率がよいです。
- c ご家族の方も使用法を理解してください。
- d 毛先を軽く歯面に当てて前後に往復させてください。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 歯磨剤は使用した方がいいが、必ず使用しなければならないわけではない。
- × b 歯面に軽く当てるようにする。
- c 電動歯ブラシは手用歯ブラシに比べ重く、介助が必要な場合もある。使用方法についての理解が必要であり、不適切な使用法は歯肉の損傷などを引き起こすことがある。
- × d 毛先を軽く歯面に当てたまま 10 秒くらいその位置でブラッシングし、少しずつ前に移動させていく。

正解 c

【問題 83】 壊死性潰瘍性歯周炎の発症に関与する疾患はどれか。

- a AIDS
- b 天疱瘡
- c 2型糖尿病
- d ペーチェット病

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 壊死性歯周疾患は、**辺縁歯肉**や**歯周乳頭**に壊死・潰瘍が生じ著しい疼痛が生じる疾患で、歯肉症状のみの場合は壊死性潰瘍性歯肉炎 (NUG) という。一方、アタッチメントロスや骨吸収を伴う場合は壊死性潰瘍性歯周炎 (NUP) という。NUP は、免疫が著しく低下した AIDS 患者の特徴的な口腔内所見である。
- × b 天疱瘡は皮膚、粘膜に水疱やびらんが生じる自己免疫性水疱症である。歯肉や口腔粘膜にも同様の症状が生じ、慢性剥離性歯肉炎は天疱瘡や扁平苔癬といった皮膚疾患の歯肉での一症状と考えられることもある。
- × c 2型糖尿病は慢性歯周炎のリスクファクターであるが、壊死性潰瘍性歯周炎の発症には関与しない。
- × d ペーチェット病は口腔粘膜の**再発性アフタ**、陰部潰瘍、皮膚症状、眼症状を主症状とする全身性の自己免疫疾患である。

正解 a

DH20:P317

【問題 84】 40歳の男性。インプラント治療を希望して来院した。問診の結果、喫煙者であり禁煙には関心がないという。

禁煙ステージとしてこの期の指導で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 禁煙開始日の設定を促す。
- b ニコチン依存は疾病であることを説明する。
- c 喫煙欲求のコントロールの仕方について助言する。
- d 喫煙がインプラント治療の成功率を低下させることを説明する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 禁煙開始日の設定を促すのは、準備期における指導である。
- b、○ d 本問題は無関心期の患者に対する指導を問うている。この時期の患者には行動変容の必要性を正しく理解してもらい、関心を持ってもらう援助が必要であり、そのためには情報提供を根気強く繰り返すしかない。治療の成功率の低下、脳梗塞・心疾患・癌などに罹患する確率 (ネガティブ情報) と生活習慣を変えることで健やかな生活を実現している人の成功例 (ポジティブ情報) を同時に提供していく。
- × c 喫煙欲求のコントロールの仕方について助言するのは、実行期・維持期における指導である。

正解 b、d

要点

厚生労働省によると、行動変容ステージとは行動変容の準備段階のことをいう。行動変容ステージは時間の経過に応じて、無関心期：6ヶ月以内に行動変容に向けた行動を起こす意思がない時期、関心期：6ヶ月以内に行動変容に向けた行動を起こす意思がある時期、準備期：1ヶ月以内に行動変容に向けた行動を起こす意思がある時期、実行期：明確な行動変容が観察されるが、その持続がまだ6ヶ月未満である時期、維持期：明確な行動変容が観察され、その期間が6ヶ月以上続いている時期に分けられる。

しかし、禁煙、禁酒、食習慣の改善、運動など、生活行動の変容が必要な場合、行動変容に向けた行動を6ヵ月後に起こす意思がある人と、7ヵ月後に起こす意思がある人とで、実際には大きな差はない。また、関心はあるものの、6ヶ月以内に行動を起こす意思のない人も実際にはいる。したがって、本人の心の状態に応じて、次のようにステージ分けする方が、必要な支援を考えやすくなり、支援の効果も高まる。

無関心期：行動変容に関心がない時期

関心期：行動変容に関心はあるが、まだ実行する意思がない時期

準備期：行動変容に向けた行動を実行したいと思っている時期

実行期：明確な行動変容が観察されるが、その持続に自信がない時期

維持期：明確な行動変容が観察されて、その持続に自信がある時期

【問題 85】 妊婦への歯科治療で合併症のリスクが低い時期はどれか。

- a 妊娠 5～10 週
- b 妊娠 11～15 週
- c 妊娠 16～27 週
- d 妊娠 28～34 週

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、× b 妊娠 4～15 週は器官形成期で、**催奇形性**をはじめとする合併症のリスクが高い時期である。
- c 妊娠 16～27 週は安定期に入っているため、合併症のリスクが低い時期である。
- × d 妊娠 28 週以降は、仰臥位低血圧症候群や早産のリスクが高まる。

正解 c

【問題 86】 79 歳の女性。2 年前にくも膜下出血を発症し、現在は半身麻痺が残っている。患者は摂食嚥下障害があり、主治医より口腔衛生管理を依頼された。

口腔衛生管理で適切なものはどれか。2 つ選べ。

- a 頸部前屈位で行う。
- b 含嗽は一気に素早く行う。
- c 含糖食品の摂取を制限する。
- d 吸引付き歯ブラシを使用する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 頭部を後屈すると、気道が開き、誤嚥しやすくなるため、**頸部前屈位**で行う。
- × b 含嗽は一気に素早く行うと、誤嚥しやすくなる。
- × c 含糖食品をターゲットとした摂取制限をする必要はない。
- d 吸引付き歯ブラシを使用することで、口腔清掃中の誤嚥を防ぐことができる。

正解 a、d

要点

嚥下障害患者は、誤嚥性肺炎に罹患しやすいだけでなく、低栄養状態になりやすい。口腔ケアは、口腔の機能を維持する上で単に口腔内を清潔にするだけでなく、清掃時の刺激による間接訓練としての役割も重要となる。また、口腔清掃時は口腔細菌等の誤嚥を防ぐような配慮が必要となる。

【問題 87】 平成 28 年歯科疾患実態調査において、「80 歳になっても自分の歯が 20 本以上ある 8020 を達成した人の割合」はどれか。

- a 25.7 %
- b 40.2 %
- c 44.2 %
- d 51.2 %

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 25.7 % は **85 歳以上で 20 本以上の歯を有する者の割合**である。
- × b 40.2 % は **平成 23 年度の調査における 8020 を達成した人の割合**である。
- × c 44.2 % は **80～84 歳で 20 本以上の歯を有する者の割合**である。
- d 平成 28 年歯科疾患実態調査において、「80 歳になっても自分の歯が 20 本以上ある 8020 を達成した人の割合」は 51.2 % であった。

正解 d

【問題 88】 離乳の進め方で適切なものはどれか。2 つ選べ。

- a 哺乳反射の減弱は離乳完了の目安となる。
- b 離乳の開始は生後 2～3 か月頃が適当である。
- c 離乳食を 1 日 3 回にするのは生後 9 か月頃である。
- d 舌でつぶせる固さのものを与えるのは生後 7～8 か月頃からである。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 哺乳反射の減弱は、**離乳開始**の目安となる。
- × b 離乳の開始は、生後 **5、6** か月が適当である。
- c 離乳食を 1 日 3 回にするのは、離乳開始後 **3、4** か月 (**生後 9 か月頃**) である。
- d 口の前の方を使って食べものを取り込み、舌と上あごでつぶしていく動きを覚えるのが生後 **7～8** か月頃で、1 日 **2** 回とする。

正解 c、d

DH 20:P644

【問題 89】 アブフラクションがみられる部位はどれか。

- a 切 縁
- b 歯頸部
- c 小窩裂溝
- d 辺縁隆線

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- b アブフラクションとは象牙質とエナメル質の弾性の違いにより、咬合時の応力が歯ブラシによる摩擦で菲薄となった歯頸部エナメル質に作用することによって起きた小破折である。アブフラクションは、くさび状欠損の主な原因と考えられており、アブフラクションに歯頸部象牙質の歯ブラシによる摩擦が加わることで、くさび状欠損が広がる可能性がある。

正解 b

【問題 90】 87歳の男性。同居の妻から食物形態について相談があった。男性は全部床義歯を上下顎装着しており、反復唾液嚥下テストは2回であった。食欲はあるが、最近では食事が摂りにくく、食事に時間がかかりむせることもあるという。

適切な助言はどれか。2つ選べ。

- a バナナはつぶすと食べやすくなります。
- b きゅうりは刻むと飲み込みやすくなります。
- c ジュースはとろみをつけるとむせることが少なくなります。
- d にんじんはあまり煮過ぎないほうが食感を感じることができます。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 加齢に伴い、歯牙の欠損、唾液分泌量の減少、上顎・下顎運動の低下、舌の運動機能の低下などにより咽頭への食塊の送り込みが遅れるとともに、咽頭部の嚥下反射機能の低下などにより、高齢期では摂食・嚥下機能の低下が起こりやすい。適当な粘性があって、口の中でバラバラにならず、口腔や咽頭に付着しにくい食品あるいは食事形態が好ましい。つぶしたバナナや軟らかく煮たにんじんなど、箸やスプーンで切れるやわらかさのものは、嚥下障害のある者に適した調理法である。
- × b きゅうりを細かく刻んだものは、口の中で食塊形成しづらく、誤嚥を起こすことがある。
- c ジュースにとろみをつけることは、咽頭へ入る速度を緩やかにするため、適した調理法である。
- × d 煮過ぎない方が食感は保たれるが、食塊形成しづらいため適した食物形態ではない。

正解 a, c

【問題 91】 リハビリテーションに重点が置かれているのはどれか。

- a グループホーム
- b 軽費老人ホーム
- c 介護老人福祉施設
- d 介護老人保健施設

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a グループホームは、認知症の症状があり病気や障害で生活に困難を抱えた高齢者が、専門スタッフの援助を受けながら1ユニット(5～9人)で共同生活する施設である。
- × b 軽費老人ホームは、身寄りがなく、または、家庭環境や経済状況などの理由により、家族との同居が困難な高齢者を「自治体の助成を受ける形」で、比較的低額な料金で入居できる施設である。
- × c 介護老人福祉施設は、常時介護が必要で家庭での生活が困難な場合に入所し、日常生活上の世話や健康管理を行う施設である。
- d 介護老人保健施設は、通所や病状安定期にある者が入所しリハビリテーションを中心とするケアと生活介助を行う施設である。介護保険では通いで行う通所リハビリと、自宅で行う訪問リハビリがある。その他、短期間施設に施設入所してリハビリを行う方法もある。医療保険とは違い、病気や期間などに条件はなく、リハビリの必要性があれば受けることができる。

正解 d

DH 20:P 203

【問題 92】 37歳の女性。突然左頸部から肩にかけて痛みが出現し、その数日後から喉頭の違和感と食べ物の飲み込みにくさが出現し声が哽れるようになったという。発声は開鼻声、哽声を認めた。軟口蓋挙上不良と咽頭感覚低下を認める。

麻痺が疑われるのはどれか。2つ選べ。

- a 三叉神経
- b 顔面神経
- c 舌咽神経
- d 迷走神経

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 三叉神経は、顎顔面部の感覚や咀嚼筋運動などに関与する。発声には直接関与しない。
- × b 顔面神経は、表情筋の運動や味覚に関与する。咽頭部や喉頭部の感覚には関与しない。
- c 舌咽神経は、軟口蓋の運動を支配し、舌咽神経麻痺があれば鼻咽腔閉鎖不全になり、開鼻声となる。
- d 迷走神経は、軟口蓋や咽頭、喉頭の運動を支配するため、迷走神経麻痺では嚥下障害や哽声がみられる。

正解 c, d

【問題 93】 摂食・嚥下障害のある要介護者への食事介助で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 食事はなるべくファウラー位でとらせる。
- b 食塊としてまとまりやすい食材を選択する。
- c 片麻痺の場合は麻痺側からスプーンを近づける。
- d 不随意運動がある場合は頭部の位置を固定する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 仰臥位では誤嚥の危険性が高く、座位やファウラー位(上半身を約45度起こした体位)でとらせる。
- b 食塊としてまとまりやすい食材を選択することで、誤嚥や窒息、低栄養を防止する。
- × c 麻痺側からの摂食では食物の取りこぼしが多いため、健側から近づける。
- × d 不随意運動がある場合は誤嚥の危険性が高く、経鼻経管栄養や胃瘻から栄養摂取させる。このほか、無理に頭部の位置を固定すると他の部位に不随意運動が生じるため、固定は行わない。

正解 a, b

〔問題 94〕 79歳の男性。食事摂取の困難を主訴として来院した。水でむせやすくなり、食事時間が長くなってきたという。嚥下反射の惹起は良好である。米飯摂取後の嚥下内視鏡検査の写真(別冊午前 No.22)を別に示す。

この状態を改善させるのに適した指導はどれか。

- a 頸部を回旋させる。
- b 頸部を伸展させる。
- c 息こらえ嚥下をさせる。
- d 意識しながら嚥下させる。

▶ 歯科保健指導

No.22



選択肢考察

- a 嚥下内視鏡検査の画像より、片側の梨状窩に米飯の残留が認められる。梨状窩に食物が残留しやすいということは誤嚥のリスクが高いということであり、患者の水でむせやすくなるという主訴の根本的な原因となっている。この状態を改善させるには嚥下時に頸部を回旋する(顔を横に向ける)ことで、回旋側の梨状窩を狭くし、非回旋側の梨状窩に食塊を誘導させることが有効である。また、非回旋側の食道入口部を開きやすくする効果も期待できる。
- × b 頸部伸展を行っても梨状窩の食物の残留の改善は期待できない。むしろ誤嚥が起きる可能性がある。
- × c 息こらえ嚥下は嚥下中の誤嚥を防ぐと同時に、声門上に侵入した飲食物を喀出する方法である。画像ではまだ飲食物は声門上に侵入していない。
- × d 嚥下の意識化(努力嚥下)は舌根部の後方運動を改善し、喉頭蓋谷に残留した食塊を取り除くのに有効である。画像では喉頭蓋谷には飲食物は残留していない。

正解 a

〔問題 95〕 口腔清掃に用いる器具の写真(別冊午前 No.23)を別に示す。

適切な使用法はどれか。2つ選べ。

- a 乾いた状態で用いる。
- b 研磨材をスポンジに馴染ませる。
- c 臼歯部から前歯部方向に移動させる。
- d ブラシに付着した汚れはガーゼで拭き取る。

▶ 歯科保健指導

No.23



選択肢考察

- × a 写真はスポンジブラシである。一度湿らせて余剰の水分をガーゼで拭き取ってから使用する。
- × b 保湿剤をスポンジに取り込ませ馴染ませる。研磨剤は用いない。
- c 臼歯部から前歯部方向に移動させ、汚れを咽頭部に落とさないように操作する。
- d ブラシに付着した汚れはガーゼで拭き取る。

正解 c、d

〔問題 96〕 歯科用器材の写真(別冊午前 No.24)を別に示す。

感染対策分類でセミクリティカルに分類されるのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.24



①



②



③



④

選択肢考察

- a、○ c 歯科用器材の感染対策分類でセミクリティカルとは、粘膜または損傷のある皮膚に接触するが、軟組織を貫通しない、骨に接触しない、血液中に挿入・接触しないものである。デンタルミラー、充填器(①)、印象用トレー(③)、口腔内体温計が該当する。
- × b プローブ(②)や外科用器具、削合用バー、スケーラー、ハンドピースなどはクリティカルに分類される。クリティカルは、軟組織を貫通する、骨に接触する、血管またはその他の無菌組織に入る、もしくは接触するものである。
- × d 歯科用ユニット(④)やキャビネット、エックス線コーンなどはノンクリティカルに分類される。ノンクリティカルは、損傷のない皮膚に接触する、皮膚には接触しない、頻繁に手が触れるものなどである。

正解 a、c

【問題 97】 インシデントレポートで正しいのはどれか。

- a 実害がない場合でも提出する。
- b 上司に説明するためのものである。
- c 都道府県ごとに様式が定められている。
- d 責任の所在を明らかにすることが目的である。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 実害がないことがインシデント（出来事）であり、実害が生じている場合は、**アクシデント**である。
- × b レポートを作成して報告する意義は「報告そのもの」にあるのではなく、その報告によってインシデントの原因を医療機関内で分析し対策することによって、事故そのものを防止するためにある。上司に説明するためのものではない。
- × c 医療機関により書式、様式は異なる。書式や様式は、報告された内容によって現場で起きた出来事を第三者でも把握できるかどうかが重要である。
- × d インシデントレポートを提出する意義は事故防止のためであり、責任の追求や罰則を与えるものではない。

正解 a

DH20:P728

要点

医療の場でのインシデントとは重大事故につながる可能性がある潜在的事例を指す。インシデントレポートを作成して提出することの目的は、今後起こる可能性のあるインシデントやアクシデントを未然に防止することと、事故再発を防止するためにある。レポートを作成して報告する意義は「報告そのもの」にあるのではなく、その報告によってインシデントの原因を分析し対策することによって、事故そのものを防止するためにある。そのため、インシデントレポートの内容は、事実の正確な把握が最も重要な要素になる。まず、発生した事実を把握すると共に、その前後関係、背景、状況、患者への影響など様々な角度から見つめ直すことが必要である。

【問題 98】 消毒・滅菌法を以下に示す。

- ① 高压蒸気滅菌
- ② 煮沸消毒
- ③ 乾熱滅菌

温度の高い順で正しいのはどれか。

- a ① > ② > ③
- b ② > ③ > ①
- c ③ > ① > ②
- d ③ > ② > ①

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- c 煮沸消毒は水の沸点である **100℃**、高压蒸気滅菌（オートクレーブ）は **121℃**、乾熱滅菌は **160℃**～**200℃**である。

正解 c

DH20:P279

【問題 99】 回転切削器具の写真（別冊午前 No.25）を別に示す。

コンポジットレジン充填後の仕上げに用いるのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a ①は**ホワイトポイント**である。コンポジットレジンの仕上げに用いる。
- × b ②は**カーボランダムポイント**である。修復物の形態修正や粗研磨に用いる。
- × c ③は**スチールバー**である。マイクロモーターに装着し、**う蝕象牙質の削除**に用いる。
- × d ④は**ダイヤモンドポイント**である。エアータービンに装着し、**エナメル質を削除してう窩を開拓**する際に用いる。

正解 a

DH20:P756

No.25



【問題 100】 32歳の男性。上顎第一大臼歯の咬合面にう蝕様のくぼみがあることを主訴として来院した。冷水痛や自発痛は訴えていない。コンポジットレジンで再修復することになった。初診時の口腔内写真（別冊午前 No.26）を別に示す。

再修復処置に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a う蝕検知液
- b リング状リテーナー
- c シランカップリング材
- d ポリエステルマトリックス

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a う蝕様のくぼみと歯質着色が観察されるために、う蝕検知液を用いて確認する。咬合面のコンポジットレジン修復物の小窩部分が脱落している。修復物の他の部位には欠陥はみられない。このような症例では、修復物のすべてを除去するよりも、欠陥部位のみを再修復することによって、歯質の切削量を最少化することができる。ただし、新しく填塞されるコンポジットレジンと旧修復物との接着処理が必要である。
- × b 欠損が隣接面に及んでいないため、リング状リテーナーは不要である。
- c すでに填塞されているコンポジットレジンと、新しく填塞されるコンポジットレジンを接着させるためにシランカップリング処理を行う。
- × d 窩洞が咬合面に限局しているため、ポリエステルマトリックスは不要である。

正解 a, c

No.26



〔問題 101〕 仮着に使用するワックスはどれか。

- a シートワックス
- b パラフィンワックス
- c スティッキーワックス
- d ユーティリティーワックス

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

○ c ● ワックスの種類と主な用途

種 類	主な用途
インレーワックス	原型用（鋳造用）
レディキャストイングワックス	原型用（鋳造用）
シートワックス	原型用（鋳造用）
パラフィンワックス	原型用（咬合床）、印象用（咬合採得）
バイトワックス	印象用（咬合採得）
ユーティリティーワックス	印象用（トレ修正）、歯科技工用（補助用途）
ボクシングワックス	歯科技工用（模型材注入補助）
スティッキーワックス	歯科技工用（補綴装置の仮着）

正 解 c

〔問題 102〕 クラウン試適時の診査手順で正しいのはどれか。

- a 辺縁適合 → 隣接接触関係 → 咬合接触関係
- b 辺縁適合 → 咬 合 → 隣接接触関係
- c 隣接接触関係 → 辺縁適合 → 咬合接触関係
- d 隣接接触関係 → 咬 合 → 辺縁適合

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

○ c クラウン試適の手順は、① 隣接接触関係、② 辺縁適合状態、③ 頬・舌側面の豊隆、④ 咬合接触関係である。

正 解 c

〔問題 103〕 54歳の男性。上顎前歯部の慢性歯周炎が進行し、保存不可能と判断された。① 抜歯の準備をすることになった。抜歯鉗子の写真（別冊午前 No.27）を別に示す。

適切なのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

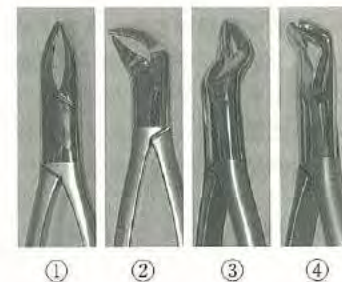
▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a ① は上顎前歯部用である。
- × b ② は下顎前歯部用である。
- × c ③ は上顎臼歯部用である。
- × d ④ は下顎臼歯部用である。

正 解 a DH 20: P780

No.27



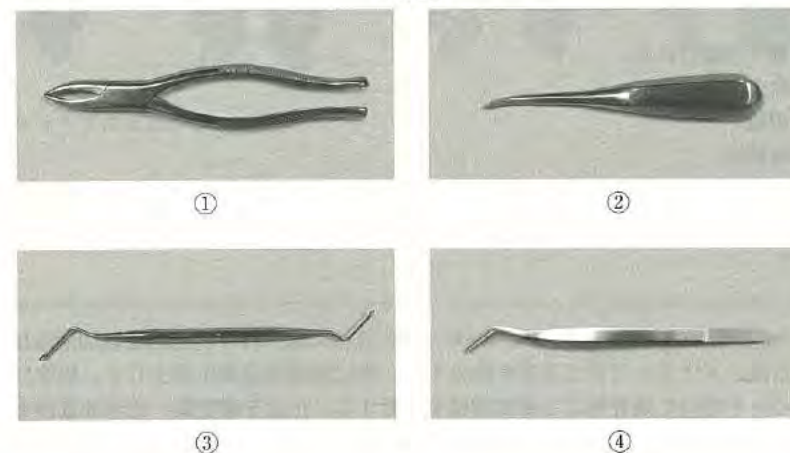
〔問題 104〕 器具の写真（別冊午前 No.28）を別に示す。

術者がパームグリップで受け取るのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.28



選択肢考察

- a、○ b パームグリップは、術者の手のひらに器具の把持部が当たるように渡す方法である。抜歯鉗子（①）や挺子（②）はパームグリップにより受け取る。
- × c、× d 歯科用鋭匙（③）やピンセット（④）はペングリップで受け取る。

正 解 a、b

【問題 105】 アーチワイヤーをブラケットに装着する際に使用するのはどれか。

- a コイルスプリング
- b リガチャーワイヤー
- c レクタングラーワイヤー
- d セパレーティングワイヤー

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a コイルスプリングは細い矯正線をコイル状に巻いたもので、伸縮時の力を矯正力として用いる。
- b 矯正治療では矯正装置の作製や調整をするために、多くの種類のプライヤー類やその他の器具・器材が使用される。リガチャー (ligature) とは「結紮する」という意味である。リガチャーワイヤーは、アーチワイヤーを歯面に固定したブラケットやチューブに装着するためのワイヤーである。
- × c レクタングラーワイヤーは主線 (角線) で、エッジワイズ装置 (マルチブラケット装置) に用いて、ブラケットやチューブを介して歯に矯正力を加えるためのワイヤーである。
- × d セパレーティングワイヤーは、バンド装着前に隣接歯間を離開させるために用いるものである。

正解 b

【問題 106】 生活歯髄切断法の治療で行われる処置と手順を図に示す。

- ・天蓋除去
- ・歯髄切断
- ・化学的洗浄
- ・歯冠歯髄除去

う蝕象牙質除去 → ① → ② → ③ → ④ → 糊剤貼薬 → 仮封

処置の順番で③はどれか。

- a 天蓋除去
- b 歯髄切断
- c 化学的洗浄
- d 歯冠歯髄除去

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- b 天蓋除去 → 歯冠歯髄除去 → 歯髄切断 → 化学的洗浄の順に行う。生活歯髄切断法は、う蝕象牙質を除去した後、エアタービンで天蓋を除去する。次に歯冠部歯髄を除去して、根管口よりも大きいラウンドバーを用いて根管壁ごと歯根歯髄を切断する。止血を確認後、化学的洗浄を行ったあとと水酸化カルシウム糊剤を切断面に貼薬して、仮封を行う。

正解 b

DH20:P434

【問題 107】 過換気症候群の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 若い男性に多い。
- b 脳血流が増加する。
- c 分時換気量が増加する。
- d 呼吸性アシドーシスをきたす。

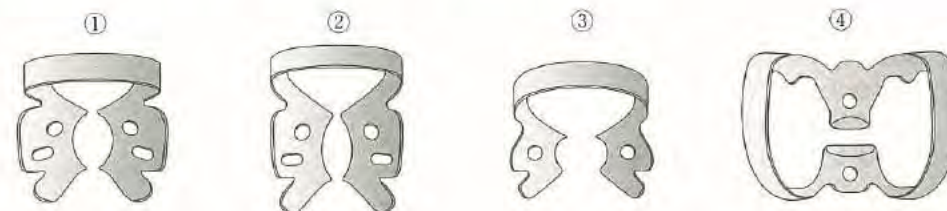
▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 比較的若い女性に多い。
- × b 動脈血中の二酸化炭素分圧の低下に伴い、脳血管が収縮し、脳血流が低下する。
- c 呼吸数および1回換気量の増大により分時換気量が増加する。過換気症候群は呼吸性アルカローシスであり、不安、興奮、呼吸苦、頻呼吸、特有の手指の硬直 (助産婦様手指、テタニー) を認め、動脈血二酸化炭素分圧 (PaCO₂) が低下する。対処法としては、患者に心配がないことを十分知らせた上で、呼吸をゆっくり行うよう指示する。紙袋により呼吸を再呼吸させる方法は、低酸素血症や高二酸化炭素血症を起こすため、現在では推奨されていない。歯科治療時における過換気症候群の予防として、十分なラポールの構築、静脈内鎮静法の併用などが有効である。
- d 過換気により二酸化炭素が過剰に排泄され、呼吸性アルカローシスとなる。

正解 c、d

【問題 108】 下顎右側第二小白歯のラバーダム防湿を指示された。



適切なクランプはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a、× b ①、②は大白歯用である。
- c ③は小白歯用である。
- × d ④は前歯用である。

正解 c

- [問題 109] 口内法エックス線写真(別冊午前 No.29)を別に示す。
この撮影法における咬合平面に対する垂直的入射角度はどれか。
- a 0°
 - b 5~10°
 - c 16~20°
 - d 24~30°

▶ 歯科診療補助

No.29



選択肢考察

- × a 0°では咬合平面と一致するため、歯に对しやや斜入し歪みが生じる。
- b 咬翼法はフィルムにつけた翼を咬んでもらい撮影する方法で、上下顎の歯冠部を中心に描出される撮影法である。そのため撮影範囲に根尖部は含まれず、目的は隣接面う蝕の精査である。歯は咬合平面に对しやや傾斜しているため、咬合平面に对する垂直的入射角度は咬合平面に对し上方から下向きに5~10°とされている。
- × c、× d 16~20°、24~30°では角度が強すぎるため歪みが生じる。

正解 b

DH 20:P 831

- [問題 110] デンタルチェア上で患者の意識が消失した。
胸骨圧迫で正しいのはどれか。
- a 30回/分で圧迫する。
 - b ファウラー位で行う。
 - c 剣状突起を圧迫する。
 - d バックレストの下に椅子を置く。

▶ 歯科診療補助

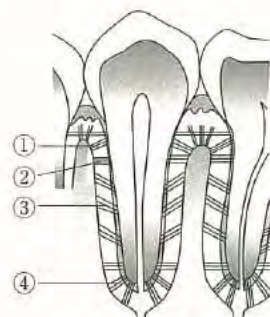
選択肢考察

- × a 1分間に100~120回のペースで30回連続して絶え間なく圧迫する。
- × b デンタルチェアは水平位にする。ファウラー位は患者の上体を水平面より50~80cm挙上し、膝を軽度屈曲させた体位である。これでは胸骨圧迫は不可能である。
- × c 剣状突起を圧迫してはならない。胸骨の下半分を圧迫する。
- d 心肺蘇生法(CPR)は、意識障害、呼吸停止、心停止が起こり、生命が危険な状況に陥ったときに胸骨圧迫と人工呼吸を行い、体内組織・臓器への酸素供給を維持・回復させるための処置や方法である。歯科医院内での胸骨圧迫については、デンタルチェアの背板(バックレスト)の下には支えがなく、チェアから床に患者を移動させようとする、最低でも3人必要である。そこで、デンタルチェアを水平にし、バックレストの下に椅子を置くことで安定させることができる。

正解 d

DH 20:P 790

〔問題 1〕 歯根膜線維の走行の模式図を示す。



主として歯に加わる横からの力に抵抗するのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶解剖学

選択肢考察

- × a ①は歯槽縁線維群で、セメントエナメル境に達する線維束である。歯を歯槽から引き抜こうとする力に抵抗する。
- b ②は水平線維群で、歯槽縁近くからセメント質に向かって水平に走る線維群である。主に横からの力に抵抗する。
- × c ③は斜走線維群で、歯槽の側壁の歯槽骨から斜め下内方に走り、根尖近くのセメント質に達する線維群である。最も多く重要な線維群で、歯軸方向の咬合力に抵抗する。
- × d ④は根尖線維群で、根尖周囲の歯槽骨から根尖部セメント質に向かい、放射状に集まる線維群である。歯を歯槽から引き抜こうとする力に抵抗する。

正解 b

要点集 291:P14

〔問題 2〕 口腔内写真(別冊午後 No. 1)を別に示す。

矢印が示すのはどれか。

- a 介在結節
- b 白歯結節
- c 白傍結節
- d カラベリー結節

▶解剖学

選択肢考察

- × a 介在結節は上顎第一小臼歯の近心辺縁隆線に出現する。
- b 写真の矢印は白歯結節を示している。乳歯の歯冠歯頸部には歯帯という帯状の隆起がみられるが、歯帯はとくに上下顎第一乳臼歯の頬側面で発達し、近心基底部で強く豊隆し白歯結節を形成する。写真の矢印は下顎第一乳臼歯の近心頬側隅角を示している。
- × c 白傍結節は上下顎大白歯の頬側面近心半に出現する結節である。
- × d カラベリー結節は上顎第一大臼歯の舌側面近心半に出現する。

正解 b

No. 1



DH20:P3

〔問題 3〕 受精から着床までのおよその期間はどれか。

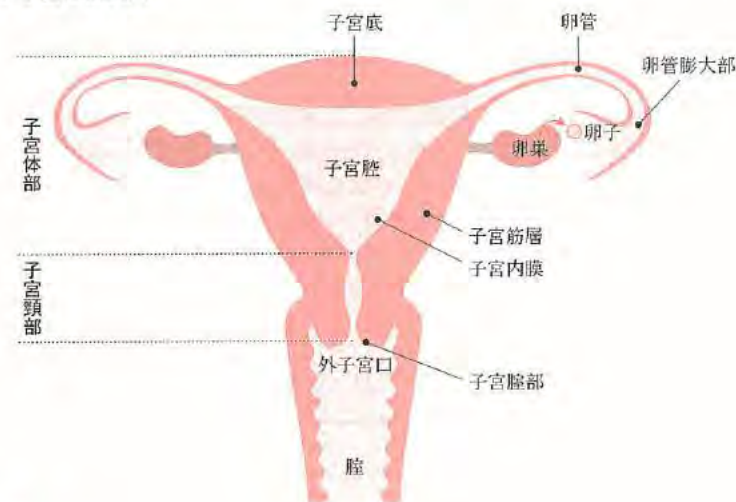
- a 1時間
- b 1日
- c 1週
- d 1か月

▶解剖学

選択肢考察

- c 父親と母親それぞれに由来する生殖細胞(精子と卵子)が融合し接合子(受精卵)が形成されることを受精という。卵巣から排卵された卵子は卵管へと導かれる。排卵後の卵子の寿命は約1日程度である。一方、精子は膣で射精されたのち、外子宮口から子宮頸管へと侵入し、子宮内を通過し卵管へと侵入する。卵管膨大部で受精が成立すると、受精卵は卵管上皮の線毛運動により緩やかに子宮腔に向って運ばれる。この間、受精卵はいわゆる卵割が生じ、細胞数が増加する。受精後、1週間ほど(約6日)経過し、卵割が進み胚盤胞という状態になった受精卵は子宮の前壁または後壁の子宮内膜に着床し、妊娠が成立する。

●子宮の模式図



正解 c

〔問題 4〕 出生時に石灰化が開始されるのはどれか。

- a 中切歯
- b 犬 歯
- c 第一小臼歯
- d 第一大臼歯

▶解剖学

選択肢考察

- × a 中切歯は生後3~4か月頃に石灰化が開始される。
- × b 犬歯は生後4~5か月頃に石灰化が開始される。
- × c 第一小臼歯は出生時に歯胚形成が始まり、1歳6か月~2歳頃に石灰化が開始される。
- d 第一大臼歯は出生時に石灰化が開始される。

正 解 d

要 点

● 歯の発育：永久歯

歯 種	歯胚形成	石灰化開始	歯冠完成	萌 出	歯根完成
6	胎生3½~4月	出生時	2½~3年	6~7年	9~10年
1	胎生5~5½月	3~4月	4~5年	7~8年 6~7年	9~10年
2	胎生5~5½月	10~12月 3~4月	4~5年	8~9年 7~8年	10~11年
3	胎生5½~6月	4~5月	6~7年	11~12年 9~11年	12~15年
4	出生時	1½~2年	5~6年	10~11年 11~12年	12~13年
5	7½~8月	2~2½年	6~7年	10~12年 11~12年	12~14年
7	8½~9月	2½~3年	7~8年	12~13年 11~13年	14~16年
8	3½~4年	7~10年	12~16年	17~21年	18~25年

(Schour, Massler ほか)

〔問題 5〕 エナメル質の形成に関与するのはどれか。

- a ホスホホリン
- b アメロゲン
- c I型コラーゲン
- d オステオカルシン

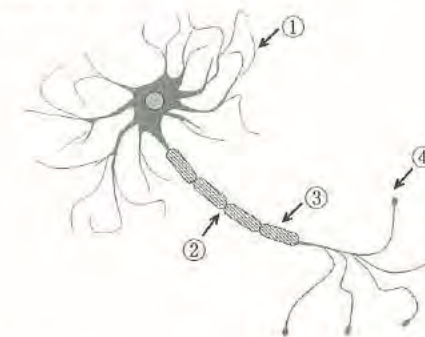
▶生理学

選択肢考察

- × a ホスホホリンは象牙質の形成に関わるタンパク質である。
- b アメロゲンは幼若エナメル質の大部分を占めるエナメルタンパク質である。形成期のエナメル質(幼若エナメル質)はエナメルリンやアメロゲンなどのエナメルタンパク質を含む。石灰化の進行に伴いタンパク質を分解する酵素によって分解されるため、これらのタンパク質の量は減る。
- × c I型コラーゲンは、象牙質、歯髄、歯肉結合組織、歯根膜、セメント質に含まれている。なお、エナメル質にコラーゲンは含まれていない。
- × d オステオカルシンは象牙質や歯槽骨に含まれるタンパク質である。

正 解 b

〔問題 6〕 神経細胞の模式図を示す。



跳躍伝導が起こる部位はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶生理学

選択肢考察

- × a ①は樹状突起である。樹状突起は、神経細胞が外部からの刺激や他の神経細胞の軸索から送り出される情報を受け取るために、細胞体から樹木の枝のように分岐した複数の突起である。
- b ②はランビエの絞輪である。神経細胞の軸索繊維のまわりのミエリン鞘(髄鞘)に規則的に存在する間隙のことをいう。有髄神経では興奮がランビエ絞輪部を跳躍するように伝導していく(跳躍伝導)。
- × c ③は髄鞘である。髄鞘は軸索の周りに存在する絶縁性のリン脂質の層である。
- × d ④は軸索末端である。軸索末端では他の神経細胞とシナプスを形成し、神経伝達が行われる。

正 解 b

📖 要点集 291:P17

〔問題 7〕 抗利尿ホルモンはどれか。

- a インスリン
- b グルカゴン
- c バソプレシン
- d パラソルモン

▶生理学

選択肢考察

- × a インスリンは血糖調整ホルモンで血糖値が低下する。
- × b グルカゴンは血糖調整ホルモンで血糖値が上昇する。
- c バソプレシンは下垂体後葉から分泌される抗利尿ホルモンで、尿量が減少する。
- × d パラソルモンは血中Ca調整ホルモンで血中Ca値が上昇する。

正 解 c

【問題 8】 受精後に生じる染色体の異常はどれか。

- a 奇形
- b 胎芽病
- c 遺伝子病
- d 配偶子病

▶病理学

選択肢考察

- × a 奇形は先天性の形態異常をいう。
- × b 胎芽病は、遺伝子異常を伴わず、胎児期の感染症や催奇形性物質などの外因によって生じる先天異常である。
- × c 遺伝子病は、遺伝病として祖先から受け継がれた遺伝子異常が原因となる先天異常である。
- d 配偶子病は、受精後に生じる染色体の異常である。

正解 d

DH20:P60

【問題 9】 口腔扁平上皮癌の特徴はどれか。

- a 若年者に多い。
- b 浸潤性に増殖する。
- c 血行性転移が多い。
- d 男性より女性に多い。

▶病理学

選択肢考察

- × a 年齢では中高年齢層に多い。
- b 進行とともに、浸潤性に増殖する。
- × c 血行性転移は比較的少なく、リンパ行性から頸部リンパ節が腫れることが多い。
- × d 性別では男性に多い。

正解 b

要点集 291:P47

【問題 10】 退行性病変はどれか。

- a 肥大
- b 萎縮
- c 化生
- d 腫脹

▶病理学

選択肢考察

- × a 肥大とは細胞や組織容積の増大で、進行性病変である。
- b 退行性病変とは、細胞や組織の代謝機能の低下や消失をきたした形態学的変化をいい、変性、萎縮、壊死がある。萎縮は、正常な容積に发育した臓器や組織の容積が、栄養障害などの原因により減少した状態である。
- × c 正常に分化した細胞が他の分化した細胞に変化することを化生といい、進行性病変である。
- × d 腫脹は炎症の五大徴候の1つで、血管透過性亢進により滲出液が血管外に貯留した浮腫によって起こる。

正解 b

要点集 291:P43

【問題 11】 細菌の運動器官はどれか。

- a 鞭毛
- b 荚膜
- c 線毛
- d 細胞壁

▶微生物学

選択肢考察

- a 細菌の器官のうち運動に関与しているのは鞭毛である。鞭毛は細菌の積極的な運動(場所の移動)に関わる構造物で、鞭毛を回転させることで運動性を発揮する。
- × b 細菌の細胞壁の外側に多糖体やタンパクからなる荚膜が存在し、貪食細胞による捕食や殺菌成分から自らを守っている。また荚膜には抗原性があり、病原性に深く関与している。
- × c 線毛は、鞭毛よりも短く、宿主の組織表面に付着するのに関与している。
- × d 細胞壁は細胞膜の外側に存在し、細胞壁の構造によりグラム陽性とグラム陰性に分類される。グラム陰性の細胞壁の表面には内毒素とよばれるLPSが存在する。

正解 a

要点集 291:P33

【問題 12】 侵襲性歯周炎の主な原因菌はどれか。

- a *Actinomyces viscosus*
- b *Aggregatibacter actinomycetemcomitans*
- c *Fusobacterium nucleatum*
- d *Treponema denticola*

▶微生物学

選択肢考察

- × a *Actinomyces viscosus* は通性嫌気性グラム陽性桿菌で、根面う蝕や深部象牙質う蝕中に多く検出される。
- b 侵襲性歯周炎は、全身的に健康であるが若年期から急速なアタッチメントロスと歯槽骨吸収が認められる歯周疾患である。プラークの付着量と歯周組織の破壊に相関が少なく、家族内集積、貪食細胞の異常、*Aggregatibacter actinomycetemcomitans* のポケット内存在比率の増加を特徴とする。*Aggregatibacter actinomycetemcomitans* は通性嫌気性グラム陰性桿菌で、白血球毒性のある外毒素であるロイコトキシンを産生する。
- × c *Fusobacterium nucleatum* は偏性嫌気性グラム陰性桿菌で、壊死性潰瘍性歯周疾患に関与する細菌である。
- × d *Treponema denticola* は偏性嫌気性で、運動性を持つスピロヘータ属に属する。*Porphyromonas gingivalis*、*Tannerella forsythia* と共に Red Complex に分類される3菌種の1つであり、重度歯周炎に関与している。

正解 b

要点集 291:P35

【問題 13】 初回通過効果を受ける投与方法はどれか。

- a 吸入
- b 経口投与
- c 皮下投与
- d 静脈内投与

▶薬理学

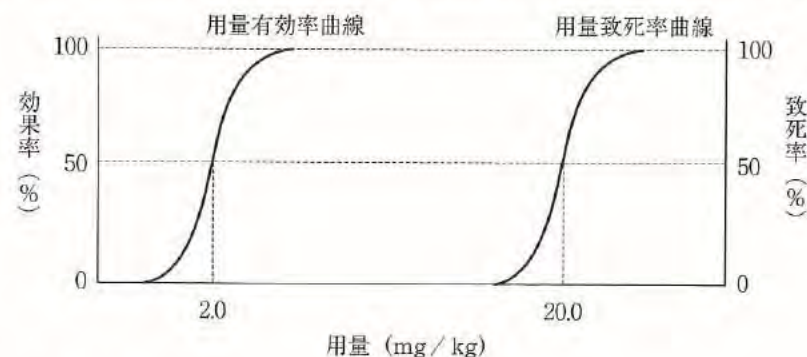
選択肢考察

- b 経口投与（内服）された薬物は、胃や小腸で吸収され、上腸間膜静脈、門脈を経て肝臓へ到達する。肝臓は薬物代謝の主たる臓器で、肝臓で代謝を受けることを初回通過効果という。

正解 b

📖 要点集 291:P62

【問題 14】 薬物 A の用量有効率曲線と用量致死率曲線を図に示す。用量を対数で表示する。



この薬物の治療係数はどれか。

- a 2.0
- b 10.0
- c 18.0
- d 40.0

▶薬理学

選択肢考察

- b 安全域（治療係数）は LD_{50}/ED_{50} で求められ、薬物の相対的な安全性の指標となる。一般に値が大きいほど、安全性が高い。図より、 $ED_{50} = 2.0$ 、 $LD_{50} = 20.0$ であるから、 $LD_{50}/ED_{50} = 10.0$ と求められる。

正解 b

📖 DH20:P60

【問題 15】 患者に治療薬物モニタリング（TDM）を行う目的はどれか。

- a 副作用の回避
- b 無効量の決定
- c 安全域の測定
- d アナフィラキシーショックの予防

▶薬理学

選択肢考察

- a 治療薬物モニタリング（TDM：Therapeutic Drug Monitoring）は、薬物治療の際に血中濃度を測定することにより適切な投与量を決定することである。血中濃度を薬効や副作用と対比させることにより、治療成績の向上をはかることができる。また個々の患者において、薬物の血中濃度を測定してその薬物の投与計画（投与量や投与間隔）を立てることが可能となる。大部分の薬物の薬物効果は、その血中濃度とよい相関を示すが、同量の薬物を服用しても人によって血中濃度の上昇は異なっている。そのため治療域と中毒域の接近している薬物（安全域の狭い薬物）では TDM を行う必要がある。

正解 a

【問題 16】 Leavell & Clark の予防の 3 相 5 段階と処置との組合せで正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 健康増進 ———— 予防接種
- b 特異的防御 ———— 保健指導
- c 早期診断 ———— 定期精密検査
- d 機能障害の防止 ———— 歯周疾患治療

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 予防接種は特異的防御（第一次予防）である。
- × b 保健指導は健康増進（第一次予防）である。
- c 定期精密検査は早期診断（第二次予防）である。
- d 歯周疾患治療は機能障害の防止（第二次予防）である。

正解 c, d

【問題 17】 う蝕の進行抑制に用いられるのはどれか。

- a フッ化第一スズ
- b フッ化ナトリウム
- c フッ化ジアンミン銀
- d モノフルオロリン酸ナトリウム

▶口腔衛生学

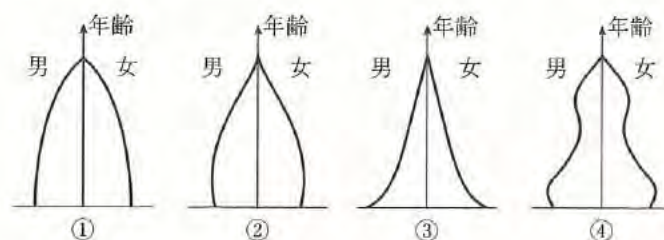
選択肢考察

- × a フッ化第一スズは歯磨剤に配合されるほか、歯面塗布によりう蝕予防に用いる。
- × b フッ化ナトリウムは洗口や歯磨剤への配合、歯面塗布などでう蝕予防を目的として用いられる。
- c フッ化ジアンミン銀は乳歯や根面う蝕の進行抑制に用いられる。フッ化ジアンミン銀は銀の抗菌性とフッ素の耐酸性作用が期待され、乳歯う蝕の進行抑制や知覚過敏症に使用される。フッ化ジアンミン銀は無色であるが、歯面や器具、衣類などに付着すると、時間の経過とともに黒変するので、取扱いには注意を要する。
- × d モノフルオロリン酸ナトリウムは歯磨剤に配合し、う蝕予防に用いる。

正解 c

📖 DH20:P571

【問題 22】 人口ピラミッドの類型を示す。



先進国に多くみられるのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a ①は釣り鐘型である。開発途上国が先進国に変化していく類型である。
- b ②はつば型である。日本などの先進国がこの類型である。
- × c ③はピラミッド型（富士山型）である。戦前の日本や開発途上国にみられる類型である。
- × d ④はひょうたん型である。生産年齢人口が流出している状態で、農村にみられる類型である。

正解 b

DH 20:P 217

【問題 23】 大規模災害の被災地で口腔支援を行う際に留意すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 現地での情報収集を必ず行う。
- b 被災者のプライバシーを守り心のケアを行う。
- c 被災者に迷惑をかけないように単独行動を心がける。
- d 極力荷物を減らすために自分の食物は現地で調達する。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 勝手な行動は全体の混乱に繋がるため、活動の際は現場のコーディネーターの指示を仰ぎ、現地での情報収集を必ず行う。また、速やかに連絡窓口に活動報告を行う。
- b 被災者の精神状態は通常でないことが多く、心のケアが必要となる。また被災者のプライバシーを守り、寄り添う心が必要である。
- × c 被災地は日常とは違った空間であるため、単独行動はせず常にチームで行動する。
- × d 現地の食料や資材を使用するのは被災者の必需品を奪うこととなるので、移動の燃料や飲料水も含めてすべて自分で用意する。

正解 a, b

DH 20:P 239

【問題 24】 介入研究はどれか。

- a 横断研究
- b コホート研究
- c 症例対照研究
- d 無作為化対照試験

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 横断研究は、介入は行わずにある1時点において調べる観察研究である。
- × b コホート研究は、介入は行わず要因の異なる集団の追跡調査を行う。研究のための介入を行っていないので、観察研究に分類される。
- × c 症例対照研究は、疾患のあるものとないものの過去の要因に関する事項を調べるものである。研究のための介入は行わないため、観察研究である。
- d 無作為化対照試験は、無作為に2群に分けた一方のみに研究の目的で介入を行い、もう一方の対象群と比較する研究であり、研究目的での介入を行う介入研究の1つである。疫学研究は、研究のために予防処置などの要因変化を与える介入研究と、研究のための介入を行わない観察研究に分類できる。

正解 d

DH 20:P 235

【問題 25】 麻疹に罹患した児童生徒の授業への出席停止について規定している法律はどれか。

- a 学校教育法
- b 児童福祉法
- c 学校保健安全法
- d 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 学校教育法は、幼稚園から大学までの学校教育に関する、基本的かつ総合的な法律である。
- × b 児童福祉法は、児童の出生・育成が健やかであり、かつその生活が保障愛護されることを理念とし、児童保護のための禁止行為や児童福祉司・児童相談所・児童福祉施設などの諸制度について定めた法律である。
- c 学校は児童生徒等が集団生活を営む場であるため、感染症が発生した場合は、感染が拡大しやすく、教育活動にも大きな影響を及ぼすこととなる。そのため、学校保健安全法では、感染症の予防のため、出席停止等の措置を講じることとされており、学校保健安全法施行令では、校長が出席停止の指示を行うこと、出席停止の期間は省令で定める基準によること等が規定されている。これらを受け、学校保健安全法施行規則では、学校において予防すべき感染症の種類を第一種から第三種に分けて規定した上で、出席停止の期間の基準等を規定している。
- × d 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関し必要な措置を定めることにより、感染症の発生を予防し、及びそのまん延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的とするものである。

正解 c

DH 20:P 193

【問題 26】 医療法で規定されているのはどれか。

- a 療養方法の指導
- b 診断書交付の義務
- c 無診察治療の禁止
- d インフォームド・コンセントの実施

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a、× b、× c 療養方法の指導、診断書交付の義務、無診察治療の禁止、は**歯科医師法**の規定である。
- d 医療法 第1条の4「医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の医療の担い手は、医療を提供するに当たり、適切な説明を行い、医療を受ける者の理解を得るよう努めなければならない。」が**インフォームド・コンセント**の法的根拠とされている。

正解 d

DH20:P214

【問題 27】 40歳、50歳、60歳、70歳の者を対象として市町村が行う保健事業はどれか。

- a 特定健康診査
- b 歯周疾患検診
- c 骨粗鬆症検診
- d 肝炎ウイルス検診

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 特定健康診査は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づいて、**40歳～74歳**の医療保険被保険者・被扶養者を対象とし、**内臓脂肪症候群**に対応するための健診（メタボ健診）で**医療保険者**（全国健康保険協会、健康保険組合、各種共済組合、国民健康保険を運営する市町村等）に実施が義務づけられている。
- b 歯周疾患検診は、健康増進法に基づいて、市町村が実施する**40歳、50歳、60歳、70歳**の者を対象として行う問診及び歯周組織検査である。従来の老人保健法で規定されていた、歯周疾患検診、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診、健康手帳の交付、健康教育、健康相談、機能訓練、訪問指導は、市町村において健康増進法に基づいて実施されている。さらにがん検診についても健康増進法に位置づけられた。
- × c 骨粗鬆症検診は、健康増進法に基づいて、市町村が実施する**40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳**の女性を対象として行う問診及び骨量測定である。
- × d 肝炎ウイルス検診は、満**40歳**となる者及び満**41歳**以上となる者であって、過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがない希望者を対象として、市町村が実施する**C型肝炎ウイルス検査**及び**B型肝炎ウイルス検査**である。

正解 b

DH20:P210

【問題 28】 常時50人以上の労働者がいる事業所で選任の義務があるのはどれか。2つ選べ。

- a 産業医
- b 衛生管理者
- c 産業歯科医師
- d 労働衛生コンサルタント

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 労働安全衛生法により、常時50人以上の労働者を使用する事業者は**産業医**を選任し、労働者の健康管理を行わなければならない。
- b 常時50人以上の労働者を使用する事業者は、衛生に関する技術的事項を管理させるため、事業場の規模に応じて**衛生管理者**を選任しなければならない。
- × c 産業歯科医は、産業医のような法的に規定された業務はないが、歯科領域に関する特殊健康診断などの役割がある。
- × d 労働衛生コンサルタントは、労働者の衛生の水準の向上を図るため、事業場の衛生についての診断及びこれに基づく指導を行うが、選任の義務はない。

正解 a、b

【問題 29】 地方公共団体が受動喫煙防止などについて制定する法の形式はどれか。

- a 憲法
- b 法律
- c 政令
- d 条例

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 憲法は、国家の基本秩序を定める根本規範である。統治機構や国民の権利と義務などを定めている。たとえ国家といえども憲法の規定には反することはできない。
- × b 法律は、立法府（国会）の議決により制定される。
- × c 政令は、命令のうち内閣が制定する法である。閣議で決定される。
- d 地方公共団体は国で定める法とは別に、地方議会の決議を経て独自の法規を条例として制定できる。その効力は法律の優位性を遵守するが、自治立法権を積極的に解釈する立場から、法目的実現のために基準を国の法律より厳しくすることなどがある。例えば、東京都が新たに制定し2020年から全面施行の予定の受動喫煙防止条例では、国が定める健康増進法改正案より厳しい規制が規定されている。我が国の国内法は、国民が制定する法規範の「憲法」、国会が制定する法規範の「法律」、国の行政機関が制定する法規範の「命令」（政令・省令）、地方公共団体が制定する法規範の「条例、規則」がある。国内法には、種類ごとに優劣関係がある。上位の法令が優先され、上位の法令に反する下位の法令は効力を持たない。優劣関係は、概ね「憲法＞法律＞命令＞条例」の順になっている。

正解 d

DH20:P242

〔問題 30〕 施設と根拠法令、設置主体となる自治体の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 保健所 ————— 地域保健法 ————— 都道府県
 b 児童相談所 ————— 母子保健法 ————— 市町村
 c 地域包括支援センター ————— 老人福祉法 ————— 市町村
 d 口腔保健支援センター ————— 歯科口腔保健の推進に関する法律 ————— 都道府県

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 保健所は疾病の予防、健康増進、環境衛生、精神保健などを扱う行政機関として**地域保健法**に基づき、都道府県、政令市、中核市、特別区が**二次医療圏**を考慮して設置する。医療、福祉に係る公的な各種施設と、それぞれの施設の設置根拠法令と設置主体となる自治体の組み合わせである。
- × b 児童相談所は**児童福祉法**に基づき、各都道府県に設けられた児童福祉の専門機関である。すべての都道府県および政令市(2006年4月から、中核市にも設置できるようになった)に最低1以上の児童相談所が設置されており、都道府県によってはその規模や地理的状况に応じて複数の児童相談所およびその支所を設置している。
- × c 地域包括支援センターは**市町村**が設置主体となり、**介護保険法**に基づいて、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等を配置して、3職種のチームアプローチにより、住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする施設である。
- d 口腔保健支援センターは都道府県、保健所設置市及び特別区が、**歯科口腔保健の推進に関する法律**に基づいて設置(任意設置)する。口腔保健支援センターは、歯科医療等業務に従事する者等に対する情報の提供、研修の実施等の支援を実施する。

正解 a, d

DH20:P211

〔問題 31〕 歯科衛生士の業務従事届出先はどれか。

- a 歯科衛生士会長
 b 市町村長
 c 都道府県知事
 d 厚生労働大臣

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- c 歯科衛生士法では、業務に従事する歯科衛生士は2年毎に、**12月31日**現在の氏名、住所、年齢、業務従事先の所在地・名称などを、翌年の**1月15日**までに就業地の**都道府県知事**に届け出ることが義務づけられている。なお、直接の届出先は所轄の保健所長である。

正解 c

DH20:P253

〔問題 32〕 クリニカルパスの目的はどれか。2つ選べ。

- a 疾患の早期発見
 b 院内感染の防止
 c 医療の質の標準化
 d チーム医療の推進

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- c, d クリニカルパスとは、ある病気の治療や検査に対して手渡される治療上必要な治療・検査やケアなどを縦軸に、時間軸(日付)を横軸に取って作成した診療スケジュール表である。クリニカルパス作成は、各医療スタッフのチームが、その医療機関ごとに質の高い医療を追求し、その結果をスケジュール化する。病気の治療内容とタイムスケジュールを明確にしたことで、患者は、その日どんな検査があって、いつ治療をして、いつ頃には治療が終わるかが明確になり、不安を少しでも解消できることになる。

正解 c, d

〔問題 33〕 52歳の女性。舌癌の治療法について相談をしたいことを主訴として来院した。2か月前に大学病院にて舌癌と診断され、医師から治療方針の説明を受けた。舌を半側切除するといわれたが、治療法に納得ができず、相談したいという。

この患者の行為はどれか。

- a アドヒアランス
 b セカンドオピニオン
 c インフォームド・コンセント
 d クオリティー・オブ・ライフ

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a アドヒアランスは、患者が**積極的に治療方針の決定に参加**し、その決定に従って治療を受けることを意味する。
- b セカンドオピニオンは、患者が医師の診断や治療法に納得できないとき、**別の専門医**に相談し意見を求め意思決定の材料とするものである。
- × c インフォームド・コンセントは、患者が治療内容についてよく説明を受け十分理解した上で、自らの自由意思に基づいて医療従事者と方針において合意することである。
- × d クオリティー・オブ・ライフは、一人一人の人生の内容の質や社会的にみた生活の質のことを指し、どれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか、ということを尺度としてとらえる概念である。

正解 b

【問題 34】 成人における検査値で正常範囲にあるのはどれか。2つ選べ。

- a 血 圧：150/90mmHg
- b 呼吸数：22 回/分
- c 脈拍数：70 回/分
- d 腋窩温：36.5℃

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a 正常血圧は、収縮期血圧が130mmHg未満、拡張期血圧が85mmHg未満である。収縮期血圧が140mmHg以上で高血圧となる。
- × b 健康成人の正常呼吸数は16～20回/分である。
- c 健康成人の正常脈拍数は60～80回/分である。70回/分は正常範囲内である。
- d 体温は個人差が大きい。35.5～37.0℃は正常範囲である。

正 解 c、d

DH 20:P 259

【問題 35】 エナメル質の破折や亀裂の検査に用いられるのはどれか。

- a 打 診
- b 温度診
- c 透照診
- d 歯髄電気診

▶ 歯科臨床の基礎

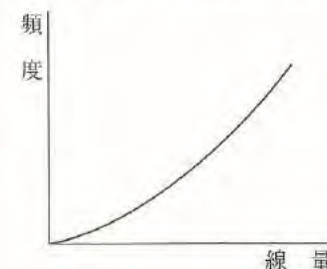
選択肢考察

- × a 打診は歯周組織や歯髄の状態の診断の際に行う診査法である。
- × b 温度診は歯髄疾患の診査や歯髄の生死の判断の際に行われる。
- c 透照診は、強い光を当てることで隣接面う蝕や歯冠部の亀裂を診査する方法である。光ファイバーやレジン照射器を用いて、患歯の頬側あるいは舌側面に透過光線を当てると、隣接面などにう蝕が存在した場合、う蝕部分が暗く見える。透照診はこのほかエナメル質の破折や亀裂の診査も行うことができる。
- × d 歯髄電気診は歯髄の生死を判定する診査法である。

正 解 c

DH 20:P 291

【問題 36】 放射線の影響における線量と反応関係の図を示す。



該当するのはどれか。

- a 口内炎
- b 骨髄炎
- c 白内障
- d 白血病

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a 口内炎はしきい線量を有する確定的影響である。
- × b 骨髄炎はしきい線量を有する確定的影響である。
- × c 白内障はしきい線量を有する確定的影響である。
- d 白血病はしきい線量のない確率的影響である。

正 解 d

要 点

与えられたグラフでは被曝線量がなくても効果が認められ、しきい線量がないことを示している。このような線量-効果関係を示すのは、確率的影響である。確率的影響は1つの細胞の遺伝子レベルでの障害によって生じる影響である。1つの細胞から生じることからしきい線量がない。この確率的影響として認められるのは体細胞の遺伝子変異から生じる悪性腫瘍の誘発と生殖細胞の遺伝子変異から生じる遺伝的影響のみである。

【問題 37】 貧血の症状はどれか。2つ選べ。

- a 頭 痛
- b 息切れ
- c 低血圧
- d 心拍数増加

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a 頭痛は多くの原因で生じるが、貧血に特有な症状ではない。
- b 貧血時の生体反応として、心拍数を多くして、酸素運搬量を確保する。貧血は血液中のヘモグロビン量(濃度)が減少している状態と定義される。WHO基準では、成人男子は13g/dL未満、成人女子や小児は12g/dL未満、妊婦や幼児は11g/dL未満を貧血としている。貧血ではヘモグロビン(色素)が減少しているため、動悸、息切れ、倦怠感が生じやすい。
- × c 貧血と低血圧とは別の病態であり、貧血が必ずしも低血圧を伴うとは限らない。
- d 身体がだるくて疲れやすく、心拍数が突然、通常より多くなる。

正 解 b、d

〔問題 38〕 検体検査はどれか。

- a う蝕活動性試験
- b エックス線撮影
- c 歯周ポケット検査
- d インピーダンス測定

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- a 検体検査とは、生体より採取した試料を使用し、試験・検査を行うことである。う蝕活動性試験は、唾液や歯垢を検体（試料）として検査する検体検査である。
- × b、× c、× d 心電図や超音波など、身体を直接調べる検査を一般に生理検査（生理機能検査）という。エックス線撮影、歯周ポケット検査、根管長測定（インピーダンス測定）は、生理機能検査である。

正解 a

〔問題 39〕 42歳の女性。下顎右側第二小臼歯の冷水痛を主訴として来院した。1か月前から気づいていたが強い痛みがないため放置していたという。診査の結果、コンポジットレジン修復を行うことになった。ペーストタイプのレジンで充填する前に行った処置の写真（別冊午後 No. 2）を別に示す。

この操作の目的はどれか。2つ選べ。

- a 歯髄鎮痛作用
- b 外来刺激の遮断
- c 残存歯質の強化
- d 修復物との接着性向上

▶ 保存修復学

選択肢考察

- b、d 写真はレジンコーティング法を行っている。レジンコーティング法は、主にコンポジットレジン修復やセラミックインレー修復において、修復物の接着性向上、修復物の内面適合性の向上、露出した象牙質の保護、あるいは術中、術後の知覚過敏などの不快症状防止を目的として行われる処置をいう。通常、流動性の高いフロアブルコンポジットレジンが用いられる。



No. 2

● レジンコーティング法

- ・接着性修復に適応
- ・修復物の接着性向上
- ・修復物の内面適合性の向上
- ・露出した象牙質の保護（外来刺激の遮断）
- ・術中、術後の知覚過敏などの不快症状防止

正解 b、d

〔問題 40〕 45歳の女性。上顎右側中切歯の審美不良を主訴として来院した。15年前にコンポジットレジン修復を受けたという。特に症状はなく補修修復を行うことになった。初診時の写真（別冊午後 No. 3 A）と窩洞形成後の口腔内写真（別冊午後 No. 3 B）を別に示す。

1) に対する処理で用いるのはどれか。2つ選べ。

- a リン酸
- b 硫黄系プライマー
- c 次亜塩素酸ナトリウム
- d シランカップリング剤

▶ 保存修復学

選択肢考察

- a 補修修復は、修復物の劣化した部分のみを削除して修復する方法である。すでに充填されたコンポジットレジン切削表面とエナメル質表面をリン酸により処理を行うことで、表面が粗造となり接着性が向上する。
- × b 硫黄系プライマーは金属表面に塗布し、レジンとの接着性を得るためのプライマーとして用いる。
- × c 次亜塩素酸ナトリウムは強い有機質溶解性を有し、う蝕歯質の溶解や印象の消毒などに用いる。
- d 明らかな二次う蝕がみられないために、着色した唇側部分のコンポジットレジンのみを削除し、新しいコンポジットレジンを追加充填する。従って、追加充填する際には、新しく充填されるコンポジットレジンと旧コンポジットレジンに対する接着処理が必要である。シランカップリング剤は、コンポジットレジンのフィラー（無機質）とレジン（有機質）の接着に用いるプライマーである。

正解 a、d

No. 3 A



B



DH20:P751

〔問題 41〕 暫間的間接覆髄法と間接覆髄法の共通点はどれか。2つ選べ。

- a 第3象牙質の形成を期待する。
- b 軟化象牙質を一部残して覆髄する。
- c 点状の露髄に対して行う処置である。
- d 覆髄薬として水酸化カルシウムが使用される。

▶ 歯内療法学

選択肢考察

- a 暫間的間接覆髄法(IPC法)と間接覆髄法のいずれも第3象牙質の形成を期待して行われる。暫間的間接覆髄法は、軟化歯質を完全除去すると露髄する危険がある場合に、軟化象牙質の一部を残して覆髄する方法である。若年者で、健康歯髄、可逆性歯髄疾患が適応となる。一方、間接覆髄法は、露髄はないが残存歯質が非常に薄い場合に行う覆髄法である。
- × b 軟化象牙質を一部残して覆髄するのは暫間的間接覆髄法である。間接覆髄法では軟化象牙質をすべて除去する。
- × c 暫間的間接覆髄法と間接覆髄法のいずれも露髄部に行う処置ではない。
- d 水酸化カルシウムは暫間的間接覆髄法および間接覆髄法の覆髄薬である。

正解 a、d

DH20:P351

〔問題 42〕 ウォーキングブリーチ法で使用する薬剤はどれか。2つ選べ。

- a 過酸化尿素
- b 過酸化水素水
- c 過ホウ酸ナトリウム
- d 次亜塩素酸ナトリウム

▶ 歯内療法学

選択肢考察

- × a 過酸化尿素はホームブリーチ法に用いる。
- b、○ c ウォーキングブリーチ法は失活歯に対する歯の漂白法で、髄腔内からアプローチする方法である。30%過酸化水素水と過ホウ酸ナトリウムを髄腔内に入れ、緊密な仮封を行う。
- × d 次亜塩素酸ナトリウムには漂白作用があるが、歯の漂白には用いられない。

正解 b、c

DH20:P307

次の文を読み、〔問題 43〕、〔問題 44〕に答えよ。

76歳の男性。4か月前に歯周病治療を開始し、歯周基本治療および歯周外科処置を終了した。再評価検査を行い、SPTに移行することになった。SPT移行時の口腔内写真(別冊午後No.4A)とエックス線写真(別冊午後No.4B)を別に示す。

〔問題 43〕 下顎前歯部に行った処置はどれか。

- a A-スプリント
- b オーラルスクリーン
- c エナメルボンディング
- d ボーンサウンディング

〔問題 44〕 SPT期間中に前歯部で発生するリスクが高いのはどれか。2つ選べ。

- a 食片圧入
- b 急性歯髄炎
- c 暫間固定材料の破損
- d 歯肉縁上歯石の付着

▶ 歯周治療学

No. 4 A



B



選択肢考察

〔問題 43〕

- × a A-スプリントは内側性の暫間固定である。
- × b オーラルスクリーンは、口呼吸や口唇閉鎖不全の患者の口腔乾燥や歯列の不正な変化を予防および治療のために装着する器具である。
- c 下顎前歯部は、接着性レジンセメントによる暫間固定(エナメルボンディング)されている。
- × d ボーンサウンディングは、麻酔下で歯周プローブを用いて垂直的、水平的な骨縁の位置を把握する診査法である。

〔問題 44〕

- × a 暫間固定が施術されているため、歯間部への食片圧入は防止できる。
- × b 歯冠部に修復処置がなされているが、急性歯髄炎の発生リスクが高いとはいえない。
- c 骨吸収のある多数歯を固定した場合には、咬合力によっては暫間固定材料が破損することが考えられる。
- d 歯間部の清掃が困難であるため、歯肉縁上歯石が付着するリスクは高い。

正解 〔問題 43〕 c
〔問題 44〕 c、d

DH20:P328

〔問題 45〕 無歯顎者の概形印象採得に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a アルジネート印象材
- b 酸化亜鉛ユージノール印象材
- c 付加型シリコンラバー印象材
- d モデリングコンパウンド印象材

▶ 歯科補綴学

選択肢考察

- a 無歯顎者の概形印象採得にはアルジネート印象材とモデリングコンパウンド印象材が使用される。このうち、モデリングコンパウンド印象材はアルジネート印象材と比較して流動性が低いことから、粘膜に圧をかけた状態での印象（機能印象）を行うことができる。
- × b 酸化亜鉛ユージノール印象材は無歯顎者の精密印象材である。
- × c 付加型シリコンラバー印象材は有歯顎者、無歯顎者の精密印象材である。
- d モデリングコンパウンドは非弾性印象材で、無歯顎者の概形印象採得に用いられる。

正解 a, d

DH 20:P738

〔問題 46〕 インプラント補綴装置製作のために印象採得を行うことになった。口腔内写真（別冊午後 No. 5 A）と個人トレーの写真（別冊午後 No. 5 B）を別に示す。

矢印の構造を付与する目的はどれか。

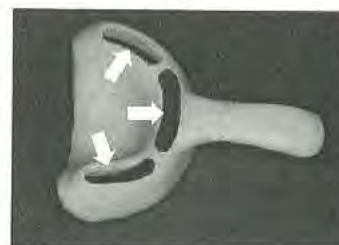
- a 印象材の注入
- b 印象材の剝離防止
- c 印象用パーツの操作
- d インプラント部の無圧印象

▶ 歯科補綴学

No. 5 A



B



選択肢考察

- × a 印象材の注入は個人トレーの内面から注入する。
- × b 印象材の剝離防止の保持孔は個人トレーの側方などに付与する。
- c インプラントの印象採得時には印象用コーピングを植立し、それぞれをデンタルフロスや即時重合レジンで固定して位置関係がずれないようにして印象採得する。その際、印象用コーピング部分は写真の個人トレーの穴から突き出ており、印象材硬化後にドライバーを使用してスクリューを外し、印象用コーピングごと印象体を撤去する。
- × d 写真のインプラント補綴装置は、咬合をインプラント体で支持するので無圧印象とは関係ない。

正解 c

〔問題 47〕 79歳の女性。上下顎の歯の欠損による咀嚼障害を主訴として来院した。全部床義歯により補綴することになった。義歯製作時の写真（別冊午後 No. 6）を別に示す。

この操作の目的はどれか。

- a 仮想咬合平面の決定
- b 垂直的顎間関係の記録
- c 水平的顎間関係の記録
- d 頭蓋に対する上顎位置の記録

▶ 歯科補綴学

選択肢考察

- × a 仮想咬合平面の決定には、咬合平面板を用いる。
- × b 垂直的顎間関係（咬合高径）の記録には、ノギスやバイトゲージを用いる。
- c 写真の器具は、上顎に描記針、下顎に描記板が設定されている口内法のゴシックアーチ描記装置である。水平的顎間関係の記録には、ゴシックアーチトレーサーを用いる。
- × d 頭蓋に対する上顎位置の記録にはフェイスボウを用いる。

No. 6



正解 c

DH 20:P375

〔問題 48〕 ブリッジのボンティックで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 離底型は上顎臼歯部に用いる。
- b 船底型は上顎前歯部に用いる。
- c オペイト型は補綴前処置が必要である。
- d リッジラップ型は審美性と装着感が良い。

▶ 歯科補綴学

選択肢考察

- × a 離底型は、基底面が顎堤粘膜から数 mm 以上離れることにより、ボンティック下の清掃は容易である。下顎臼歯部のみに用いる。
- × b 船底型は基底面の頂部が、顎堤粘膜と線状あるいは点状で接触する。ボンティック下に食物は溜まりやすいが、清掃は容易である。下顎臼歯部のみに用いる。
- c オペイト型は粘膜接触型ボンティックの一つであり、凸面状の基底面が顎堤粘膜の陥没部に入り込むために、陥没部を形成するための補綴前外科処置を必要とする。審美性に優れる。
- d リッジラップ型は基底面の頬側（唇側）頂部に顎堤粘膜と線状に接触し、さらに舌側に向かって歯槽頂部まで帯状に接する。接触面は T 字型である。審美性と装着感は優れる。下顎臼歯部を除いた部位に用いられる。

正解 c, d

DH 20:P388

【問題 49】 76歳の男性。昨晚からの口腔内出血を主訴として来院した。虚血性心疾患のため内科的な治療を受けている。昨日、他院で動揺の著しい下顎右側第一大臼歯の抜歯を行ったという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 7)を別に示す。

まず行う対応で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 経過観察
- b 常用薬の確認
- c 全身的な病歴の確認
- d 直ちに総合病院へ連絡

選択肢考察

- × a、× d まず、止血するための診査と治療が優先される。経過観察や、直ちに総合病院へ連絡するのは適切でない。
- b、○ c 抜歯後出血の原因は全身的要因と局所的要因が考えられる。設問では虚血性心疾患で内科的な治療を受けているため、抗血栓薬を服用していないかを確認する必要がある。

正解 b, c

▶口腔外科学

No. 7



【問題 50】 52歳の女性。口腔内の疼痛を主訴として来院した。2か月前から乳癌のため化学療法を受けていたが、10日前から口腔内に剥離可能な白斑が生じたという。口腔内写真(別冊午後 No. 8)を別に示す。

治療薬として用いられるのはどれか。

- a アシクロビル
- b ミコナゾール
- c カルバマゼピン
- d ジクロフェナクナトリウム

選択肢考察

- × a アシクロビルは単純ヘルペスウイルスや水痘・帯状疱疹ウイルスに用いられる。
- b 化学療法を受けていることから、免疫不全の状態である。免疫不全の状態では、剥離可能な白斑が生じたということからカンジダ症が考えられる。治療薬として抗真菌薬のミコナゾールが用いられる。
- × c カルバマゼピンは三叉神経痛に使用される。
- × d ジクロフェナクナトリウムは非ステロイド性抗炎症薬である。

正解 b

▶口腔外科学

No. 8



DH20:P107

【問題 51】 口腔癌の放射線治療期間中に生じるのはどれか。2つ選べ。

- a 白内障
- b 白血病
- c 粘膜炎
- d 口腔乾燥

▶口腔外科学

選択肢考察

- × a 白内障は放射線治療後に生じる晩期影響である。
- × b 白血病などの悪性腫瘍の誘発は数か月から数年後に生じる晩期影響である。
- c 粘膜炎は照射された部位に物理的刺激が加わることで生じるため、照射開始1~2週間後から生じる。ただし、照射が終了すると刺激がなくなるため、3~4週間で元に戻る。
- d 唾液腺の障害により一過性に唾液の分泌が少なくなり、早期に口腔乾燥感を訴える。一過性の口腔乾燥であれば照射の終了とともに元に戻るが、慢性化し口腔乾燥症になることもある。口腔乾燥症の場合、晩期影響になる。

正解 c, d

DH20:P272

要点

基本的に放射線治療期間中に生じるものが早期影響、治療後しばらくして生じるものが晩期影響である。早期に生じるものとしては、全身的なものとして宿酔による疲労感・だるさ・倦怠感があり、局所的なものとして照射部の炎症性変化、一時的な口腔乾燥、味覚の変化などがあげられる。

【問題 52】 矯正装置の写真(別冊午後 No. 9)を別に示す。

この装置による歯の移動様式はどれか。

- a 挺出
- b トルク
- c 歯体移動
- d 傾斜移動

▶矯正歯科学

No. 9



選択肢考察

- c 写真の装置は急速拡大装置である。正中口蓋縫合を開大して、上顎骨歯列弓を拡大する。緩徐拡大装置が傾斜移動なのに対し、急速拡大装置は歯体移動が起こる。患者本人がネジを回すことにより1日0.2~0.4mm拡大し、拡大終了までは2~3週間を要する。その後の保定に3~4か月必要である。

正解 c

DH20:P457, P461

〔問題 53〕 矯正装置の写真(別冊午後 No.10)を別に示す。

この装置の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 乳歯列期に装着する。
- b 固定式矯正装置である。
- c 間欠的な矯正力を発揮する。
- d 機能性下顎前突が適応である。

選択肢考察

- × a アクチバートルは混合歯列期から永久歯列完成期に用いる。
- × b 患者自身が装着する可撤式矯正装置である。
- c 間欠的な矯正力を発揮する。
- d アクチバートルは、構成咬合採得が可能な下顎後退を伴う上顎前突、機能性下顎前突、交叉咬合が主な適応症である。

正解 c、d

DH 20:P 460

No.10



▶矯正歯科学

〔問題 54〕 頭部エックス線規格写真における計測平面の図(別冊午後 No.11)を別に示す。

SN 平面はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

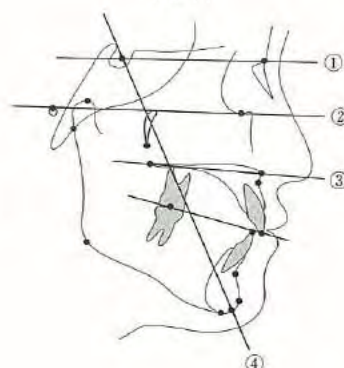
選択肢考察

- a ①はSN平面である。
- × b ②はフラン克福ルト平面(FH平面)である。
- × c ③は口蓋平面である。
- × d ④はY軸である。

正解 a

DH 20:P 467

No.11



▶矯正歯科学

〔問題 55〕 矯正治療で用いられる装置の写真(別冊午後 No.12 A)と得られた画像(別冊午後 No.12 B)を別に示す。

この撮影法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 拡大率:1.1 倍
- b 焦点被写体間距離:165 cm
- c 焦点フィルム間距離:150 cm
- d 被写体フィルム間距離:15 cm

▶矯正歯科学

No.12 A



B



選択肢考察

- a 拡大率は1.1 倍である。
- × b、× c、○ d 頭部エックス線規格写真撮影は一定の規格をもって撮影されたエックス線写真撮影で、以下が規格化されている。
- ① 頭部固定装置のイヤールッドを外耳孔に入れ、指示器を眼窩下点に位置させて頭部を固定する。
- ② 被写体とエックス線管の焦点との距離(通常150cm)および、被写体とフィルムとの距離(通常15cm)が一定である。
- ③ 中心エックス線が一定の場所を(側貌では左右のイヤールッドの中心軸を、正貌では左右のイヤールッドの中央で正中矢状面を)通過する。

正解 a、d

〔問題 56〕 みにくいあひるの子時代はどれか。

- a II C
- b III A
- c III B
- d III C

▶小児歯科学

選択肢考察

- b みにくいあひるの子時代とは、III A 期にみられる正中離開で、上顎中切歯が扇状に遠心に傾斜している状態をいう。これは上顎中切歯の萌出時期にみられる一過性のものであり、基本的には治療を必要としない。

正解 b

DH 20:P 426

〔問題 57〕 4歳の女児。食事時の口腔内の疼痛を主訴として来院した。昨日から痛みを訴え始めたという。体温は38.4℃である。初診時の口腔内写真(別冊午後No.13 A)と手のひらの写真(別冊午後No.13 B)を別に示す。

本疾患の原因ウイルスと同種類のウイルスが原因で生じるのはどれか。

- a 水痘
- b 麻疹
- c ヘルパンギーナ
- d ヘルペス性歯肉口内炎

▶小児歯科学

選択肢考察

- × a 水痘の原因ウイルスは水痘帯状疱疹ウイルスである。
- × b 麻疹の原因ウイルスは麻疹ウイルスで、頬粘膜にコプリック斑がみられる。
- c 写真は手足口病である。手足口病は口腔粘膜、手掌(手のひら)、足趾(足の裏)、足背などに2~3mmの水疱性発疹が生じ、口腔粘膜では水疱が潰れた後に口内炎が生じて、食事や飲み物を摂ると痛みが生じる。原因となるウイルスは主にコクサッキーウイルスA16である。ヘルパンギーナは、コクサッキーウイルスA4感染症で、39℃以上の発熱が数日続き、口咽部が腫れて小さな水疱ができ、数日で潰瘍になる。のどの痛みで食事、飲み物が摂れなくなり脱水症状を起こすこともある。従って本疾患の原因ウイルスと同種類である。
- × d ヘルペス性歯肉口内炎の原因ウイルスは単純ヘルペスウイルスである。

正解 c

DH20:P432

No.13 A



B



〔問題 58〕 パーキンソン病患者にみられる症状はどれか。2つ選べ。

- a 筋弛緩
- b 口呼吸
- c 歩行障害
- d 口腔ジスキネジア

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- × a 筋弛緩ではなく筋硬直(固縮)がみられる。
- × b 口呼吸はパーキンソン病の患者にみられる症状ではない。
- c、○ d パーキンソン病は中脳黒質部のドパミン作動性ニューロンの変性を特徴とする錐体外路症状が現れる原因不明の疾患である。安静時振戦、寡動(動作緩慢)、筋硬直(固縮)、姿勢反射障害の4大症状を特徴とする。また、仮面様顔貌、構音障害、歩行障害(前傾姿勢、小刻み歩行、突進歩行)などの症状も特徴的であり、口腔不随意運動である口腔ジスキネジアもみられる。

正解 c、d

DH20:P855

〔問題 59〕 高齢者にみられる特徴はどれか。

- a 症状は非定型的である。
- b 治療に対する反応が鋭い。
- c 環境変化の適応性が高い。
- d 複数の疾患に罹患していることは少ない。

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- a 高齢者は臨床症状に個人差が大きいことが特徴の1つであり、疾患の兆候は非定型的であるといえる。高齢者は全身疾患に罹患し、疾患の後遺症を有する割合が高くなる。それらの全身疾患は口腔領域にも影響を与えている場合が多い。従って、高齢者の歯科治療では口腔内や全身状態の詳細な把握が必須であり、診療内容も様々な制約を受ける場合があるため十分留意する必要がある。
- × b 高齢者は治療に対する反応は鈍い。
- × c 高齢者は環境変化への適応性は低い。
- × d 高齢者は複数の疾患に罹患していることが多い。

正解 a

〔問題 60〕 65歳の女性。全身麻酔下に嚢胞摘出術を予定した。喫煙歴は45年であり1年前から禁煙しているという。肺機能検査では肺活量が正常、1秒率が低下であり、休みながらでないと50m以上歩けない。入院前より使用している器具の写真(別冊午後No.14)を別に示す。

この器具の目的はどれか。

- a 呼吸機能訓練
- b 構音機能訓練
- c 閉口機能訓練
- d 嚥下機能訓練

▶障害者・高齢者歯科学

No.14



- a 長期の喫煙歴と1秒率低下、休みながらでないと50m以上歩けないことから、慢性閉塞性肺疾患(COPD)である。この状態で気管挿管を伴う全身麻酔を行うと、術後に肺炎を起こす危険性が高い。このため、術前より写真のような呼吸機能訓練器を用いて、呼吸機能を改善し、術後に喀痰を排出できるようにする。写真はスーフル®という呼吸機能回復訓練器である。

正解 a

DH20:P711

次の文を読み、[問題 61]、[問題 62] に答えよ。

58歳の男性。歯肉の腫脹を主訴として来院した。ブローピング時の出血はなく、エックス線写真で歯槽骨吸収は認められない。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.15)を別に示す。

[問題 61] 既往歴として考えられる疾患はどれか。

- a 肝硬変
- b 糖尿病
- c てんかん
- d パーキンソン病

[問題 62] この疾患の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 片麻痺
- b 意識喪失
- c 全身痙攣
- d オーラルディスキネジア

▶障害者・高齢者歯科学

No.15



選択肢考察

[問題 61]

- × a 肝硬変で歯肉肥大を生じることとはなく、また治療薬の有害事象としても歯肉肥大はない。
- × b 糖尿病で歯肉肥大を生じることとはなく、また治療薬の有害事象としても歯肉肥大はない。
- c てんかんの治療には、フェニトインが用いられ、有害事象に歯肉肥大がある。口腔内写真より歯肉増殖が認められる。歯肉増殖症の原因として薬物(抗てんかん薬、カルシウム拮抗薬、免疫抑制薬)による副作用があり、選択肢よりてんかんが考えられる。
- × d パーキンソン病で歯肉肥大を生じることとはなく、パーキンソン病治療薬の副作用には**オーラルディスキネジア**がある。

[問題 62]

- × a 片麻痺は**脳血管障害**の後遺症としてみられる。
- b、○ c てんかんは、種々の成因によってもたらされる慢性の脳の疾患であって、反射性の発作(てんかん発作)が特徴である。てんかん発作は全身痙攣を主症状とするもので、突然意識を喪失し、四肢を硬直させ転倒し、続いて四肢の痙攣がみられる。
- × d オーラルディスキネジアは顎口腔周囲の不随意運動で、抗精神病薬や抗パーキンソン病薬の副作用としてみられる。

正解 [問題 61] c
[問題 62] b、c

[問題 63] 高血圧症患者的の歯科治療で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 局所麻酔は行わない。
- b 血圧と脈拍をモニタリングする。
- c 頻脈の場合は治療の中止を検討する。
- d 水平位診療では頭部を体幹より低くする。

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- × a 高血圧症患者的に痛みを伴う処置を行う場合、使用限界量内での血管収縮薬を含む局所麻酔薬の使用によって無痛を得ることが重要である。
- b 確実な局所麻酔を行ったとしても歯科治療中に血圧と脈拍が変動することがあるため、血圧と脈拍をモニタリングする。
- c 歯科治療に伴う痛みや精神的な興奮は血圧上昇とともに頻脈が生じる。また、歯科治療に関係なく頻脈を認める場合、心房細動や甲状腺機能亢進症などの病的な原因が存在することもある。そのため、頻脈の場合は治療の中止を検討する。
- × d 頭部を体幹より低くすると、静脈還流が増加し血圧が上昇するため適切でない。

正解 b、c

要点

●高血圧症患者的の診療上の留意点

- ① 初診時、診療前に血圧測定を行う。
- ② 家庭血圧の値、治療の有無を確認する。
- ③ 局所麻酔は血管収縮薬の使用限界量以下で行う。
- ④ 精神鎮静法を用いる。

[問題 64] ブラッシングで除去できるのはどれか。2つ選べ。

- a 食物残渣
- b ペリクル
- c 外来性色素
- d マテリアアルバ

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a 食物残渣はブラッシングだけでなく、強く洗口することでも除去できる。マテリア・アルバとは、歯の表面や歯肉辺縁部に付着している灰白色か黄色の物質であり、剝離上皮細胞、細菌などからなり、付着が弱いため、強く洗口することで除去できる。
- × b ペリクルは洗口やブラッシングでは除去できず、PMTcで除去可能である。ペリクルは除去しても唾液に触れるとすぐに形成される。
- × c 外来性色素は歯磨剤を用いたブラッシングで沈着を予防できるが、一旦、沈着した外来性色素はブラッシングでは除去が困難である。
- d マテリアアルバはブラッシングや洗口で容易に除去できる。

正解 a、d

DH 20:P484

〔問題 65〕 43歳の女性。前歯の着色を気にして来院した。口腔内写真(別冊午後 No.16)を別に示す。

着色の原因で考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 喫煙
- b フッ化物過剰摂取
- c 緑茶の頻回な飲用
- d テトラサイクリンの服用

▶ 歯科予防処置

No.16



選択肢考察

- a 下顎前歯部舌側平滑面に黒褐色の色素がみられ、タンニンやニコチンの沈着と考えられる。
- × b フッ化物の過剰摂取によってみられる歯の変色は斑状歯である。斑状歯は形成不全の一種で写真とは色調が異なる。
- c 頻回の緑茶の飲用によって、タンニン鉄の歯面への沈着がみられることがある。
- × d 歯の形成期にテトラサイクリンの服用を服用することで歯の着色を生じることがあるが、歯冠全体にわたる変色である。

正解 a、c

〔問題 66〕 口腔模型の写真(別冊午後 No.17)を別に示す。

矢印部のルートプレーニングに適したグレーシーキュレットはどれか。

- a #11
- b #12
- c #13
- d #14

▶ 歯科予防処置

No.17



選択肢考察

- × a キュレット型スケーラーのうち、グレーシー型は片刃で基本的に1～14番まであり、それぞれ歯種や部位に適した形態をしている。#11は上顎左側白歯側近心面に適している。
- × b #12は上顎左側白歯口蓋側近心面に適している。
- c #13は上顎左側白歯口蓋側遠心面に適している。
- × d #14は上顎左側白歯側遠心面に適している。

正解 c

DH20:P518

〔問題 67〕 45歳の男性。歯周治療が終了してメンテナンスのため来院した。歯科医師から歯周検査の指示があり、以下の項目を行うことになった。

- ① BOP
- ② PMTC
- ③ O'Leary の PCR
- ④ PPD

適切な順序はどれか。

- a ①→④→③→②
- b ①→②→③→④
- c ④→①→③→②
- d ④→②→①→③

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- c 歯周治療のメンテナンス時には歯周組織の状況を把握した後、歯垢染色によるブラークコントロールレコード(PCR)を記録する。まず歯周ポケット深さ(PPD)の測定を行い(④)、その際の歯肉出血を記録する(①)。その後、歯垢染色によるPCRを記録し(③)、PMTCを行う(②)。PCRを記録するために歯垢染色を行うと、歯周組織の検査が行えなくなる。

正解 c

〔問題 68〕 歯面研磨時のラバーカップの操作で適切なのはどれか。

- a 高速回転で行う。
- b 強い圧で1か所に押し当てる。
- c 回転させた後に歯面に当てる。
- d カップの辺縁を歯肉縁下に入れて行う。

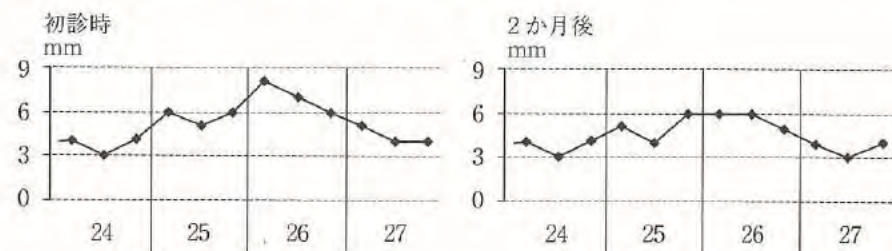
▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a ラバーカップは低速回転で使用することで、発熱を抑制し滑沢な歯面を形成する。
- × b 歯面に軽く当て、また数箇所 contacts に接触させることで、発熱を抑制し滑沢な歯面を形成する。
- × c 回転させた後に歯面に当てると、口腔内粘膜を損傷することがある。
- d ラバーカップは歯肉縁下の歯面研磨も行うことができる。

正解 d

【問題 69】 50歳の女性。上顎左側臼歯部の出血と歯肉の腫れを主訴として来院した。慢性歯周炎と診断され、ブラッシング指導と歯肉縁上スクレーリングを行った。初診時と歯周基本治療開始2か月後の歯周組織検査（プロービングデプス）の一部を図に示す。



上顎左側第一大臼歯でみられた変化はどれか。

- a 歯肉退縮
- b 動揺度の改善
- c アタッチメントロス
- d アタッチメントゲイン

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a 適切な歯周基本治療により、歯周ポケット内の炎症が消失する。その結果、歯肉は退縮し、ポケット深さは減少する。
- × b 検査結果から歯の動揺度は判断できない。
- × c プロービングデプスが減少していることから、アタッチメントロス（付着の喪失）はない。
- × d アタッチメントゲイン（付着の獲得）によってポケット深さは減少するが、歯肉縁下の処置は行っていないため、アタッチメントゲインはみられない。

正解 a

【問題 70】 口腔乾燥症の原因となるのはどれか。2つ選べ。

- a 糖尿病
- b 骨粗鬆症
- c 高血圧症
- d シェーグレン症候群

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a, d 口腔乾燥症は、唾液の分泌低下に起因するもので、原因として以下のものがある。
 - ・薬の副作用（抗うつ剤、抗パーキンソン剤、降圧剤などの副作用）
 - ・糖尿病（組織の水分が血管内に奪われるため組織の細胞は脱水状態となり、身体は口渇感を自覚する。）
 - ・シェーグレン症候群（唾液腺、涙腺などの外分泌腺が萎縮し、口と目が乾燥する自己免疫疾患）
 - ・加齢（年齢とともに口や顎の筋力の低下や萎縮が起こり唾液の分泌量が低下する。）
 - ・ストレス（ストレスがかかったり緊張をすると交感神経が刺激され、唾液の分泌が抑制される。）

正解 a, d

【問題 71】 65歳の女性。歯肉腫脹とブラッシング時の出血を主訴として来院した。糖尿病でHbA1cは8.5%、また、喫煙者で1日10本以上喫煙しているという。初診時の口腔内写真（別冊午後No.18）を別に示す。歯周ポケットは全体的に6~8mm、動揺は1~2度でプロービング時の出血を認めた。

主訴に対する局所性炎症性因子はどれか。

- a 喫煙
- b 口呼吸
- c 糖尿病
- d 咬合性外傷

▶歯科予防処置

No.18



選択肢考察

- × a 歯周病のリスク因子は、細菌関連因子、宿主関連因子（局所炎症性因子、局所外傷性因子、全身性因子）、環境関連因子に分けられる。喫煙は環境関連因子である。出血は少なく、歯肉の線維化が特徴である。
- b 唇側の口呼吸線ははっきりしないが、口蓋側に著明なテンションリッジ（堤状隆起）が認められる。口呼吸は局所性炎症性因子であり、上顎前歯部の空隙は口輪筋のゆるみにより上顎前歯部が唇側傾斜したため起きた可能性が考えられる。
- × c 糖尿病は歯周病の宿主関連全身性因子である。
- × d 前歯部に動揺が認められるが、炎症も動揺の原因となる。咬合性外傷は局所外傷性因子であり、主訴の歯肉腫脹の炎症性因子とはならない。

正解 b

DH20:P318

【問題 72】 21歳の男性。歯科健康診査で行った OHI による DI と CI の検査結果を表に示す。

DI	右側臼歯部	前歯部	左側臼歯部
上顎	1 0	1 1	1 0
下顎	0 1	0 0	0 1

CI	右側臼歯部	前歯部	左側臼歯部
上顎	2 0	0 1	1 0
下顎	0 0	0 2	0 0

OHI 値はどれか。

- a 0.5
- b 1.0
- c 1.5
- d 2.0

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- d OHI は DI (Debris Index) と CI (Calculus Index) をそれぞれ算出し、合計したものである。
 $DI = (1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1) / 6 = 1.0$, $CI = (2 + 1 + 1 + 2) / 6 = 1.0$
 従って $OHI = DI + CI = 1.0 + 1.0 = 2.0$

正解 d

DH 20:P587

【問題 73】 47歳の男性。歯周治療が終了した。今後はメンテナンスを行う予定である。メンテナンスに際し、リコール間隔を短くする条件はどれか。2つ選べ。

- a 喫煙者である。
- b BMI が 30.0 である。
- c 歯の叢生がみられる。
- d 口腔清掃に対するモチベーションが高い。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 歯科治療後の状態を長期に維持するためには、患者自身のセルフコントロールと、歯科医師や歯科衛生士が健康管理する定期的な再診査が必要であり、これを一般にリコールとよぶ。喫煙は歯周病のリスクファクターの1つであり、歯周病を惹起、悪化させる要因である。従って、歯周疾患の再発も考えられるため、リコール間隔を短くする。
- × b 肥満と歯周病は直接的な関係はなく、リコール間隔の決定要因とはならない。
- c 歯の叢生などブラークコントロールが困難な部位は、歯周疾患に罹患しやすい部位である。リコール間隔を短くし、定期的にメンテナンスをする必要がある。
- × d 口腔清掃に対するモチベーションが高い患者は、セルフコントロールができると判断される。従ってリコール間隔を短くする必要はない。

正解 a, c

DH 20:P341

【問題 74】 Bis-GMA 系充填材を使用した小窩裂溝充填法の術式で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 簡易防湿の実施
- b ボンディング材塗布
- c 充填後のフッ化物歯面塗布
- d リン酸溶液によるエッチング

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 小窩裂溝充填法では原則的にラバーダム防湿が必要である。
- × b 小窩裂溝充填は成形修復ではないため、ボンディング材塗布は必要としない。
- c レジン系シーラントは酸処理を行うため、充填後のフッ化物歯面塗布を行う場合もある。
- d レジン系充填材を用いた小窩裂溝充填法では、30～50%リン酸溶液によるエッチング処理を行い、レジニタゲを形成することが必要である。

正解 c, d

DH 20:P572

【問題 75】 3歳の女児。3歳児歯科健康診査でフッ化物によるう蝕予防を勧められ、母親と来院した。歯科医師の指示により、フッ化物歯面塗布を行うことになった。

フッ化物歯面塗布法で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 塗布後 30 分間は飲食を禁止する。
- b 塗布溶液はガラス容器に保存する。
- c 0.2% フッ化ナトリウム溶液を用いる。
- d 3～4 分間湿潤状態を保つように塗布する。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a フッ化物を塗布した後、30～60 分間は洗口や飲食を禁止する。
- × b フッ化物にはガラス溶解性があるため、ガラス容器は使用できない。
- × c 2% フッ化ナトリウム (9,000 ppmF) が用いられる。
- d 2 mL 以下のフッ化物溶液に小綿球を浸し、3～4 分間湿潤状態を保つように歯面に塗りつける。

正解 a, d

【問題 76】 体重 20kg の 5 歳児に 2% NaF 溶液による歯面塗布を行うことになった。誤飲して急性中毒を発現する可能性がある最小量はどれか。

- a 2.2 mL
- b 4.4 mL
- c 22.0 mL
- d 44.0 mL

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- b 誤飲による急性中毒発現量は 2 mg/kgF であり、設問では患児の体重が 20kg であるため、急性中毒量は 40mg である。2% NaF 溶液には 9mg/mL の F が含まれており、 $40 \div 9 = 4.444 \text{ mL}$ となる。

正解 b

DH 20:P566

〔問題 77〕 う蝕の微生物要因に対する予防法はどれか。

- a 歯磨剤の応用
- b 小窩裂溝填塞
- c フッ化物洗口
- d 代用甘味料の使用

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 歯磨剤はプラークコントロールを目的に利用されるので、**微生物要因**に対する予防法である。
- × b 小窩裂溝填塞はう蝕の好発部位の歯面（小窩裂溝）を填塞材で覆い、う蝕の感受性を下げようとするものである。宿主要因に対する予防法である。
- × c フッ化物洗口によって、歯質の耐酸性が向上するなどの歯質の強化に働くため、**宿主要因**に対する予防法である。
- × d 代用甘味料の使用は**基質要因**に対する予防法である。

正解 a

DH 20:P118

〔問題 78〕 プリシード・プロシードモデル（ミドリモデル）における第4段階で準備因子はどれか。2つ選べ。

- a 場所
- b 知識
- c 健康観
- d 行動後の効果の実感

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 場所や健康行動のスキルは**実現因子**である。
- b、○ c プリシード・プロシードモデル（ミドリモデル）における第4段階（教育・組織診断）では、目標としたライフスタイルと環境要因を改善するためにはどのような条件を満たせばよいのかを**準備因子**、**強化因子**、**実現因子**に分けて検討する。具体的には、本人に知っておいてほしい知識、周りの人が協力すべきこと、提供すべき保健サービスや受け皿の整備、整備すべき環境や制度などである。行動を起こす前の知識や態度、健康観は**準備因子**である。
- × d 行動後の効果の実感は**強化因子**である。

正解 b、c

〔問題 79〕 指数の最高スコアで正しいのはどれか。

- a GI : 8
- b PHP : 6
- c OHI : 10
- d PMA（前歯部法） : 34

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a GI は Loe と Silness により考案された指数で、**歯肉炎の炎症の広がり**と**強さ**を同時に組み入れた指標である。最高スコアは3である。
- × b PHP 歯面を近・遠心的に3区分し、さらに中央部を歯頸、中央、咬頭に3区分した**5**部位を単位とする。最高スコアは5である。
- × c OHI は歯垢および歯垢のような軟性物（debris）と歯石（calculus）の沈着状態を評価する指標である。DI（最高スコア6）と CI（最高スコア6）の合計であり、**12**が最高スコアである。
- d PMA Schour と Massler により考案された指数で、**歯肉炎の広がり**の**程度**を数量化したものである。前歯部法で**34**、全歯部法で**82**が最高スコアである。

正解 d

〔問題 80〕 居宅療養管理指導を行う専門職はどれか。2つ選べ。

- a 理学療法士
- b 管理栄養士
- c 歯科衛生士
- d 言語聴覚士

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- b、○ c 居宅療養管理指導とは、通院・通所できない要介護者（要介護1～5の者）に対して、医師・歯科医師・薬剤師・管理栄養士・歯科衛生士・看護師・保健師などが利用者の自宅に訪問し、療養に必要な管理指導を行うサービスである。医師・歯科医師といえども、行うのはあくまで指導やアドバイスのみで、実際の治療は行わない。居宅療養管理指導は、利用者や家族に対する直接のアドバイスだけでなく、利用者を中心とする介護保険サービス関係者（ケアマネージャーなど）へ計画的な医学的管理に基づいた介護サービスを利用する上での留意点、介護方法等についての指導および助言を行いバックアップするものである。

対象者は**要介護**にあるような医療ニーズの高い要介護認定者で、医師・歯科医師が、サービスが必要と判断すれば利用できる。

正解 b、c

要点

◎「居宅療養管理指導の利用対象者」

- ・病状が不安定な人
- ・通院できない人
- ・褥瘡、糖尿病、心不全や血圧管理などの治療が必要な人
- ・酸素吸入や呼吸器の管理が必要な人
- ・入院・入所の可否の判断が必要な人
- ・口腔や歯の問題を持つ人

【問題 81】 67歳の男性。2年前より部分床義歯を装着している。義歯の写真(別冊午後 No.19)を別に示す。

義歯の清掃方法の指導で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 水を張った容器の中で磨くようにしてください。
- b クラスプは変形しやすいので磨かないでください。
- c ブラシに歯磨剤をつけずに汚れを落としてください。
- d 義歯洗浄剤に浸漬後に義歯の付着物を落としてください。

▶ 歯科保健指導

No.19



- a 清掃時は義歯を落として壊さないように、水を張った容器や濡れ布巾を準備する。
- × b クラスプの内面はブランクが停滞しやすい部位であり、食後は外して清掃を行う。
- c 義歯床を傷つけないように歯磨剤は用いず、研磨剤を含まない洗口液や水を用いて洗浄する。
- × d 義歯洗浄剤の効果を高めるために、義歯洗浄剤を溶かした液に浸漬する前に義歯の付着物を除去する。

正解 a、c

【問題 82】 70歳の男性。くも膜下出血の既往があり、入院先の病院から口腔衛生管理の依頼を受けた。口腔のアセスメント表の一部を表に示す。

体重	: ここ数年増加している。
残存歯	: 24本
う歯	: 0本
口腔清掃状況	: 良好
歯肉・粘膜の状態	: 異常なし
口臭	: なし
RSST	: 3回
舌苔	: なし
オーラルディアドコキネシス: 「Pa」「Ta」「Ka」	すべて基準を満たしていない。

口腔衛生管理を行う上での問題点はどれか。2つ選べ。

- a 嚥下機能の低下
- b 口唇機能の低下
- c 唾液分泌量の低下
- d 舌運動機能の低下

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a RSSTが3回であり、嚥下機能は問題ない。
- b Paの発音が基準値以下であり、口唇機能の低下が疑われる。
- × c 口臭やう蝕もなく、舌苔の付着も認められないことから、唾液分泌量に問題はない。
- d オーラルディアドコキネシスで基準を満たしておらず、舌運動機能の低下が疑われる。

正解 b、d

【問題 83】 日本人の食事摂取基準(2015年版)で、70歳以上で目標とするBMI(kg/m²)の範囲はどれか。

- a 18.5～24.9
- b 20.0～22.0
- c 20.0～24.9
- d 21.5～24.9

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- d 70歳以上では、BMI 21.5～24.9kg/m²を目標とする。

正解 d

要点

日本人の食事摂取基準(2015年版)において目標とするBMIの範囲(18歳以上)(男女共用)

年齢(歳)	目標とするBMI(kg/m ²)
18～49	18.5～24.9
50～69	20.0～24.9
70以上	21.5～24.9

【問題 84】 44歳の男性。下顎前歯部の審美障害と冷水痛とを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.20)を別に示す。問診によって得られた情報の一部を表に示す。

主訴 : 下顎前歯部の審美障害と冷水痛
 現症 : 冷刺激による一過性の疼痛
 既往歴 : 高血圧症で降圧剤を服用中
 生活習慣 : 歯磨きは1日2回、朝と就寝前に行う。喫煙は1日10本。
 かための歯ブラシを使用し、歯磨剤は1cm程度使う。

主訴に対する適切な歯科保健指導はどれか。2つ選べ。

- a 禁煙指導
- b 歯間ブラシの使用
- c 「ふつう」の歯ブラシの使用
- d 知覚過敏予防用歯磨剤の使用

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 禁煙指導は必要であるが、主訴に対する指導ではない。
- × b 歯間ブラシの使用は主訴に対する指導ではない。
- c、○ d 主訴は審美障害と冷水痛であり、くさび状欠損の原因であるブラッシング圧の改善(歯ブラシの硬さの変更)と冷水痛に対する処置(知覚過敏予防用歯磨剤の使用)が必要である。

正解 c、d

No.20



〔問題 85〕 栄養アセスメントで用いられる指標はどれか。2つ選べ。

- a BMI
- b HbA1c
- c MMSE
- d SGA

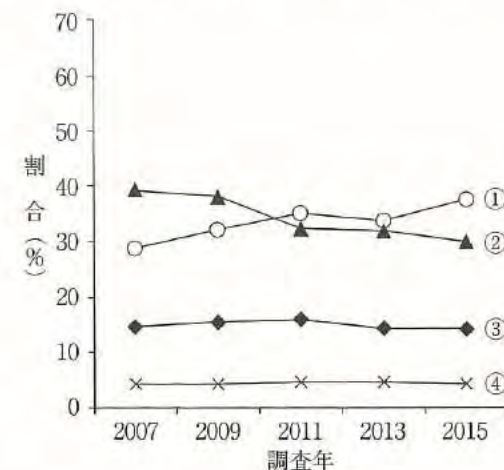
▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a BMI (Body Mass Index) は、太っているか、やせているかといった肥満度を表す指標として用いられる。計算式は $[\text{体重 (kg)}] \div [\text{身長 (m)}^2]$ で、日本では BMI 22 を標準体重または適正体重としている。BMI が 25 以上は「肥満」、BMI が 18.5 未満は「やせ」である。
- × b HbA1c は、赤血球中のヘモグロビンのうちどれくらいの割合が糖と結合しているかを示す検査値であり、糖尿病の指標である。
- × c MMSE は、Mini Mental State Examination (ミニメンタルステート検査) の略語で、「精神状態短時間検査」とよばれる認知症のスクリーニングテストである。
- d 栄養アセスメントでは、まず SGA (主観的包括的アセスメント) などを用いて、栄養障害のリスク患者をスクリーニングし、早期発見する。次に適切な栄養処方設計を立案するために、栄養歴や身体計測、身体所見ならびに臨床検査などをもとに、患者の栄養状態や病態を的確かつ総合的に評価し、栄養障害因子の同定を行うことである。SGA は、外来診察で入手可能な簡単な情報のみで、栄養障害はもちろん、創傷の治癒遅延や感染症などのリスクのある患者を正確に予測できる特徴がある。

正解 a、d

〔問題 86〕 国民健康・栄養調査における成人の調査結果の年次推移を図に示す。



運動習慣のある者の割合を示すのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a ①は「運動習慣のある者の割合」で、男女とも 20～30% 台で推移し、男性はその割合が増加傾向にある。
- × b ②は「習慣的に喫煙している者の割合」で、男性が 30% 台、女性は 10% 前後で推移し、男女とも減少傾向にある。
- × c ③は「朝食を欠食している者の割合」で、男性が 15% 程度、女性は 10% 程度で推移している。
- × d ④は「やせの者 (BMI < 18.5) の割合」で、男性が 4% 程度、女性は 10% 程度で推移している。

正解 a

〔問題 87〕 ビタミンとその欠乏症の組合せで正しいのはどれか。

- a ビタミン A —— 悪性貧血
- b ビタミン B₁ —— 口角炎
- c ビタミン C —— 壊血病
- d ビタミン D —— 脚気

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 悪性貧血はビタミン B₁₂ 欠乏によって生じる。
- × b 口角炎はビタミン B₂ 欠乏によって生じる。
- c 壊血病はビタミン C 欠乏によって生じる。
- × d 脚気はビタミン B₁ 欠乏によって生じる。ビタミン D 欠乏によってくる病が生じる。

正解 c

【問題 88】 学校歯科健康診断でGOと判定された児童に対し事後措置を行うことになった。事後措置の内容で適切なものはどれか。

- a 歯科治療を勧める。
- b 歯石除去を勧める。
- c 精密検査受診を勧告する。
- d 学校での歯科保健指導を実施する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 歯科治療を勧めるのは、未処置のう蝕歯(C)または歯肉炎(G)と診断された場合にされる事後措置である。
- × b 歯石除去を勧めるのは、歯石沈着がみられた場合になされる事後措置である。歯石の沈着は問題文からは不明である。
- × c、○ d 学校歯科健康診断時のGOは歯周疾患要観察者である。歯肉に軽度の炎症はみられるが歯石の沈着はみられないため、歯周組織に対する適切な指導を行うことで改善する。GOは口腔清掃指導などの適切な指導で改善を図ることができる状態であり、精密検査受診の勧告は行わない。学校での歯科保健指導が適切な事後措置といえる。

正解 d

要点

● COの事後措置

- ・かかりつけ歯科医院にてまずう蝕活動性試験などのリスク診断や精密検査
- ・2～6か月間隔で再検査をしつつ、1～2年間観察を続ける
- ・口腔清掃および飲食物摂取指導
- ・予防填塞、フッ化物歯面塗布などの予防処置

● GOの事後措置

- ・口腔清掃指導、生活指導
- ・2～6か月間隔で再検査をしつつ、1～2年間観察を続ける

● C・G・顎関節の異常・不正咬合の事後措置

- ・診断と治療、または精密検査を受けるよう指示する

【問題 89】 介護保険施設に入居中の男性の写真(別冊午後 No.21)を別に示す。この男性で低下していると考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 握力
- b 脚力
- c 視力
- d 聴力

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a、b 写真から、サルコペニアが疑われる。サルコペニアとは、加齢や疾患による筋肉量の減少を指し、握力や下肢筋・体幹筋など全身の「筋力低下が起こること」をいう。握力の低下がみられ、また脚力の低下により歩行速度が遅くなる。

正解 a、b

No.21



【問題 90】 76歳の女性。デイサービスを利用している。身長150cm、体重42kg、BMI18.7kg/m²で、この1年間で体重が2kg減少し、最近歩行速度が遅くなり、疲労感が強くなったという。この利用者に対して、食事バランスガイドを用いて食生活指導を行うことになった。

特に摂取が必要なものはどれか。

- a 米類
- b 肉類
- c 糖類
- d 海藻類

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- b この1年間で体重が2kg減少したこと、最近歩行速度が遅くなり疲労感が強くなってきたことから、低栄養状態およびサルコペニアになっていることが考えられる。これは加齢により、タンパク質合成速度および分解速度ともに低下することが原因と考えられるため、タンパク質の摂取が必要となる。食事バランスガイドにおいて、主にタンパク質の供給源となる料理区分は主菜で、肉、魚、卵、大豆および大豆製品などを主材料とする料理区分である。

正解 b

【問題 91】 75歳の女性。5年前に脳梗塞を発症後、歩行が不自由になったため、2か月前から介護老人福祉施設に入所している。現在、食事は自立しているが、水を飲む際にむせることがあるという。食事形態で適切なものはどれか。

- a 卵豆腐の銀あん
- b 銀杏入り茶碗蒸し
- c 豆腐とわかめの味噌汁
- d ところてんの酢醤油かけ

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 卵豆腐はべたつかず、あんがあるため誤嚥しにくい。自分の意思や意図と実際の食塊移動が伴い、うまく連動できるような食事形態を検討する。嚥下の準備ができていないのに食塊移動が始まると、誤嚥しやすくなる。
- × b 茶碗蒸しはよいが、銀杏が滑りやすく、誤嚥を起こしやすい。
- × c 味噌汁はさらっとした液体であり、わかめは口腔内や喉にはりつくため、誤嚥を起こしやすい。
- × d ところてんはつるつると滑りやすく、また酢醤油はむせやすく誤嚥を起こしやすい。

正解 a

〔問題 92〕 80歳の女性。食事中に鼻から食片が出てきた。

原因を調べるための検査法はどれか。2つ選べ。

- a ブローイング検査
- b 改訂水飲みテスト
- c 反復唾液嚥下テスト
- d 発声言語の聴覚判定

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a、○ d ブローイング検査はコップの水をストローで吹き続け、鼻孔に当てたステンレス板についた鼻息の程度を評価するもので、鼻咽腔閉鎖機能を調べる検査法である。また、発声言語の聴覚判定は、開鼻声など特徴的な音声を聴覚的に判定する。食事中、鼻から食片が出てきたということは鼻咽腔閉鎖機能不全が疑われるため、ブローイング検査、発声言語の聴覚判定が検査として適切である。
- × b、× c 改訂水飲みテスト、反復唾液嚥下テストは誤嚥のスクリーニングテストである。

正解 a、d

〔問題 93〕 部分床義歯装着後の患者指導で適切なのはどれか。

- a 利き手側からはずす。
- b 鏡で確認しながら着脱する。
- c 義歯床縁に爪をかけてはずす。
- d 義歯をかみこみながら装着する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a クラスプの緩みや歯肉の損傷を避けるため、義歯を左右均等に着脱する。
- b 慣れるまでは鏡で確認しながら着脱する。
- × c クラスプに爪をかけて着脱する。
- × d 義歯は手指で装着する。

正解 b

〔問題 94〕 乳児型嚥下が消失し成熟型嚥下へと移行するのはどれか。

- a 6か月
- b 1歳
- c 3歳
- d 5歳

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 6か月は離乳期であり、成熟型嚥下をトレーニングする時期である。
- b 1歳前後で成熟型嚥下へと移行するのが望ましい。乳児期から幼児期前半にかけて、嚥下様式の変換がみられる。平均的に乳前歯が萌出する1歳前後で乳児型嚥下は消失し、成熟型嚥下に移行していくことが望ましい。
- × c、× d 2歳以降では遅い。

正解 b

要点

- ・ 生後～乳歯萌出期は、幼児型嚥下である。→ 上下顎間に舌が介在する。
 - ・ 生後1歳前後に、成熟型嚥下へと変化する。→ 舌は口蓋に接する。
- 成熟型嚥下へなかなか移行しない場合、異常嚥下癖、舌突出癖などが残り咬合異常を招く。

〔問題 95〕 摂食嚥下の5期モデルで食塊の形成に関与するのはどれか。

- a 先行期
- b 準備期
- c 口腔期
- d 咽頭期

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 先行期は食物を認識し、口腔内に取り込むまでの時期である。食塊の形成には関与しない。
- b 準備期は主に口腔内に取り込まれた食物を咀嚼し、食塊形成する時期である。摂食嚥下機能は捕食・咀嚼・嚥下という連続した反応で、食物の認知から始まり、食物を口腔内に取り入れて、咽頭・食道を経て胃に至るまでの過程をいう。摂食嚥下機能の過程は、先行期（認知期）、準備期（捕食・咀嚼・食塊形成）、口腔期（舌による咽頭への送り込み）、咽頭期および食道期の5つのステージに分けられており、これを摂食嚥下の5期モデルという。
- × c 口腔期は食物を嚥下するために咽頭への送り込みを行う時期である。食塊の形成には関与しない。
- × d 咽頭期は嚥下反射による嚥下関連筋群の協調運動により、食物が中咽頭から食道に送りこまれる時期である。食塊の形成には関与しない。

正解 b

DH 20:P 700

【問題 96】 液成分にポリアクリル酸を使用するのはどれか。2つ選べ。

- a 接着性レジンセメント
- b グラスアイオノマーセメント
- c 酸化亜鉛ユージノールセメント
- d ポリカルボキシレートセメント

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 接着性レジンセメントはMMA系とコンポジットレジン系に分類される。MMA系の液成分はMMA(メチルメタクリレート)で、コンポジットレジン系は多官能性モノマーが含まれる。
- b グラスアイオノマーセメントは、アルミノシリケートガラスが粉末に、液にポリアクリル酸を使用している。合着用セメントは、酸性の水溶液と塩基性の粉末で構成されている。酸性の水溶液にはポリアクリル酸やリン酸が用いられ、ポリアクリル酸はリン酸よりも中性に近く、歯質との接着性がある。
- × c 酸化亜鉛ユージノールセメントは、粉末には酸化亜鉛が使用されており、液にユージノールが使用されている。
- d ポリカルボキシレートセメントは、酸化亜鉛が粉末成分として使用され、液にはポリアクリル酸を使用している。

正解 b、d

【問題 97】 酸性モノマーで歯面処理を行う接着システムはどれか。2つ選べ。

- a 3ステップシステム
- b オールインワンシステム
- c ウェットボンディングシステム
- d 2ステップセルフエッチングシステム

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 3ステップシステムは、酸処理 → プライミング → ボンディングの順で処理を行うため、酸性モノマーで歯面処理を行う接着システムではない。
- b 酸性モノマーで歯面処理を行う接着システムとは、酸処理を単体で行わない接着システムである。酸性の接着レジンモノマーを配合したセルフエッチングプライマーや、オールインワンアドヒーズなどでは、プライマー自身が酸性になることを利用してプライマーにエッチング処理を行わせる。特に象牙質に対して非常に強い接着強さが得られる。オールインワンシステムは、オールインワンアドヒーズのみで歯面処理を行うため、酸性モノマーで歯面処理を行う接着システムである。
- × c ウェットボンディングシステムは、酸処理 → セルフプライミングボンディングの順で処理を行うため、酸性モノマーで歯面処理を行う接着システムではない。
- d 2ステップセルフエッチングシステムは、セルフエッチングプライマー → ボンディングの順で処理を行うため、酸性モノマーで歯面処理を行う接着システムである。

正解 b、d

DH 20:P 304

【問題 98】 歯周外科手術に用いる器具の写真(別冊午後 No.22)を別に示す。

この器具の用途はどれか。

- a 歯肉の切開
- b 歯槽骨の整形
- c 粘膜弁の剥離
- d 不良肉芽組織の除去

▶ 歯科診療補助

No.22



選択肢考察

- × a 歯肉の切開にはメスを用いる。
- × b 歯槽骨の整形にはボーンファイルを用いる。
- c 写真の器具は粘膜剥離子である。フラップ手術の際に歯肉粘膜を剥離して術野を明瞭にする。
- × d 不良肉芽組織の除去にはキュレットを用いる。

正解 c

DH 20:P 765

【問題 99】 根管充填に使用する材料の写真(別冊午後 No.23)を別に示す。

この材料の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 熱可塑性
- b 生体親和性
- c 歯質接着性
- d エックス線透過性

▶ 歯科診療補助

No.23



選択肢考察

- a 写真の材料はガッタパーチャポイントである。熱可塑性を有する材料で、根管封鎖に必要な圧接操作が可能である。また、生体親和性を有し、化学的に安定な材料で歯質を変色させないといった特徴を呈する。しかし、歯質に対して接着性がないことから、緊密な充填が困難などの欠点がある。
- b 組織親和性があり、化学的にも安定している材料である。
- × c 歯質に対して接着性がなく、緊密な充填が困難である。
- × d 造影剤が添加されているため、エックス線不透過性を示す。

正解 a、b

DH 20:P 362

要点

● ガッタパーチャポイントによる根管充填の利点

- ・根管充填後、収縮が少なく不変性である。
- ・気密性に富む。
- ・組織親和性である(刺激性がない)。
- ・エックス線不透過性である。
- ・歯質を変色しない。
- ・消毒や滅菌が可能である。
- ・可撤性である。

〔問題 100〕石膏の硬化遅延材はどれか。

- a 食塩
- b ホウ砂
- c 硫酸カリウム
- d 硫酸カルシウム

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a、× c、× d 食塩、硫酸カリウム、硫酸カルシウムは硬化促進剤である。
 ○ b ホウ砂は硬化遅延剤としての効果が大きい。石膏を練和する水に化学物質を加えると、硬化時間を調節することができる。硬化促進剤には、塩化ナトリウム（食塩）や硫酸カリウム、硫酸カルシウムなどがある。4%ぐらいまでは促進剤濃度が高くなるにしたがって硬化時間は短くなるが、塩化ナトリウムは、それ以上の濃度になると硬化が遅延する。硬化遅延材にはホウ砂やクエン酸カリウムなどがある。また、血液やコロイド性物質（ハイドロコロイド印象材）なども硬化を遅延させる。

正解 b

〔問題 101〕89歳の女性。義歯の破折を主訴として来院した。上顎全部床義歯は4か月前に製作したが、昨夜、義歯清掃中に誤って落としたという。破折部の修理を行うことになった。義歯の破折部を確認している写真（別冊午後 No. 24 A）と破折部位を接着している写真（別冊午後 No. 24 B）を別に示す。

写真 B において、破折部位の接着に用いられるのはどれか。

- a 瞬間接着剤
- b ボンディング材
- c 接着性レジンセメント
- d シランカップリング剤

▶ 歯科診療補助

No. 24 A



B



選択肢考察

- a 破折義歯の修理法は以下のような手順で行われる。
 ① 破折片同士を瞬間接着剤で仮固定（写真 B）
 ② 石膏などでコアの作製
 ③ 義歯をコアから外して破折部のレジン进行割合
 ④ 義歯をコアに戻して常温重合レジンで築盛
 ⑤ 形態修正・研磨

正解 a

〔問題 102〕10歳の男子。ジャングルジムから転落し、上顎左側中切歯が脱落したと母親から連絡があった。汚れた歯は水道水で洗ったとのことで、来院までには30分程かかるという。

脱落歯の持参方法の指示で適切なものはどれか。

- a アルコールで消毒してください。
- b 今すぐ汚れをしっかりと落としてください。
- c 来院されるまで牛乳に漬けておいてください。
- d 汚れがつかないようにティッシュに包んでください。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a アルコールには脱水作用があるため不適切である。
 × b 汚れをしっかりと落としてしまうと歯根膜が除去され、再植した際の予後が悪くなる。
 ○ c 牛乳や生理的食塩水の浸透圧は生体に近く、歯根膜の保護に適切である。
 × d ティッシュに包むと歯根が乾燥してしまうため不適切である。

正解 c

〔問題 103〕歯周外科治療に使用する器具の写真（別冊午後 No. 25）を別に示す。新付着術に使用するのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No. 25



①



②



③



④

選択肢考察

- × a ①はカーランドメスで、歯肉切除時の歯肉外科切開に使用する。
 ○ b ②は持針器であり、縫合時に使用する。
 × c ③はコーンのブライヤーで、GTR膜の把持に使用する。
 ○ d ④はクリーン-カプランのポケットマーカで、ポケット底の印記に使用する。

正解 b、d

DH 20:P 759

【問題 104】 機能的自立度評価表(FIM)の評価項目はどれか。2つ選べ。

- a 掃除をしている。
- b 入浴をしている。
- c うがいをしている。
- d 車椅子へ移乗している。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 「掃除をしている」は IADL の評価項目である。
- b、○ d 「入浴をしている」、「車椅子へ移乗している」は機能的自立度評価表(FIM)の評価項目である。
- × c うがいをしている(うがいができる)は BDR 指標である。

正解 b、d

DH20:P679

【問題 105】 矯正器具の写真(別冊午後 No.26)を別に示す。

ブラケットにワイヤーを装着するときに使用するのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.26



①



②



③



④

選択肢考察

- a ①はハウプライヤーである。結紮線の結紮に用いる。
- × b ②はバンドリムービングプライヤーである。バンドの撤去に用いる。
- c ③はピンアンドリガチャークッターである。結紮線の切断に用いる。
- × d ④はバンドプッシャーである。バンドを歯に適合するのに用いる。

正解 a、c

DH20:P813

【問題 106】 8歳の男児。上顎右側乳臼歯部のう蝕治療を希望して保護者と来院した。既製金属冠による歯冠修復を行った。治療後の口腔内写真(別冊午後 No.27)を別に示す。

- 装着後の保護者への指導で適切なものはどれか。
- a 歯磨剤の使用は避けてください。
- b フッ化物の洗口は避けてください。
- c デンタルフロスの使用は避けてください。
- d 粘着性食品の頻回摂取は避けてください。

▶ 歯科診療補助
No.27



選択肢考察

- × a 歯磨剤の使用は口腔清掃効果の増大、フッ化物による抗菌性の観点から推奨できる。
- × b フッ化物の洗口もフッ化物の抗菌性、修復歯以外の歯のう蝕予防の観点から推奨される。
- × c デンタルフロスも歯間部のデンタルプラークによる歯肉炎を予防する観点から推奨できる。
- d 歯冠修復は咬合の改善により何でも食べられることを目指して行われるが、既製金属冠の維持力には限度があり、頻回の粘着性食品の摂取は控えるよう助言することがある。

正解 d

【問題 107】 嚥下内視鏡検査(VE)の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 在宅で検査できる。
- b 被曝のリスクがある。
- c 不顕性誤嚥が検出できる。
- d 嚥下の瞬間を確認できる。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a VEは装置の搬送が容易であるため、場所を問わず使用できる。場所的制約があるのは嚥下造影検査(VF)である。嚥下内視鏡検査(VE)は鼻腔から内視鏡(ファイバースコープ)を挿入し、咽頭の様子を観察する摂食嚥下障害に対する精密検査である。上咽頭から下咽頭、喉頭を直視下に観察でき、造影剤が不要で一般の食品を用いて評価できるという利点がある。しかし、嚥下時に咽頭壁や舌根部にファイバーの先端が触れ視野が白くなるホワイトアウトという現象により、嚥下の瞬間を観察できない欠点もある。
- × b VEはエックス線を使用しないため、被曝のリスクがない。
- c VEは不顕性誤嚥(咳反射が欠如する誤嚥)を検出できる。
- × d VEはホワイトアウトという現象により嚥下の瞬間を観察できない。

正解 a、c

DH20:P722

- 【問題 108】 現像されたエックス線写真全体が黒すぎてよく判読できなかった。
考えられる原因はどれか。
- 撮影時間が短い。
 - 現像時間が短い。
 - 現像温度が高い。
 - 現像液が劣化している。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 撮影時間（照射時間）が短いと、フィルムは全体的に白くなる。
- × b 現像時間が短いと、フィルムは全体的に白くなる。
- c 現像液の温度が高いと、フィルム全体が黒くなる。
- × d 現像液が劣化すると、フィルムは全体的に白くなる。

正解 c

DH 20:P 829

要点

エックス線写真全体が黒くなるのは、黒化度が過度な状態である。
黒化度不足（フィルム全体が白い）の原因

- ・照射時間が短すぎる。
- ・現像温度が低すぎる。
- ・現像時間が短すぎる。
- ・現像液が劣化している。

黒化度過度（フィルム全体が黒い）の原因

- ・照射時間が長すぎる。
- ・現像温度が高すぎる。
- ・現像時間が長すぎる。
- ・現像液が濃すぎる。

- 【問題 109】 29歳の女性。歯科治療中に患者が苦悶を呈した。その際の患者の写真（別冊午後 No.28）を別に示す。
考えられる病態はどれか。
- 心停止
 - 脳梗塞
 - 気道閉塞
 - 狭心症発作

▶ 歯科診療補助

No.28

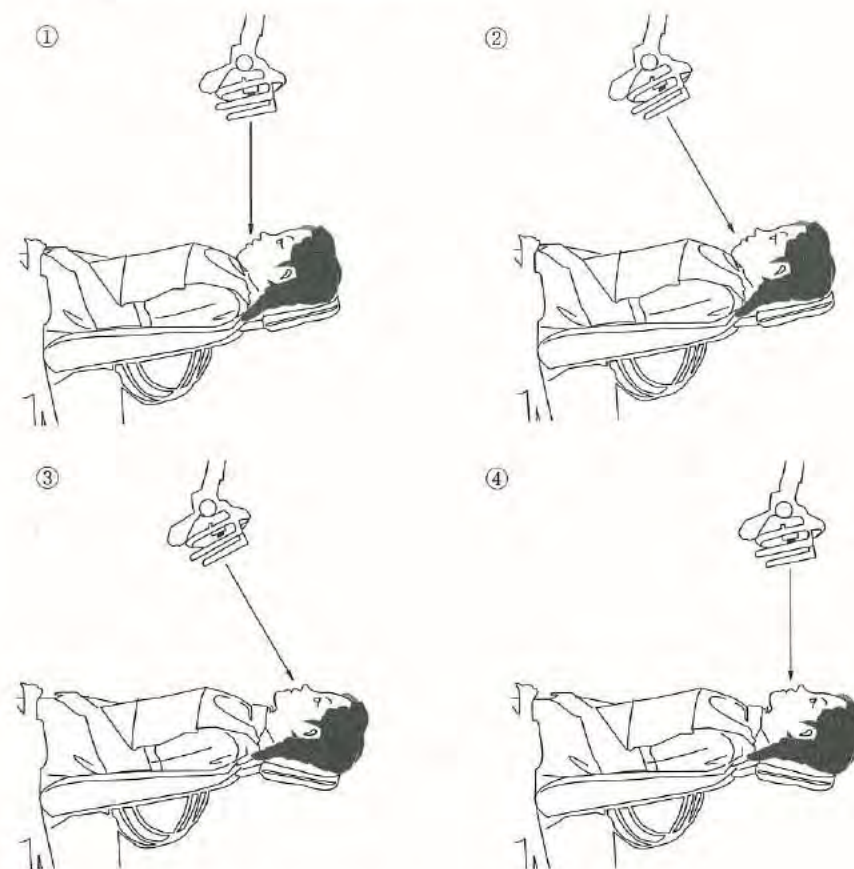


選択肢考察

- × a 心停止の場合には、万国共通の窒息サインは認められず意識消失を起こしているため、速やかに救急対応システムへの通報と AED の獲得に努める。
- × b 脳梗塞の場合、片麻痺、感覚障害、構音障害、失語、失認などの皮質症状や意識障害を呈する。
- c 写真は万国共通の窒息サインという窒息の典型的な徴候である。気道閉塞の症状は、軽度では呼吸や咳をすることが可能であるが、重度では会話不能の状態やチアノーゼを呈するようになり、万国共通の窒息サインを認めるようになる。
- × d 狭心症発作では胸痛を呈する。

正解 c

- 【問題 110】 診療時のライティングの図を示す。



上顎のライティングで適切なものはどれか。

- ①
- ②
- ③
- ④

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a ①は下顎のライティングで、ヘッドレストを水平位より上げ、正面から当てるようにする。
- × b ②のヘッドレストは下顎のライティング位置である。
- c ③は上顎のライティングの位置である。ヘッドレストをやや後ろに下げて咬合平面をたてると行いやすい。
- × d ④はヘッドレストは上顎のライティング位置として適正であるが、ライトの位置が不適切である。

正解 c